大和市
歯及び口腔の健康づくりに関する
市民意識調査

調査結果報告書

令和５年 10 月

大　　和　　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 …… 1
１．調査の目的 …… 1
２．調査方法 …… 1
３．回収結果 …… 1
４．報告書の表記について …… 1
Ⅱ　調査結果 …… 2
１．調査の回答者について …… 2
（１）性別 …… 2
（２）年齢 …… 2
（３）居住地区 …… 3
（４）世帯構成 …… 4
（５）配偶者の有無 …… 4
（６）小学生以下の子どもの有無 …… 5
（７）勤務形態 …… 5
２．歯と口腔の現状について …… 6
（１）歯や口腔の健康状況 …… 6
（２）健康だと思わない理由 …… 8
（３）現在の歯の本数 …… 10
（４）噛み合わせの状況 …… 12
（５）食事をする際の状況 …… 14
（６）食べ物を噛む回数 …… 18
（７）糖分を含む飲料の摂取頻度 …… 20
（８）歯の健康と生活習慣病との関連の認知度 …… 22
３．日ごろの口腔ケアについて …… 24
（１）歯みがきの状況 …… 24
（２）歯みがき粉の使用状況 …… 26
（３）歯みがき指導を受けた経験 …… 28
（４）フッ化物の利用状況 …… 30
（５）歯間部清掃用具の使用状況 …… 32
（６）洗口液の使用状況 …… 34
４．歯科医療機関の利用について …… 36
（１）かかりつけ歯科医療機関の有無 …… 36
（２）歯科健診の受診頻度 …… 38
（３）定期的な歯科健診を受診しない理由 …… 40
５．喫煙について …… 41
（１）喫煙の状況 …… 41
（２）１日あたりの喫煙本数 …… 43
（３）禁煙の意思の有無 …… 44
（４）喫煙が歯に及ぼす悪影響の認知状況 …… 45

６．市の取り組みについて ･･ 47
（１）歯と口腔の健康づくりに関する市の取り組みの認知状況･･･････････････ 47
７．災害時の歯科保健について ･････････････････････････････････････ 49
（１）災害時の口腔ケア用品の準備状況･･････････････････････････････････ 49
（２）災害関連死における誤嚥性肺炎等の要因の認知状況･････････････････ 51
８．自由意見 ･･ 52
（１）自由意見･･･ 52
９．お子さんについて ･･･ 59
（１）子どもの年齢･･ 59
（２）朝食の頻度･･ 60
（３）１日の間食回数･･ 61
（４）間食の与え方･･ 62
（５）口の中で長くとどまる菓子を与える頻度･････････････････････････････ 63
（６）糖分を含む飲料の摂取頻度･･ 64
（７）就寝時間･･ 65
（８）歯みがきの状況･･ 66
（９）デンタルフロスの使用状況･･ 68
（10）歯みがき粉の使用状況･･･ 69
（11）仕上げみがきの状況･･ 70
（12）歯みがき教室への参加状況･･ 71

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

第３次「歯及び口腔の健康づくり推進計画」（計画期間：令和６年度～令和１０年度）を策定するにあたり、取り組みをより一層充実させていくため、市民の歯及び口腔の健康状況について調査し、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

２．調査方法

項　目	内　容
調査対象	大和市在住の 18 歳以上の男女 2,500 人を無作為抽出
調査方法	郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収
調査期間	令和５年５月 19 日～令和５年６月２日

３．回収結果

配布数	回収数	回収率
2,500 件	760 件 （うち web 回答 199 件）	30.4%

４．報告書の表記について

・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

・クロス集計の場合、無回答が含まれないため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　　で網かけをしています。（無回答・その他・特にない等を除く）

・グラフ中の選択肢で回答がなかった場合、見やすさを優先して（0.0%）表記を省略しています。

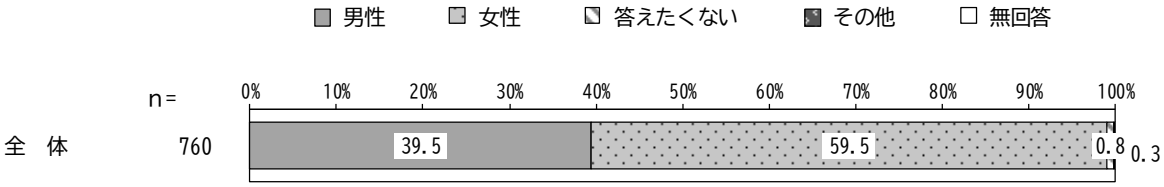
Ⅱ　調査結果

1．調査の回答者について

（1）性別

問1　あなたの性別を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「男性」が 39.5%、「女性」が 59.5%、「答えたくない」が 0.8%となっています。

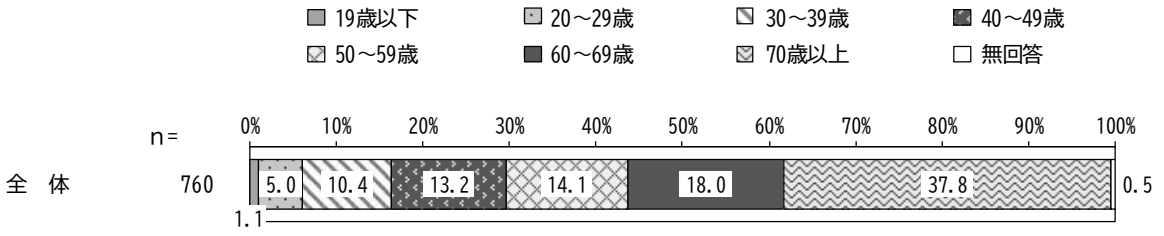


No.	選択肢	n	%
1	男性	300	39.5
2	女性	452	59.5
3	答えたくない	6	0.8
4	その他	0	0.0
	無回答	2	0.3
	全体	760	100.0

（2）年齢

問2　あなたの年齢(回答日時点)を教えてください。

回答者の年齢は、「70 歳以上」(37.8%)が３割半ばを超えて最も高く、次いで「60～69 歳」(18.0%)、「50～59 歳」(14.1%) が続いています。

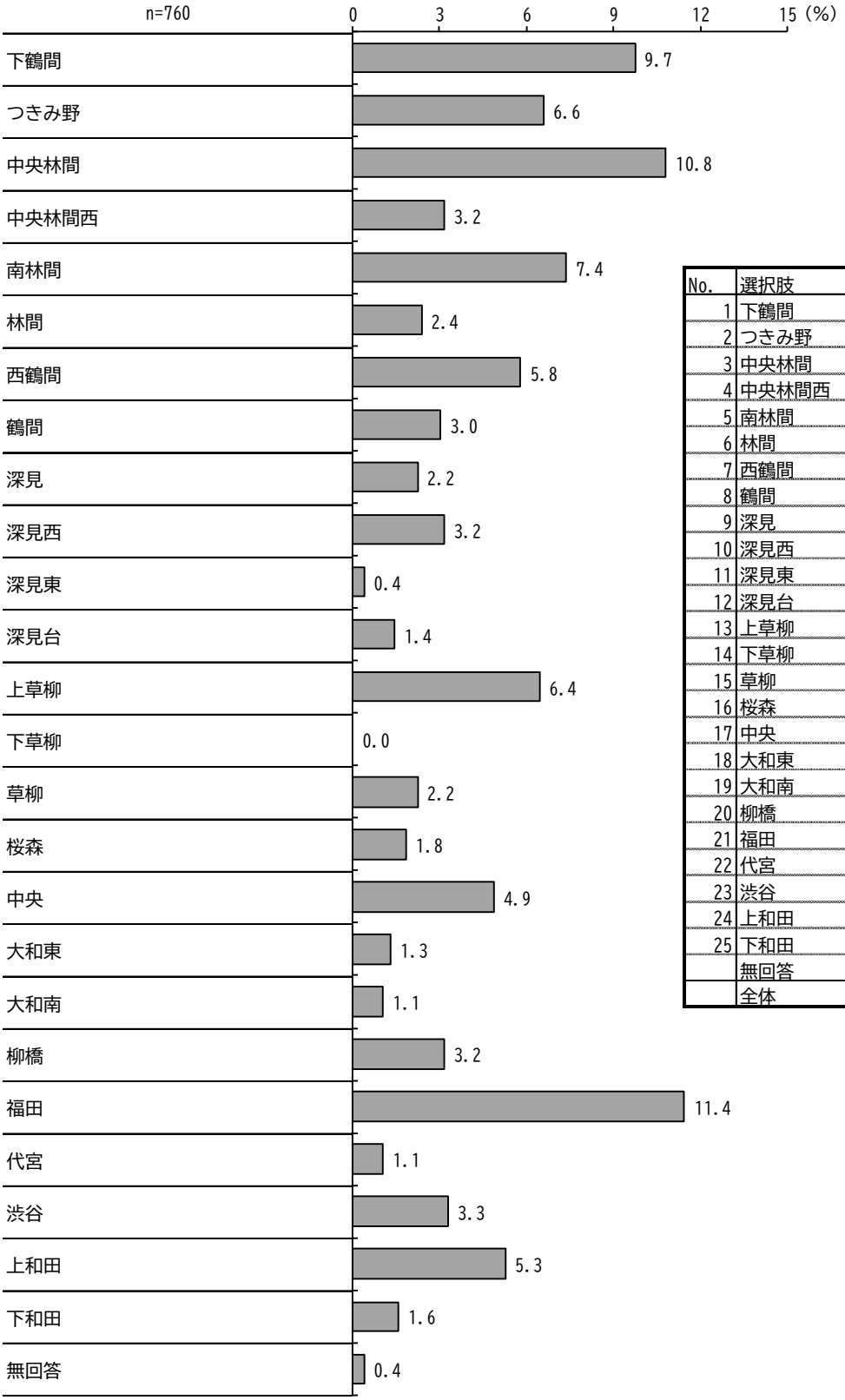


No.	選択肢	n	%
1	19歳以下	8	1.1
2	20～29歳	38	5.0
3	30～39歳	79	10.4
4	40～49歳	100	13.2
5	50～59歳	107	14.1
6	60～69歳	137	18.0
7	70歳以上	287	37.8
	無回答	4	0.5
	全体	760	100.0

（3）居住地区

問3　あなたのお住まいの地区を教えてください。(いずれか1つに○)

居住地区は、「福田」が 11.4%と最も高く、次いで「中央林間」が 10.8%、「下鶴間」が 9.7%と続いています。

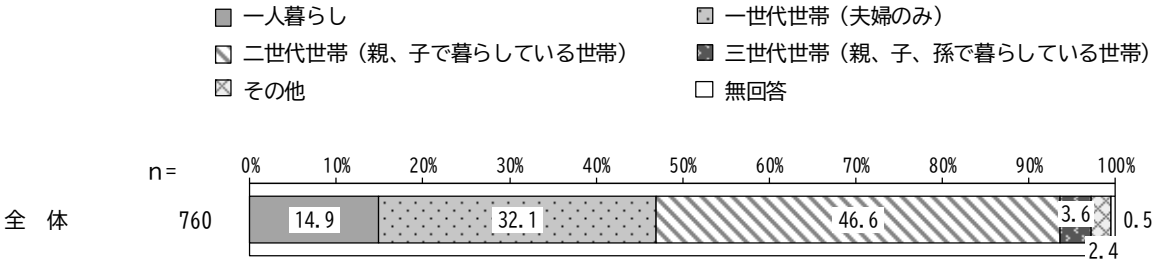


No.	選択肢	n	%
1	下鶴間	74	9.7
2	つきみ野	50	6.6
3	中央林間	82	10.8
4	中央林間西	24	3.2
5	南林間	56	7.4
6	林間	18	2.4
7	西鶴間	44	5.8
8	鶴間	23	3.0
9	深見	17	2.2
10	深見西	24	3.2
11	深見東	3	0.4
12	深見台	11	1.4
13	上草柳	49	6.4
14	下草柳	0	0.0
15	草柳	17	2.2
16	桜森	14	1.8
17	中央	37	4.9
18	大和東	10	1.3
19	大和南	8	1.1
20	柳橋	24	3.2
21	福田	87	11.4
22	代宮	8	1.1
23	渋谷	25	3.3
24	上和田	40	5.3
25	下和田	12	1.6
	無回答	3	0.4
	全体	760	100.0

（4）世帯構成

問4　あなたの世帯構成(同居)を教えてください。(いずれか1つに○)

世帯構成は、「二世代世帯（親、子で暮らしている世帯)」が 46.6%と４割半ばを超えて最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ)」が 32.1%、「一人暮らし」が 14.9%と続いています。

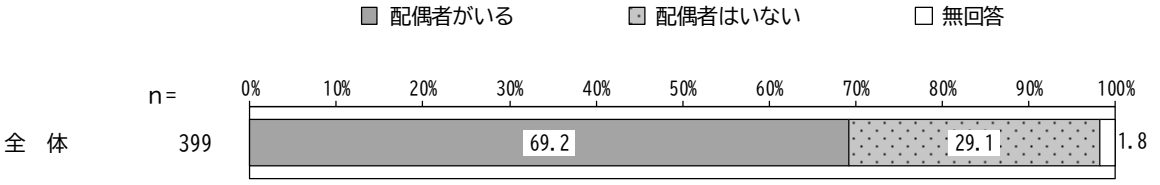


No.	選択肢	n	%
1	一人暮らし	113	14.9
2	一世代世帯（夫婦のみ）	244	32.1
3	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	354	46.6
4	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	27	3.6
5	その他	18	2.4
	無回答	4	0.5
	全体	760	100.0

（5）配偶者の有無

(問4で「二世代世帯」「三世代世代」「その他」と答えた方にお聞きします。)
問5　あなたには、配偶者がいますか。(いずれか1つに○)

配偶者の有無については、「配偶者がいる」が 69.2%と７割近くを占めており、「配偶者はいない」は 29.1%となっています。

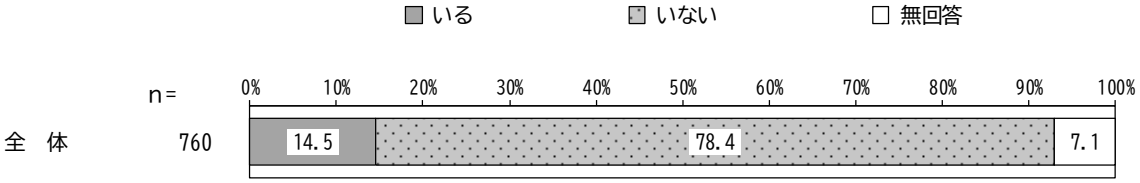


No.	選択肢	n	%
1	配偶者がいる	276	69.2
2	配偶者はいない	116	29.1
	無回答	7	1.8
	全体	399	100.0

（6）小学生以下の子どもの有無

問6　あなたには、小学生以下の子ども(同居)がいますか。(いずれか1つに○)

小学生以下の子どもの有無については、「いる」が 14.5%、「いない」が 78.4%となっています。

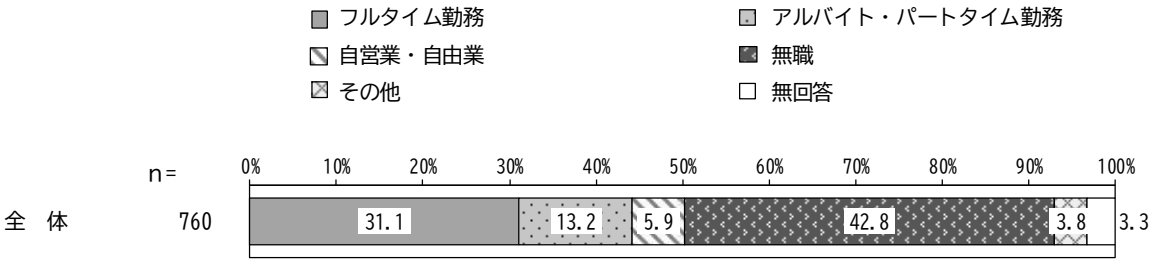


No.	選択肢	n	%
1	いる	110	14.5
2	いない	596	78.4
	無回答	54	7.1
	全体	760	100.0

（7）勤務形態

問7　あなたの現在のお仕事について教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の勤務形態は、「無職」が 42.8%と４割を超えて最も高く、次いで「フルタイム勤務」が 31.1%、「アルバイト・パートタイム勤務」が 13.2%と続いています。



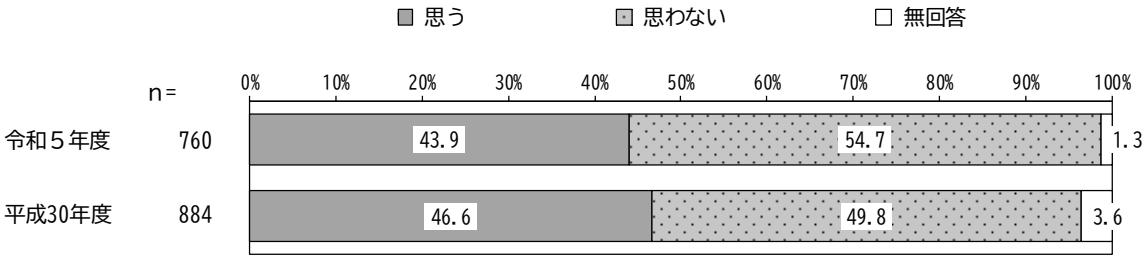
No.	選択肢	n	%
1	フルタイム勤務	236	31.1
2	アルバイト・パートタイム勤務	100	13.2
3	自営業・自由業	45	5.9
4	無職	325	42.8
5	その他	29	3.8
	無回答	25	3.3
	全体	760	100.0

2．歯と口腔の現状について

（1）歯や口腔の健康状況

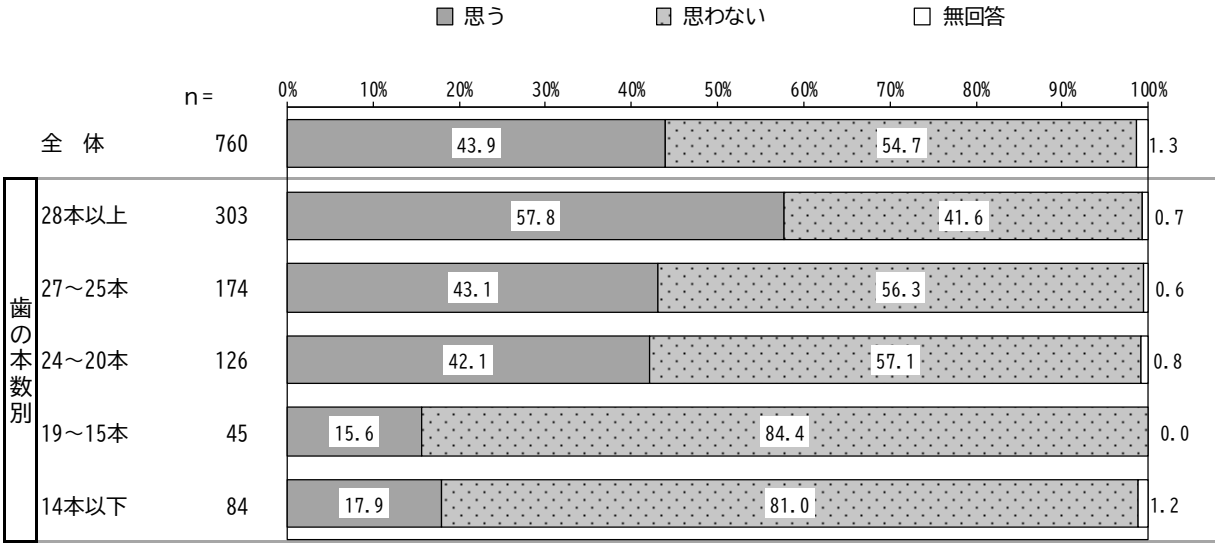
問8　あなたの歯や口腔は、健康だと思いますか。(いずれか1つに○)

歯や口腔の健康状況について、歯や口腔が健康だと「思う」が 43.9%、「思わない」が 54.7%となっており、「思わない」が「思う」を 10.8 ポイント上回っています。
前回調査と比較すると、「思う」割合が 2.7 ポイント減少しています。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、健康だと「思う」割合は、全体的に歯の本数が多いほど高い傾向にあります。また、歯の本数が 20 本以上では「思う」が４割を超えているのに対し、20 本未満では１割台後半と、20 本以上と 20 本未満で割合がはっきり分かれています。

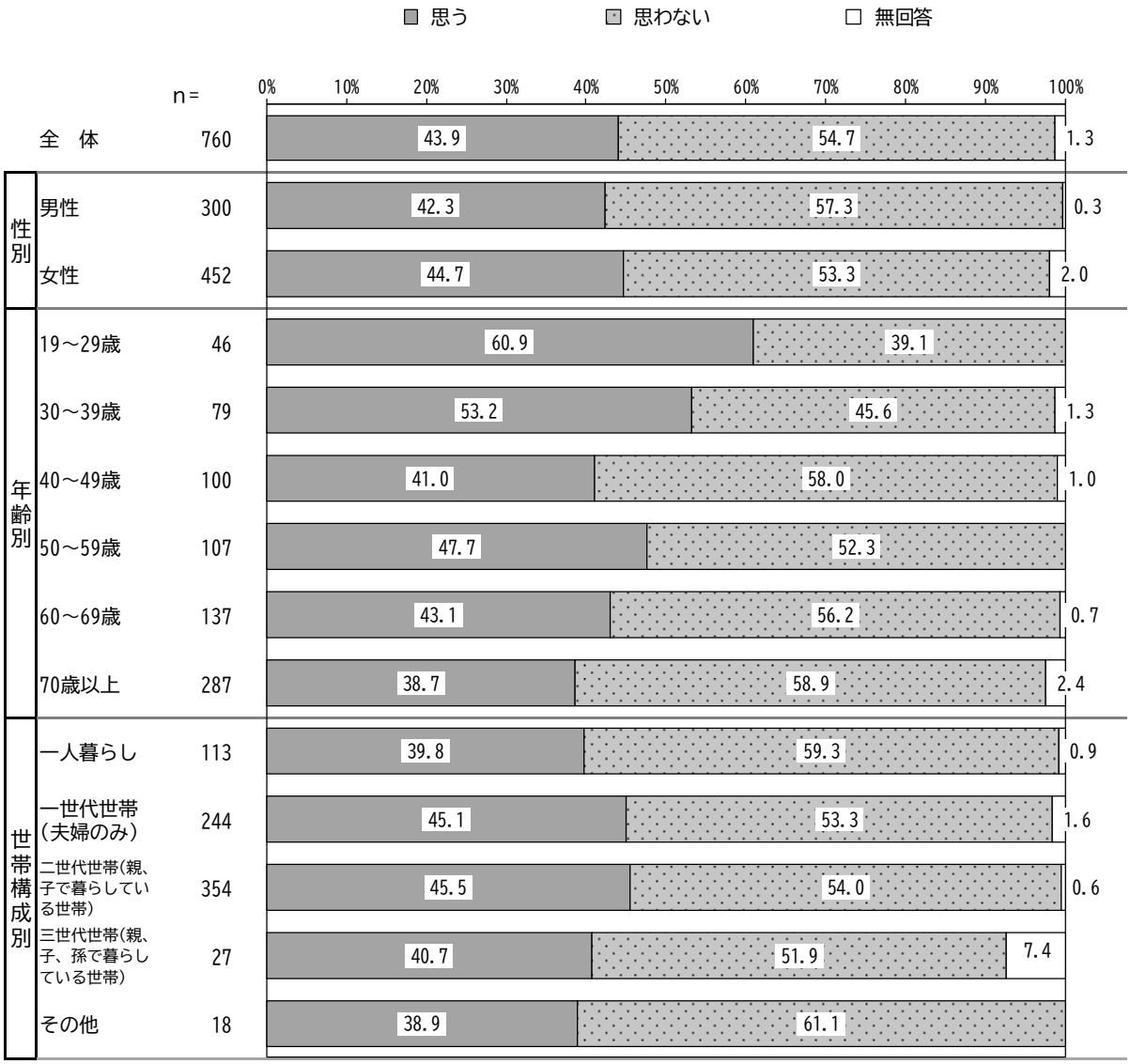


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「思う」は女性（44.7%）が男性（42.3%）を 2.4 ポイント上回っていますが、あまり違いはありません。

年齢別でみると、全体的に年齢が低いほど「思う」割合が増加する傾向にありますが、〔40～49 歳〕（41.0%）では〔70 歳以上〕（38.7%）に次いで低くなっています。

世帯構成別でみると、「思う」は、〔一世代世帯〕と〔二世代世帯〕で４割半ばを占めてやや高くなっています。

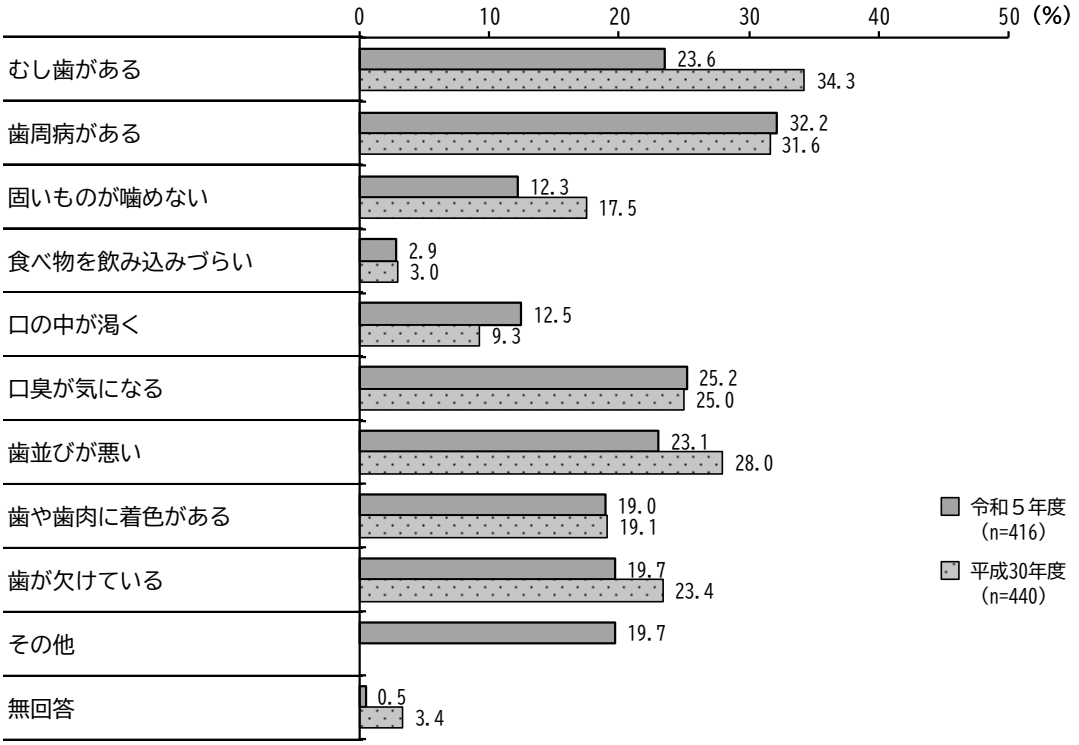


（２）健康だと思わない理由

（問8で「思わない」と答えた方にお聞きします。）
問9　健康だと思わない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

自分の歯や口腔が健康だと思わない理由は、「歯周病がある」（32.2%）が３割を超えて最も高く、次いで「口臭が気になる」（25.2%）、「むし歯がある」（23.6%）が続いています。

前回調査と比較すると、特に「むし歯がある」が 10.7 ポイント、「固いものが噛めない」が 5.2 ポイント、「歯並びが悪い」が 4.9 ポイント、前回調査より大きく減少しています。



※「その他」は令和５年度の新規項目

【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、男女ともに「歯周病がある」が最も高くなっています。また、「歯周病がある」と「口臭が気になる」は、男性の割合が女性より５ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、〔19～29 歳〕では「歯並びが悪い」、30～49 歳の年齢では「むし歯がある」、〔50～59 歳〕では「口臭が気になる」、60 歳以上の年齢では「歯周病がある」が最も高く、年齢ごとに違いがあります。

世帯構成別でみると、「その他」以外のいずれの世帯も「歯周病がある」が３割を超えて最も高くなっています。

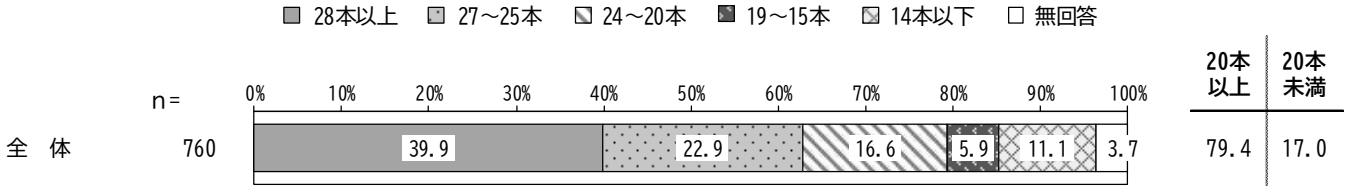
（単位:%）		n	むし歯がある	歯周病がある	固いものが噛めない	食べ物を飲み込みづらい	口の中が渇く	口臭が気になる
全体		(416)	23.6	***32.2***	12.3	2.9	12.5	25.2
性別	男性	(172)	23.3	***36.0***	14.5	5.2	15.1	29.7
	女性	(241)	22.8	***29.5***	10.8	1.2	10.4	22.4
年齢別	19～29歳	(18)	16.7	22.2	0.0	0.0	11.1	27.8
	30～39歳	(36)	***47.2***	13.9	0.0	2.8	2.8	16.7
	40～49歳	(58)	***37.9***	25.9	3.4	0.0	10.3	27.6
	50～59歳	(56)	21.4	42.9	10.7	0.0	12.5	***44.6***
	60～69歳	(77)	27.3	***39.0***	10.4	3.9	13.0	35.1
	70歳以上	(169)	13.0	***33.1***	20.7	4.7	15.4	15.4
世帯構成別	一人暮らし	(67)	20.9	***32.8***	10.4	3.0	13.4	26.9
	一世代世帯（夫婦のみ）	(130)	18.5	***32.3***	13.8	3.1	14.6	24.6
	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(191)	28.8	***31.9***	11.0	3.1	12.0	25.1
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(14)	28.6	***42.9***	21.4	0.0	0.0	35.7
	その他	(11)	0.0	27.3	18.2	0.0	9.1	18.2

（単位:%）		n	歯並びが悪い	歯や歯肉に着色がある	歯が欠けている	その他	無回答
全体		(416)	23.1	19.0	19.7	19.7	0.5
性別	男性	(172)	23.3	21.5	22.1	2.6	0.0
	女性	(241)	23.2	17.4	17.8	2.6	4.6
年齢別	19～29歳	(18)	***50.0***	44.4	0.0	2.7	4.2
	30～39歳	(36)	27.8	27.8	11.1	0.0	2.9
	40～49歳	(58)	27.6	27.6	22.4	3.0	4.5
	50～59歳	(56)	28.6	23.2	19.6	3.0	4.5
	60～69歳	(77)	19.5	20.8	20.8	3.0	4.5
	70歳以上	(169)	17.8	8.9	21.9	7.7	0.0
世帯構成別	一人暮らし	(67)	25.4	22.4	22.4	2.7	4.2
	一世代世帯（夫婦のみ）	(130)	16.9	16.2	20.8	0.0	2.9
	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(191)	27.7	19.4	17.3	3.0	4.5
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(14)	21.4	7.1	21.4	3.0	4.5
	その他	(11)	9.1	***45.5***	18.2	7.7	0.0

（３）現在の歯の本数

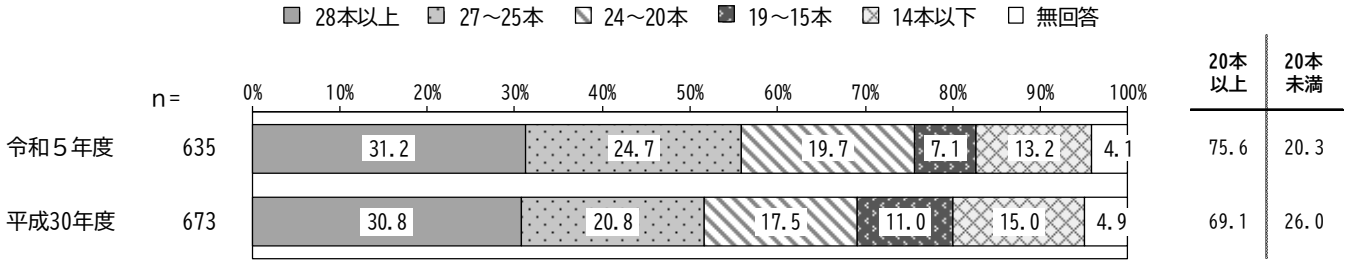
問 10　自分の歯は現在何本ありますか。(いずれか1つに○)

現在の歯の本数について、「28 本以上」(39.9%) が４割で最も高く、次いで「27～25 本」(22.9%)、「24～20 本」(16.6%) が続いており、それら合わせた『20 本以上』は 79.4%と約８割を占めています。一方、「19～15 本」(5.9%) と「14 本以下」(11.1%) を合わせた『20 本未満』は 17.0%となっています。



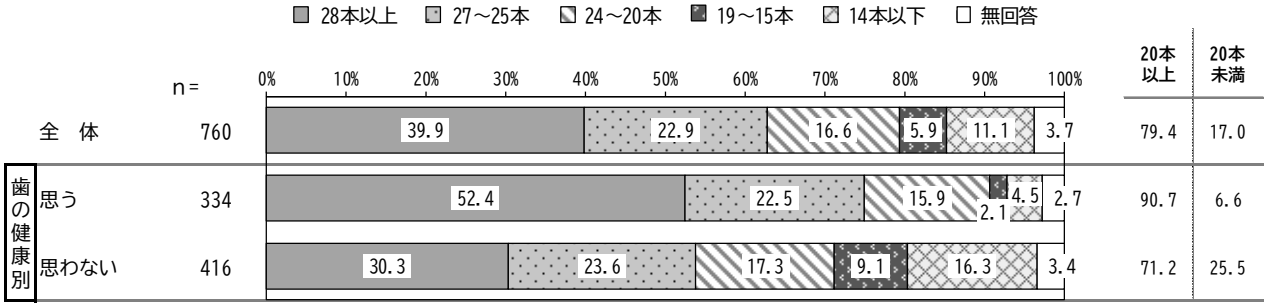
【40 歳以上の歯の本数】

40 歳以上の歯の本数を前回調査と比較すると、『20 本以上』の割合は 6.5 ポイント増加しています。



【歯の健康別】

歯の健康別でみると、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者では、歯の本数が「28 本以上」(52.4%) が５割を超えています。

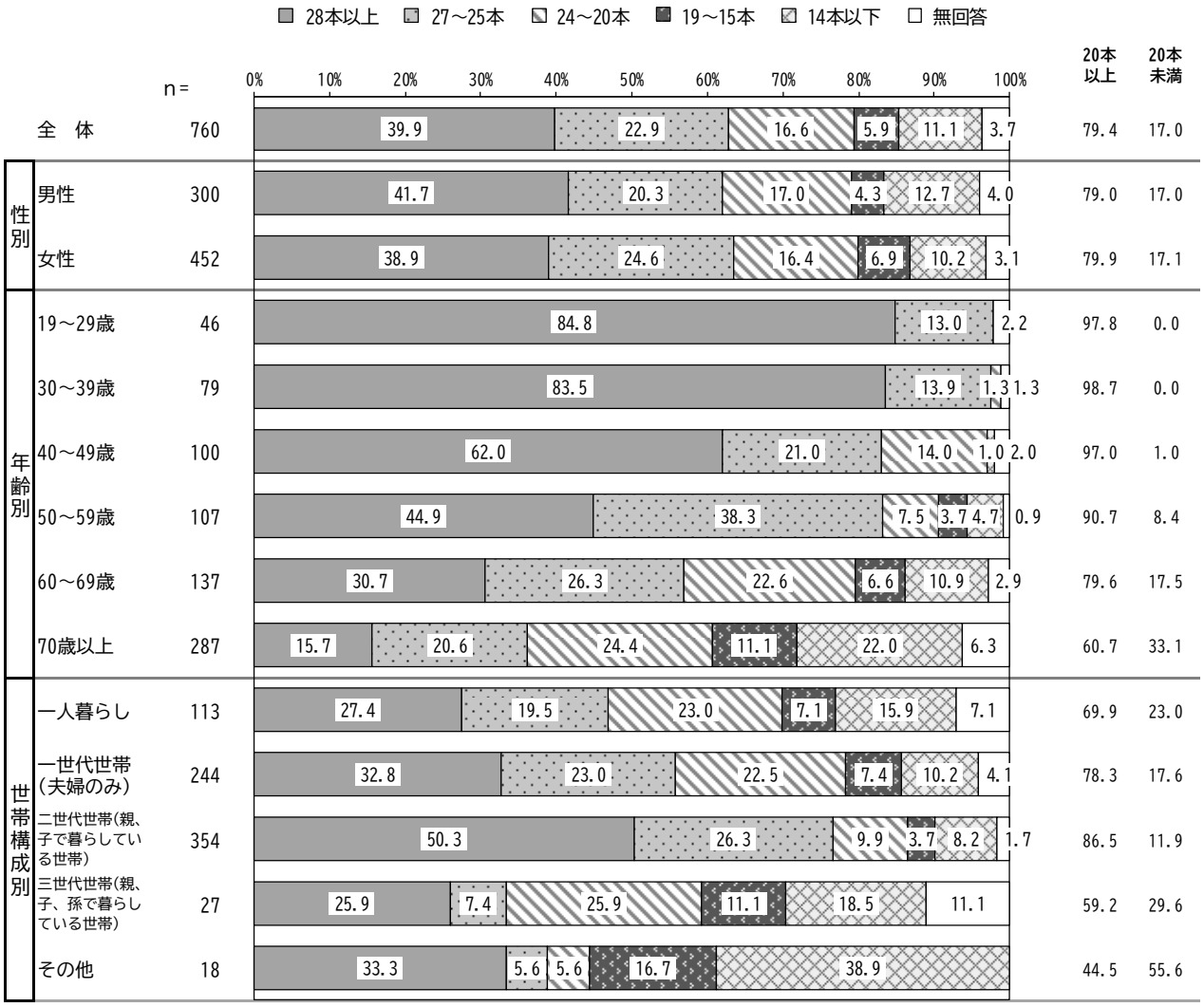


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、『20本以上』と『20本未満』の割合ともに、男女であまり違いはありません。

年齢別でみると、60歳未満の年齢では『20本以上』が９割を超えていますが、「60～69歳」で79.6%、「70歳以上」で60.7%と年齢が高くなるにつれて減少傾向にあります。

世帯構成別でみると、『20本以上』の割合は、高齢者が少ない世帯ほど高くなる傾向にあります。

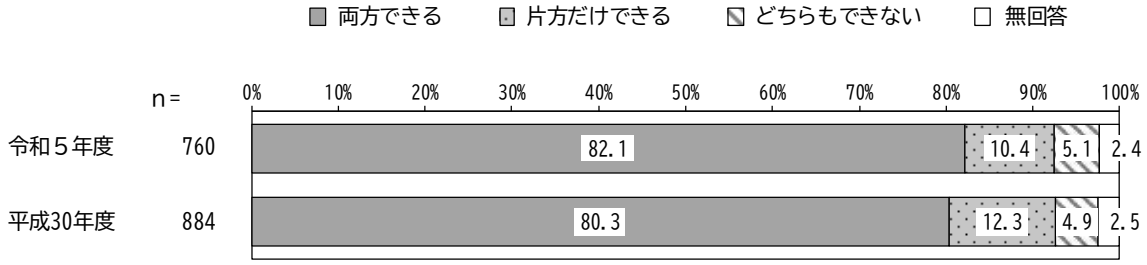


（4）噛み合わせの状況

問 11　噛み合わせは食事だけでなく、発声や顔の表情にも影響を及ぼします。あなたは自分の歯又は入れ歯で左右の歯をしっかり噛みしめられますか。(いずれか1つに○)

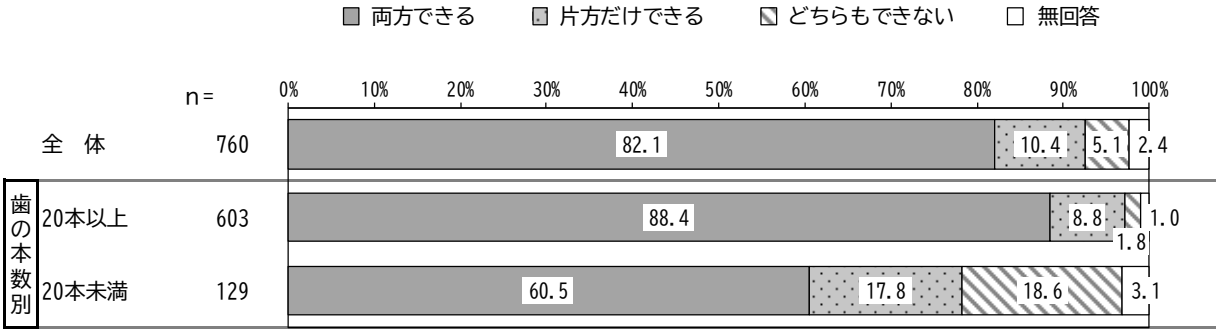
左右の歯をしっかり噛みしめられるかどうかについて、「両方できる」が 82.1%と８割を超えています。一方、「片方だけできる」は 10.4%、「どちらもできない」が 5.1%となっています。

前回調査と比較すると、全体的にあまり違いはありません。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、「両方できる」は〔20 本以上〕(88.4%) が９割近くを占め、〔20 本未満〕(60.5%) を 27.9 ポイント大きく上回っています。

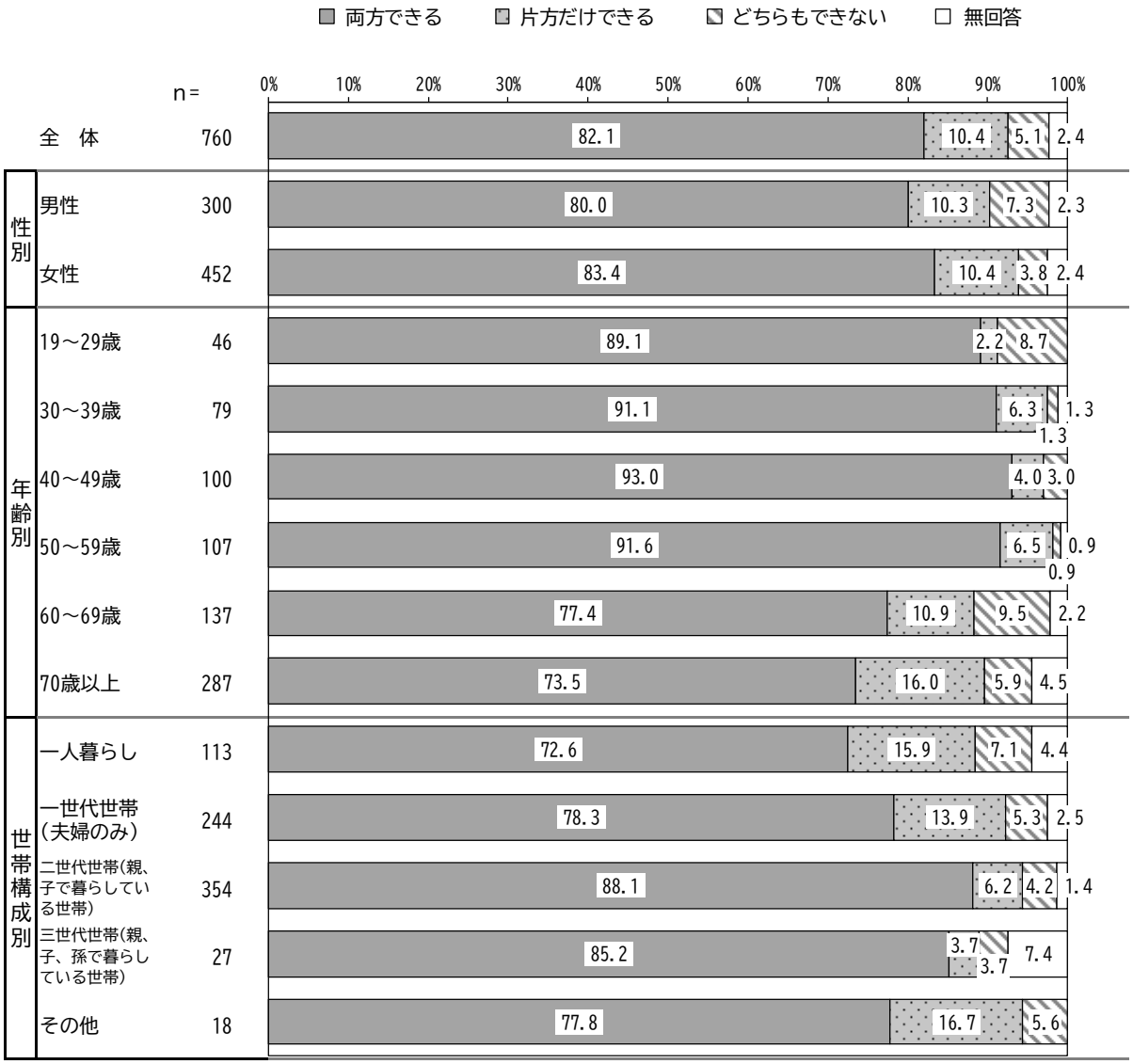


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「両方できる」は、女性（83.4%）が男性（80.0%）を 3.4 ポイント上回っていますが、あまり違いはありません。

年齢別でみると、60 歳未満の年齢では「両方できる」が９割前後を占めていますが、60 歳以上の年齢では７割台となっています。

世帯構成別でみると、「両方できる」は、〔二世代世帯〕と〔三世代世帯〕で８割半ばを超えて高くなっています。



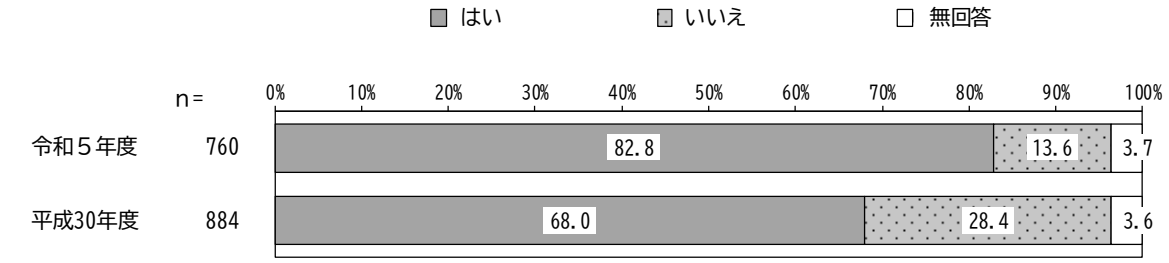
（5）食事をする際の状況

問 12　あなたが普段食事するときの状況についてお聞きします。はい、いいえでお答えください。

ア.なんでもよく噛んで食べることができる

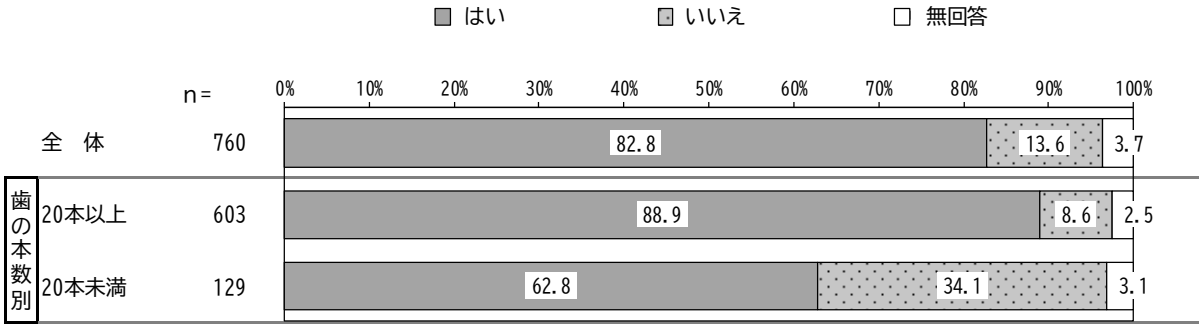
普段食事をする際になんでもよく噛んで食べることができるかついて、「はい」が 82.8%と８割を超えています。一方、「いいえ」は 13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」の割合が 14.8 ポイント増加しています。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、「はい」は〔20 本以上〕（88.9%）が９割近くを占め、〔20 本未満〕（62.8%）を 26.1 ポイント大きく上回っています。

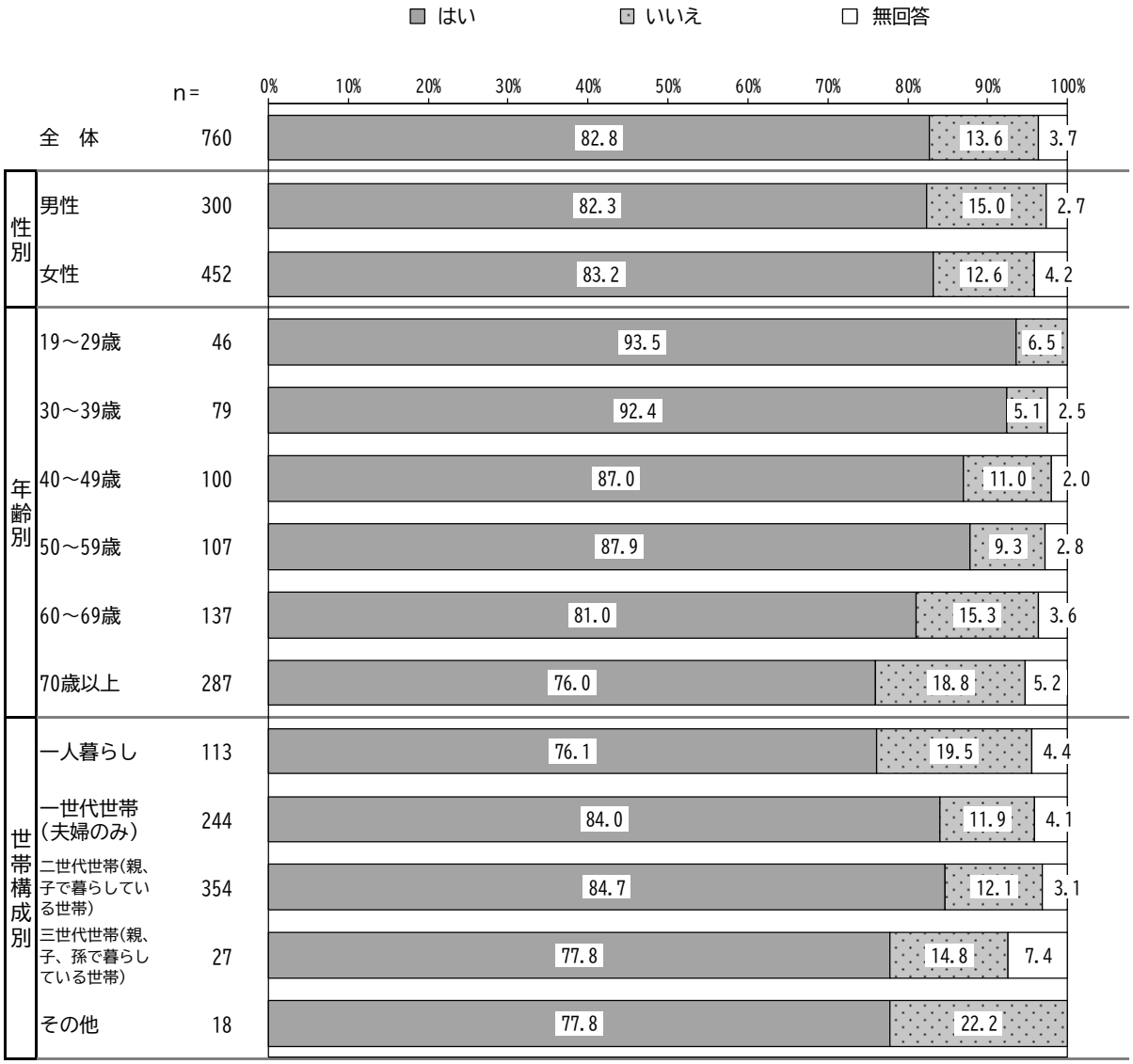


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「はい」と「いいえ」の割合ともに、男女であまり違いはありません。

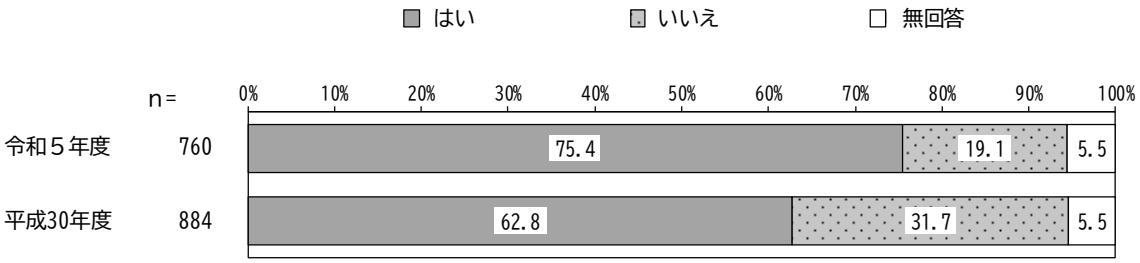
年齢別でみると、「はい」の割合は、全体的に年齢が高くなるにつれて減少する傾向にあり、40 歳未満の年齢では９割を超えていますが、〔70 歳以上〕（76.0%）では８割を切っています。

世帯構成別でみると、「はい」は、〔一世代世帯〕と〔二世代世帯〕で８割を超えて高くなっています。



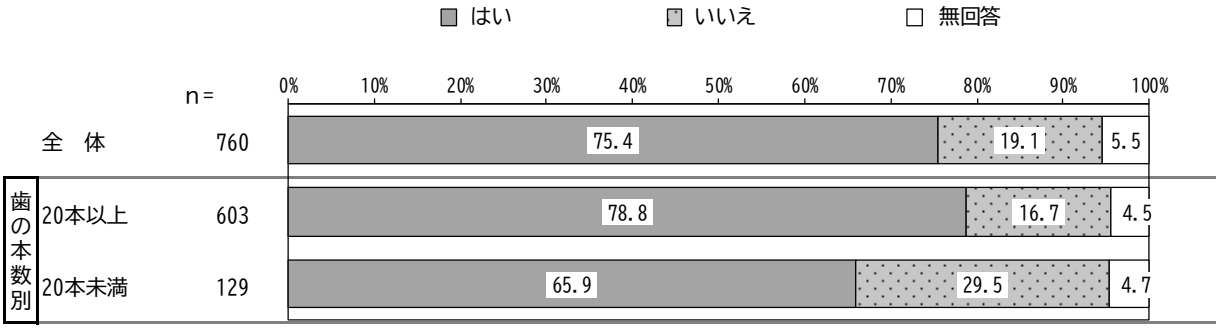
イ.よく噛んで味わって食べている

普段食事をする際によく噛んで味わって食べることができるかついて、「はい」が 75.4%と７割半ばを占めています。一方、「いいえ」は 19.1%で２割近くとなっています。
前回調査と比較すると、「はい」の割合が 12.6 ポイント増加しています。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、「はい」は〔20 本以上〕（78.8%）が８割近くを占め、〔20 本未満〕（65.9%）を 12.9 ポイント大きく上回っています。

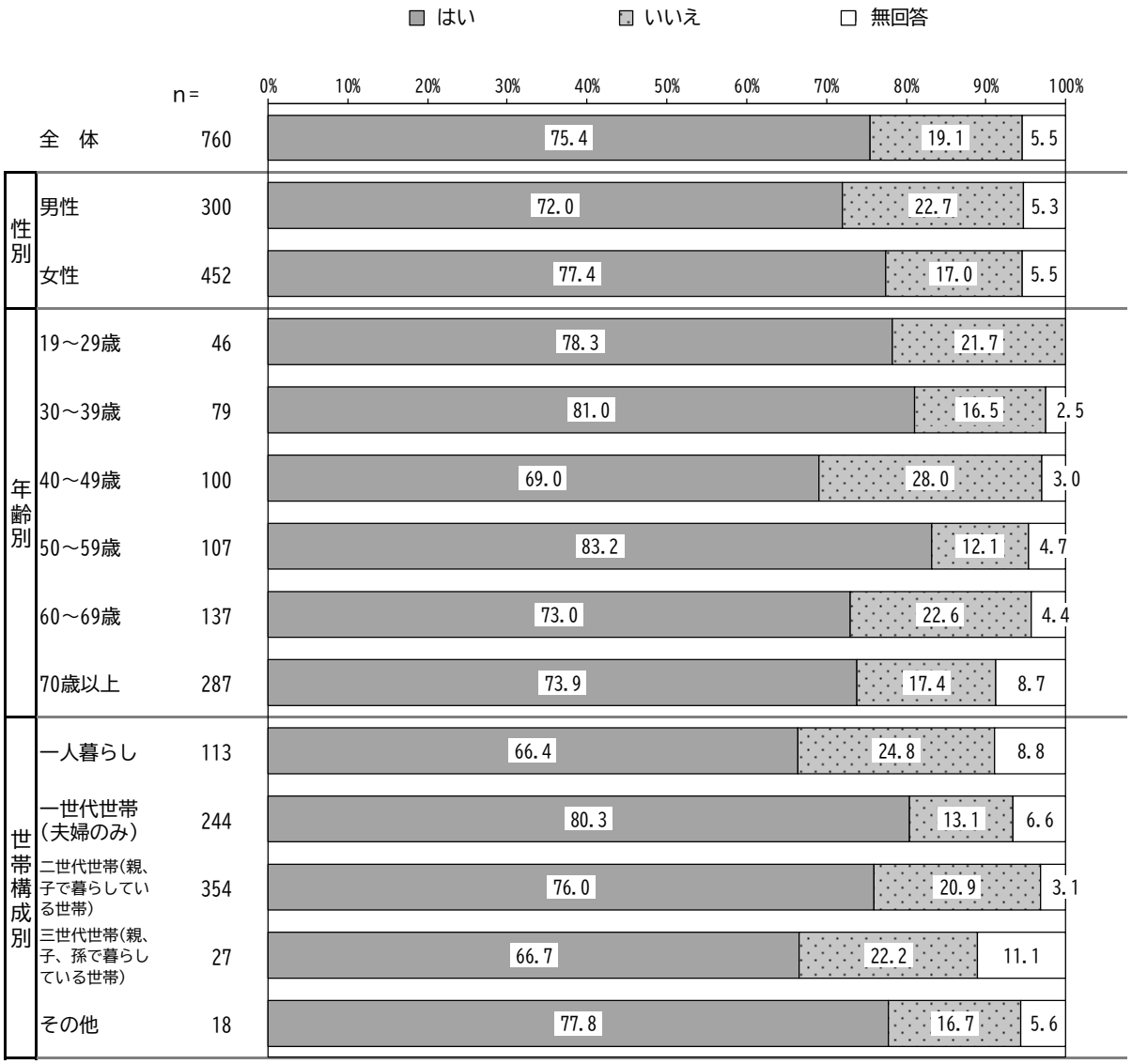


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「はい」は、女性（77.4%）が男性（72.0%）を 5.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「はい」の割合は〔40～49 歳〕（69.0%）が７割を切って最も低くなっています。

世帯構成別でみると、「はい」は、〔一人暮らし〕と〔三世代世帯〕で７割を切って低くなっています。

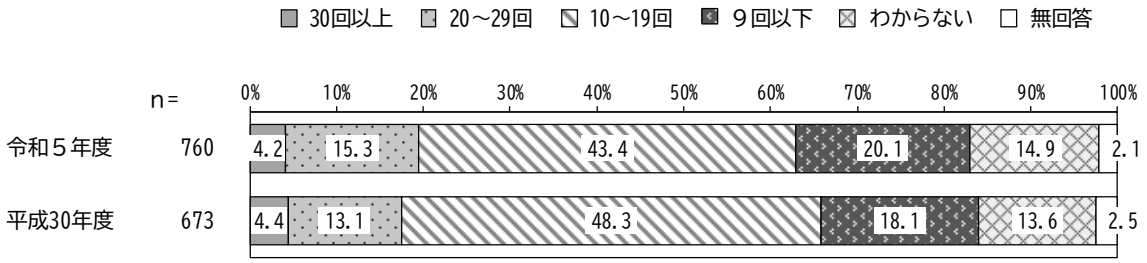


（６）食べ物を噛む回数

問 13　食べ物をよく噛むことは「消化を助ける」だけでなく、だ液がたくさん出るため「むし歯を予防」する効果もあります。あなたは食べ物を飲み込むまでに何回噛みますか。ごはん（お米）を例にお答えください。（いずれか1つに○）

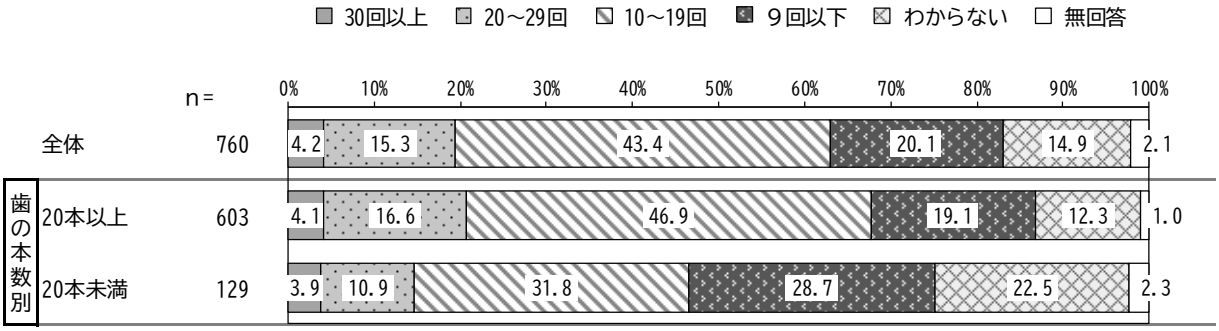
食べ物を噛む回数について、「10～19 回」（43.4%）が４割を超えて最も高く、次いで「９回以下」（20.1%）、「20～29 回」（15.3%）が続いています。

前回調査と比較すると、「10～19 回」が 4.9 ポイント減少しており、「20～29 回」と「９回以下」がそれぞれ２ポイント程度増加しています。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、〔20 本以上〕は「10～19 回」が 15.1 ポイント、「20～29 回」が 5.7 ポイント、〔20 本未満〕を上回っており、反対に「９回以下」は 9.6 ポイント下回っています。

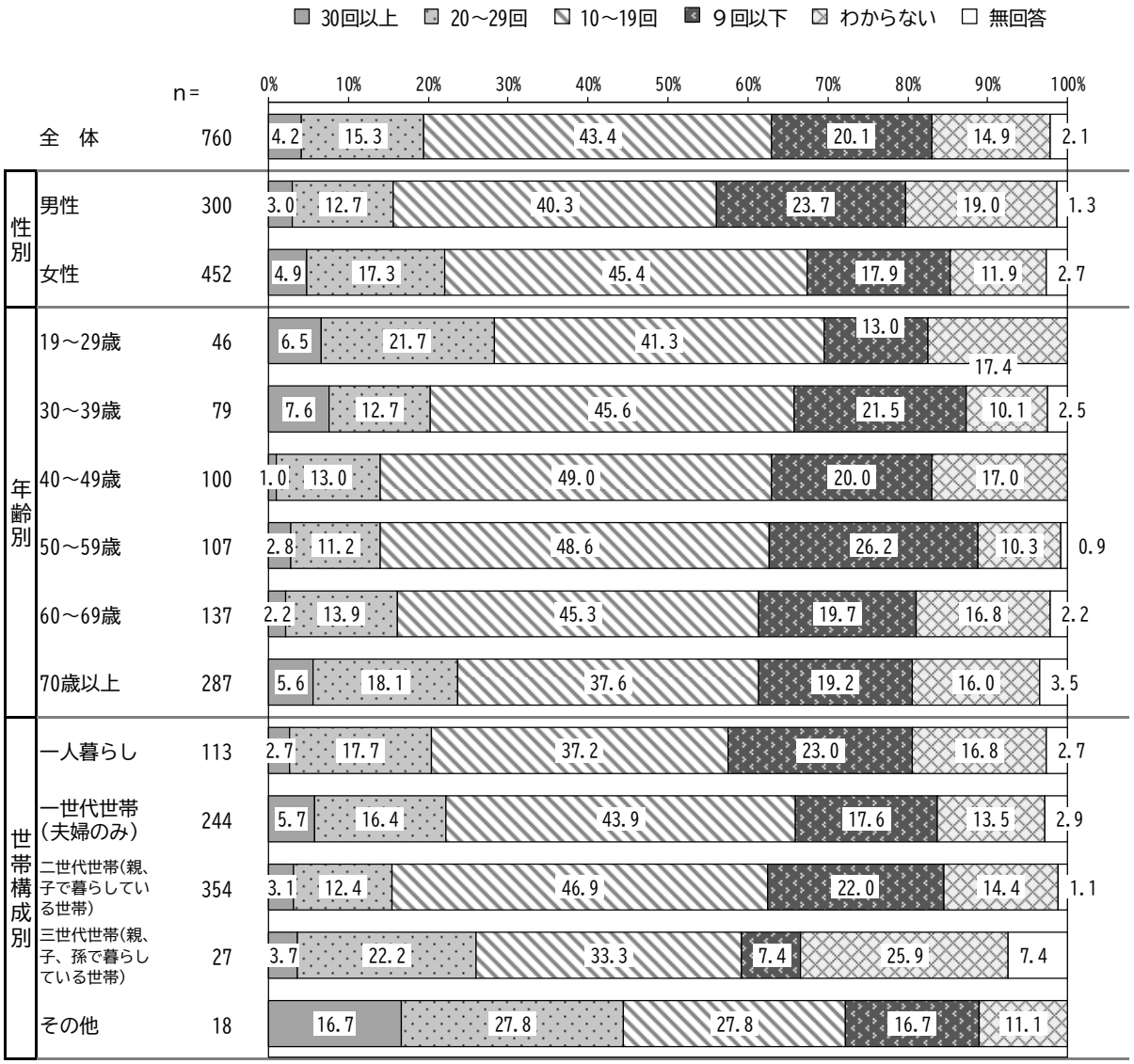


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、10 回以上の噛む回数の割合は、いずれも女性が男性を上回っており、女性の方が多く噛む傾向にあります。

年齢別でみると、「９回以下」の割合は〔50～59 歳〕（26.2%）が２割半ばを超えて最も高くなっています。

世帯構成別でみると、「９回以下」は、〔一人暮らし〕と〔二世代世帯〕で２割を超えて高くなっています。

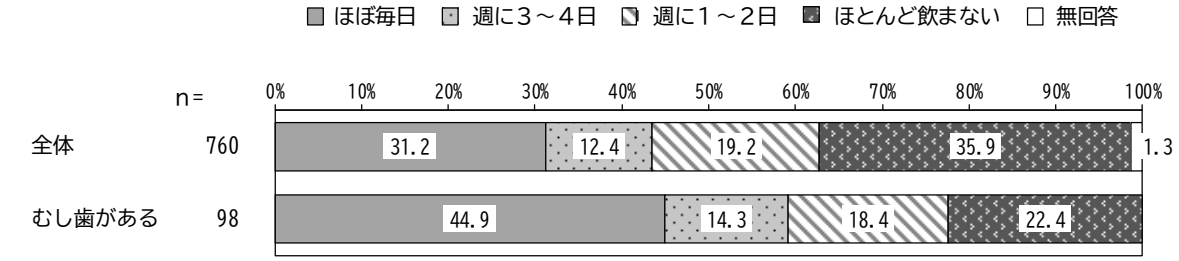


（7）糖分を含む飲料の摂取頻度

問 14　ジュースや炭酸飲料等の甘みのある飲料(加糖のコーヒーや紅茶を含みます)をどのくらいの頻度で飲みますか。(いずれか1つに○)

ジュースや炭酸飲料等の甘みのある飲料（加糖のコーヒーや紅茶を含む）を飲む頻度について、「ほとんど飲まない」が 35.9%、「ほぼ毎日」が 31.2%とともに３割を超えています。

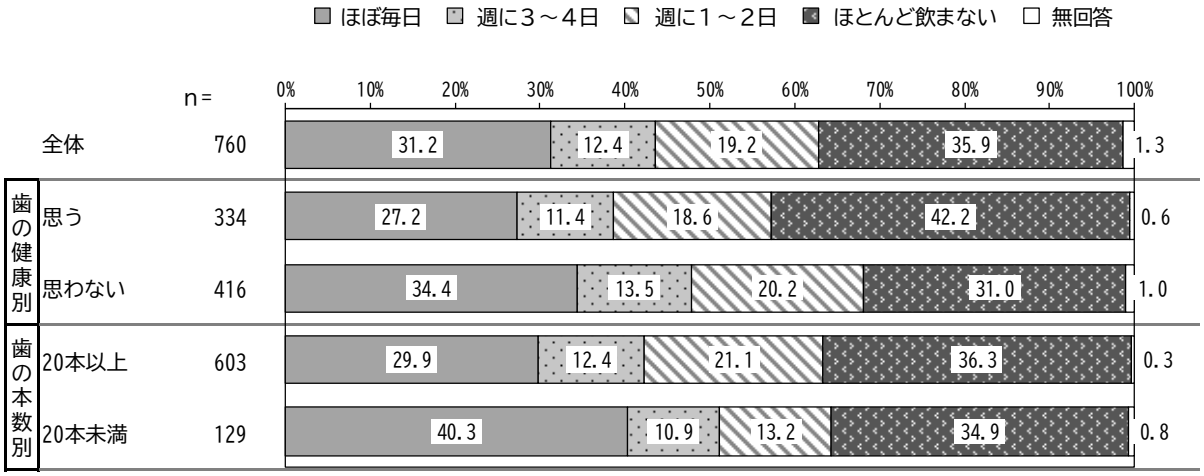
問９で「虫歯がある」と回答した人の割合をみると、「ほぼ毎日」が 44.9%と４割半ばを占めて高くなっています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者では「ほとんど飲まない」(42.2%)が４割を超えて最も高く、〔思わない〕回答者では「ほぼ毎日」(34.4%)が最も高くなっています。

歯の本数別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、〔20 本未満〕(40.3%)が〔20 本以上〕(29.9%)を 10.4 ポイント大きく上回っています。

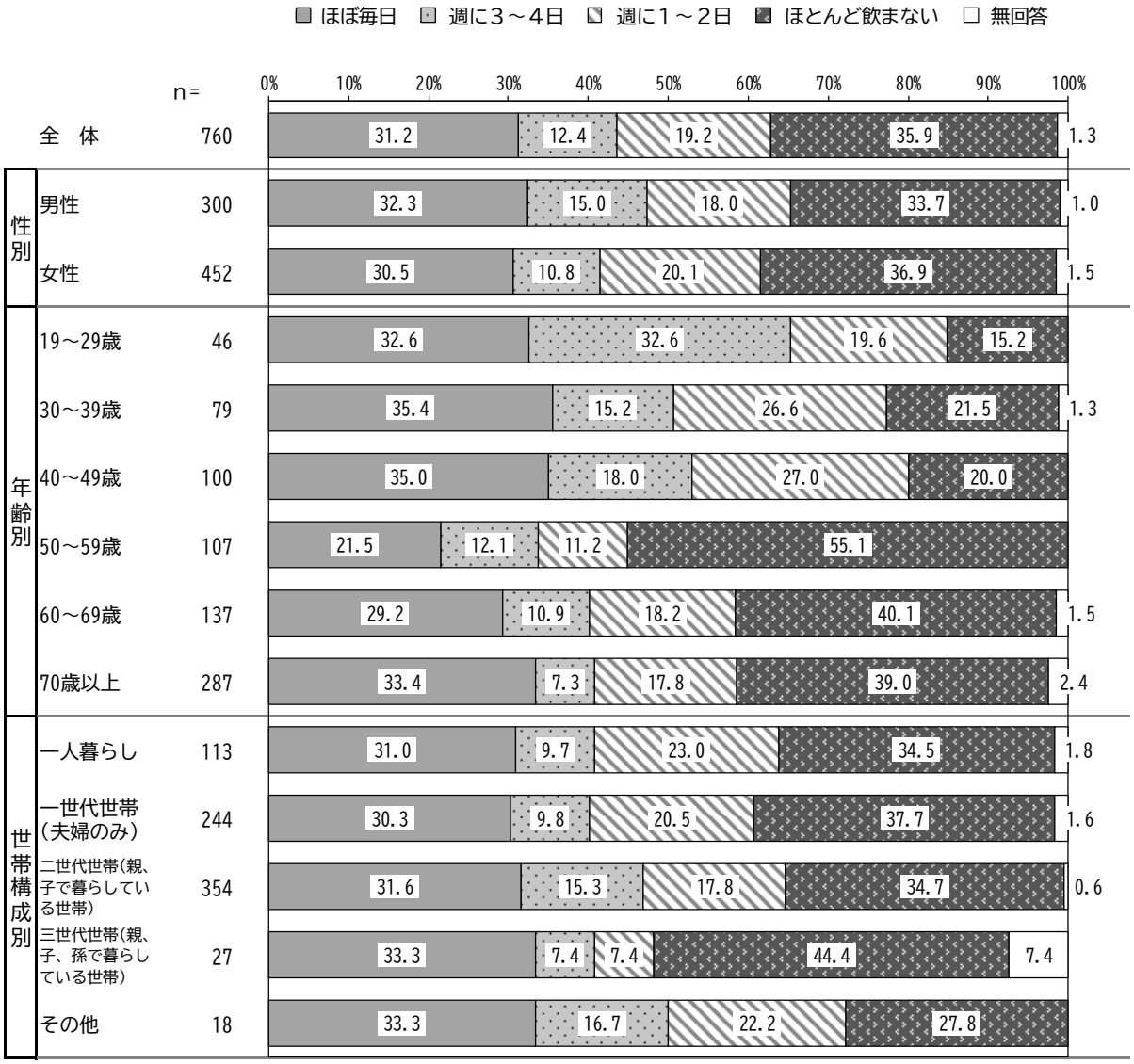


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「ほぼ毎日」と「週に３～４回」は、男性の割合が女性を上回っており、男性の方が、糖分を含む飲料を飲む頻度が多い傾向にあります。

年齢別でみると、「ほぼ毎日」は〔50～59 歳〕以外のいずれの年齢でも３割前後を占めています。〔50～59 歳〕では「ほとんど飲まない」（55.1%）が５割半ばを占めて高くなっています。

世帯構成別でみると、「ほとんど飲まない」は、〔三世代世帯〕で４割を超えて高くなっています。

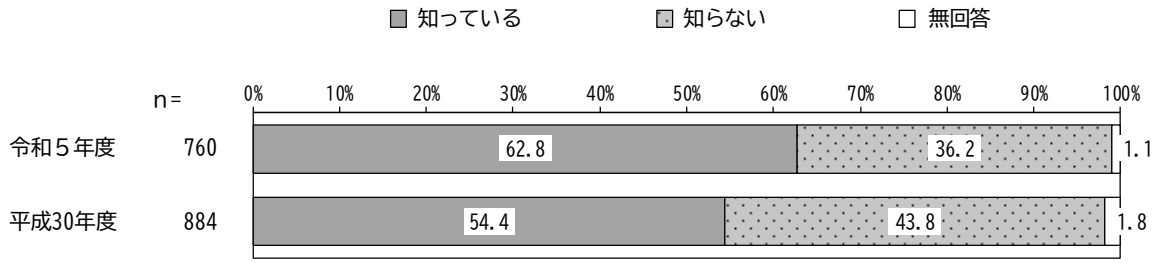


（8）歯の健康と生活習慣病との関連の認知度

問 15　歯の健康が、高血圧、糖尿病など生活習慣病の発症や重症化に影響することを知っていますか。(いずれか1つに○)

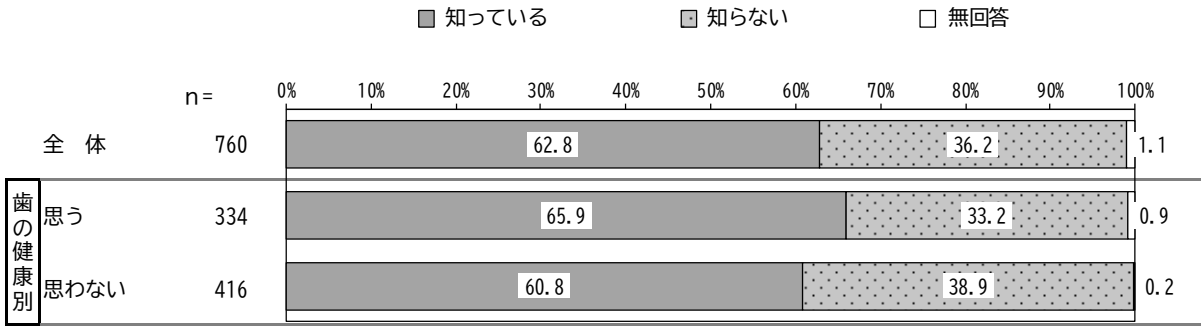
歯の健康が、高血圧、糖尿病など生活習慣病の発症や重症化に影響することを、「知っている」が 62.8%、「知らない」が 36.2%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」割合が 8.4 ポイント大きく増加しています。



【歯の健康別】

歯の健康別でみると、「知っている」割合は、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者（65.9%）が、〔思わない〕回答者（60.8%）を 5.1 ポイント上回っています。

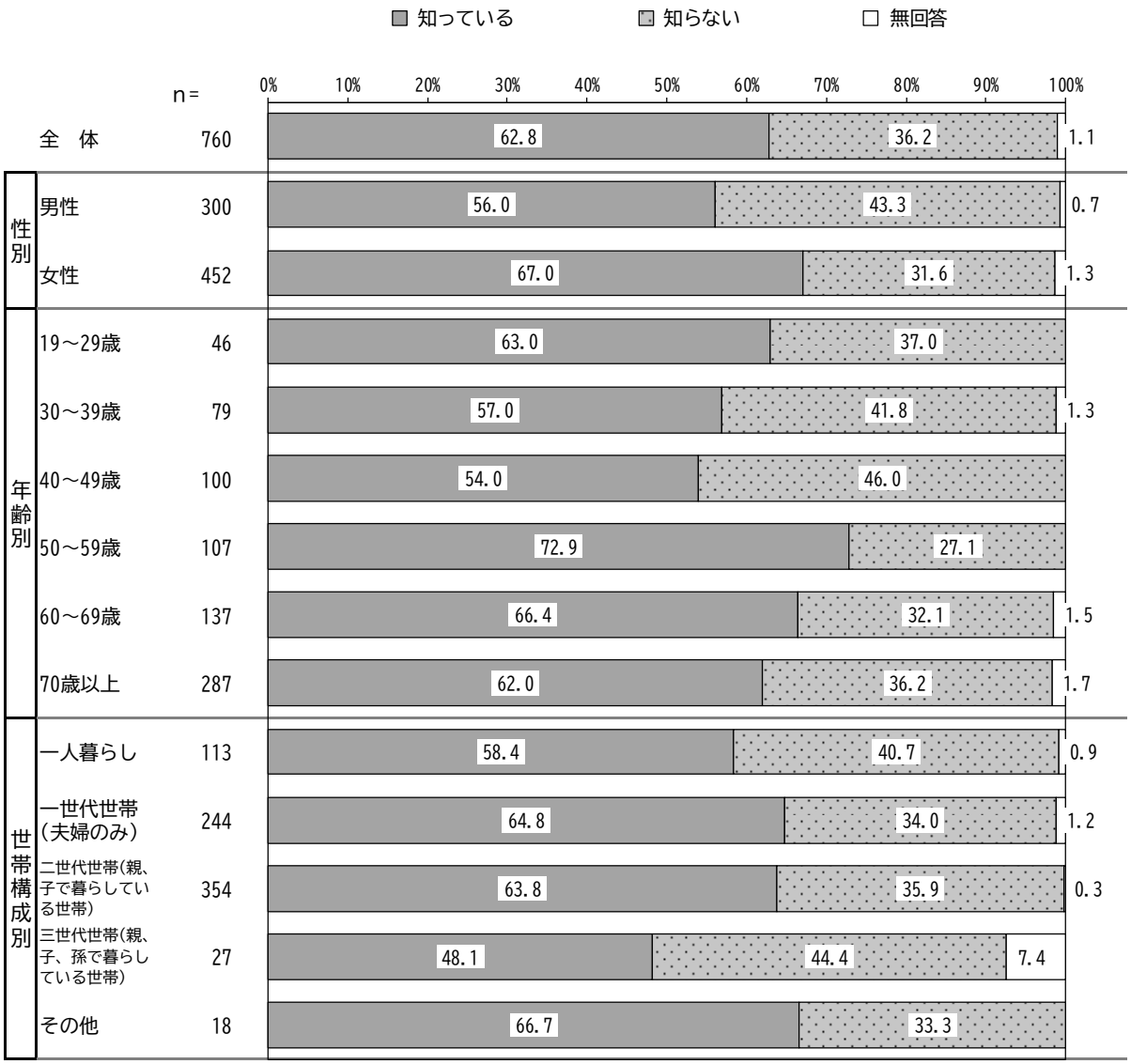


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「知っている」は女性（67.0%）が男性（56.0%）を 11.0 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「知っている」は〔50～59 歳〕（72.9%）が７割を超えて最も高くなっています。

世帯構成別でみると、「知っている」は、〔三世代世帯〕が５割を切って最も低くなっています。

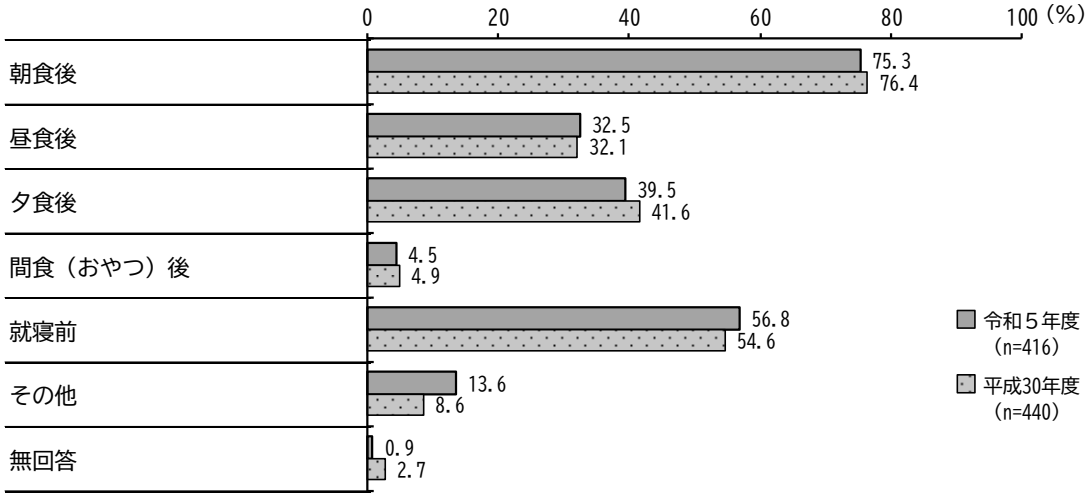


3．日ごろの口腔ケアについて

（1）歯みがきの状況

問 16　あなたは1日のうちで、いつ歯をみがきますか。(あてはまるものすべてに○)

1 日のうちで歯をみがく場面については、「朝食後」(75.3%)が７割半ばに達し最も高く、次いで「就寝前」(56.8%)、「夕食後」(39.5%)、「昼食後」(32.5%) が続いています。
前回調査と比較すると、項目ごとに増減はあるものの、あまり変化はありません。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、〔14 本以下〕は食後、特に「朝食後」と「昼食後」の歯みがき割合が低い傾向にあります。

(単位:%)		n	朝食後	昼食後	夕食後	間食(おやつ)後	就寝前	その他	無回答
全体		(760)	***75.3***	32.5	39.5	4.5	56.8	13.6	0.9
歯の本数別	28本以上	(303)	***79.5***	31.7	37.0	4.6	63.4	12.5	0.7
	27～25本	(174)	***75.9***	39.1	37.9	2.9	62.1	11.5	0.0
	24～20本	(126)	***78.6***	30.2	47.6	4.8	46.0	14.3	0.0
	19～15本	(45)	***73.3***	35.6	44.4	6.7	46.7	11.1	0.0
	14本以下	(84)	***63.1***	25.0	34.5	4.8	51.2	19.0	1.2

【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、男女ともに「朝食後」が７割を超えて最も高くなっています。また、「その他」を除くいずれの場面でも、女性の方が男性よりも歯みがきをしている傾向にあります。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「朝食後」が最も高くなっています。また、30～49 歳にかけて「就寝前」が７割を超えて高くなっています。

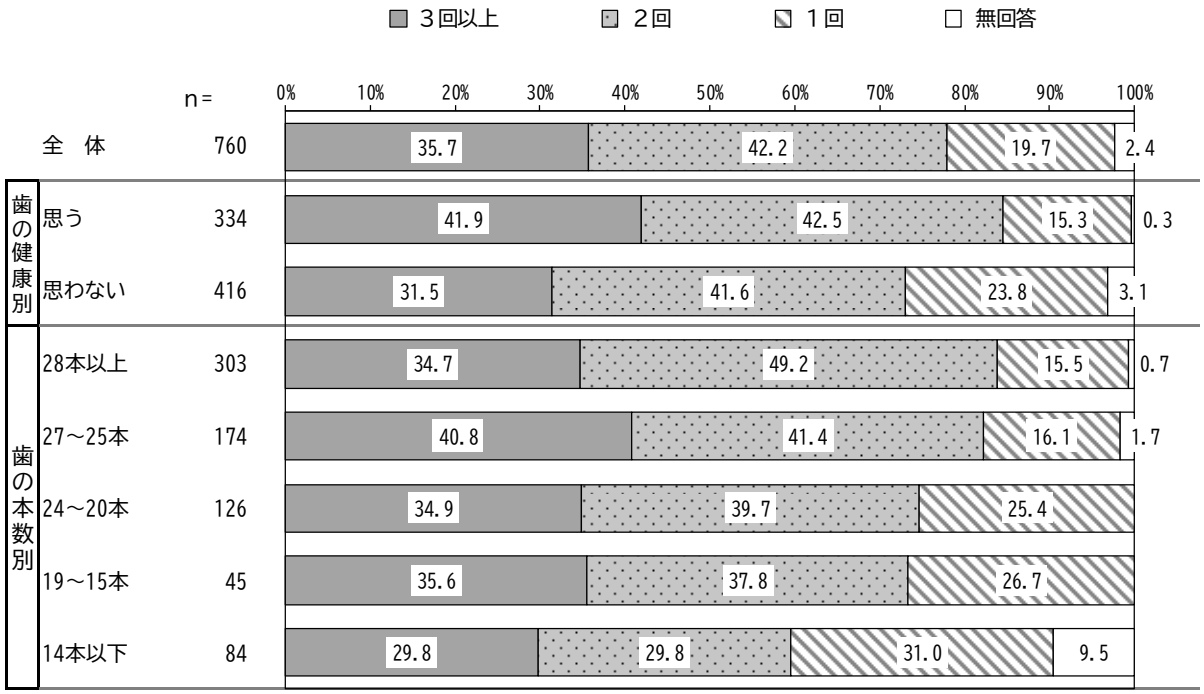
世帯構成別でみると、いずれの世帯も「朝食後」が最も高くなっています。

（単位:%）		n	朝食後	昼食後	夕食後	間食(おやつ)後	就寝前	その他	無回答
全体		(760)	***75.3***	32.5	39.5	4.5	56.8	13.6	0.9
性別	男性	(300)	***71.0***	24.7	35.7	2.3	54.3	14.7	0.7
	女性	(452)	***78.3***	37.8	42.0	6.0	58.6	12.6	1.1
年齢別	19～29歳	(46)	***82.6***	30.4	52.2	10.9	50.0	15.2	2.2
	30～39歳	(79)	***75.9***	20.3	27.8	1.3	72.2	8.9	1.3
	40～49歳	(100)	***73.0***	32.0	31.0	4.0	70.0	17.0	1.0
	50～59歳	(107)	***83.2***	42.1	35.5	5.6	66.4	12.1	0.0
	60～69歳	(137)	***74.5***	28.5	32.8	5.8	59.1	14.6	1.5
	70歳以上	(287)	***72.1***	34.8	48.1	3.5	44.6	13.6	0.7
世帯構成別	一人暮らし	(113)	***65.5***	35.4	42.5	7.1	52.2	18.6	0.0
	一世代世帯（夫婦のみ）	(244)	***77.9***	34.8	39.8	3.3	58.2	11.1	0.8
	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(354)	***77.4***	30.8	38.1	4.5	58.5	13.8	0.8
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(27)	***66.7***	29.6	33.3	3.7	40.7	18.5	7.4
	その他	(18)	***77.8***	27.8	50.0	5.6	61.1	5.6	0.0

１日に歯をみがく回数は、「２回」(42.2%) が４割を超えて最も高く、次いで「３回以上」(35.7%)、「１回」(19.7%) が続いています。

歯の健康別でみると、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者では「３回以上」(41.9%) が４割を超えており、〔思わない回答者〕(31.5%) を 10.4 ポイント上回っています。

歯の本数別でみると、『２回以上』歯をみがいている割合は、歯の本数が多いほど高い傾向にあります。

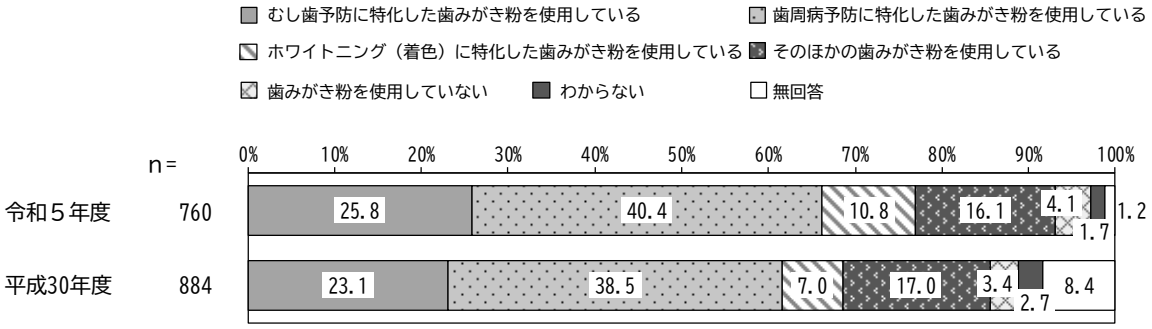


（２）歯みがき粉の使用状況

問17　あなたは、歯みがき粉を使用していますか。(いずれか1つに○)

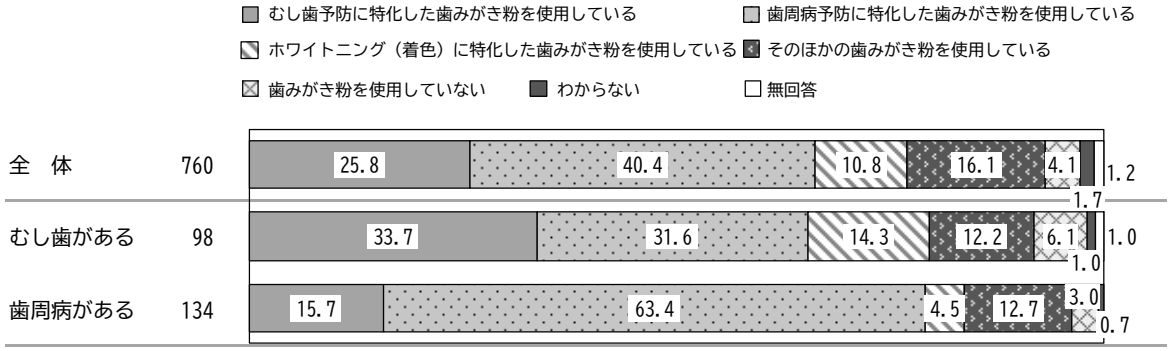
歯みがき粉の使用状況について、「歯周病予防に特化した歯みがき粉を使用している」（40.4%）が４割を占めて最も高く、次いで「むし歯予防に特化した歯みがき粉を使用している」（25.8%)、「そのほかの歯みがき粉を使用している」（16.1%）が続いています。

前回調査と比較すると、なんらかに特化した歯みがき粉を使用している割合が増加している傾向にあります。



【むし歯・歯周病別】

問９で「虫歯がある」と回答した人は「むし歯予防に特化した歯みがき粉を使用している」、「歯周病がある」と回答した人は「歯周病予防に特化した歯みがき粉を使用している」割合が高く、自身の症状に合わせた歯みがき粉を使用している傾向にあります。

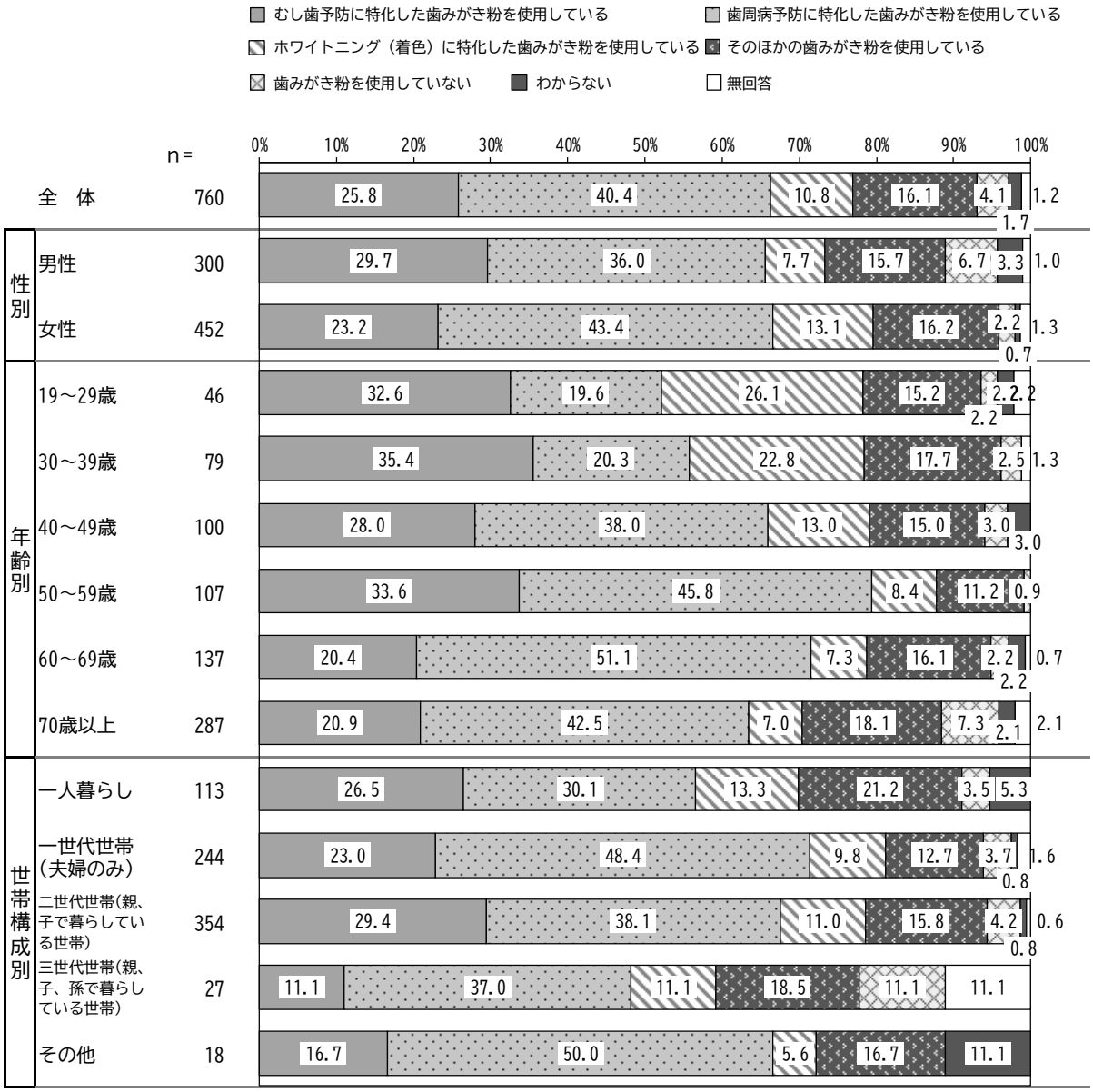


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、男女ともに「歯周病予防に特化した歯みがき粉を使用している」割合が最も高くなっています。また、男性の方が女性より「虫歯予防に特化した歯みがき粉」を、女性の方が男性より「ホワイトニングに特化した歯みがき粉」を使用している割合が高くなっています。

年齢別でみると、19～39 歳の年齢では「ホワイトニングに特化した歯みがき粉」を使用している割合が２割を超えています。また年齢が高くなるにつれて「歯周病予防に特化した歯みがき粉」を使用している割合が増加する傾向にあります。

世帯構成別でみると、いずれの世帯構成でも「歯周病予防に特化した歯みがき粉を使用している」割合が最も高くなっています。

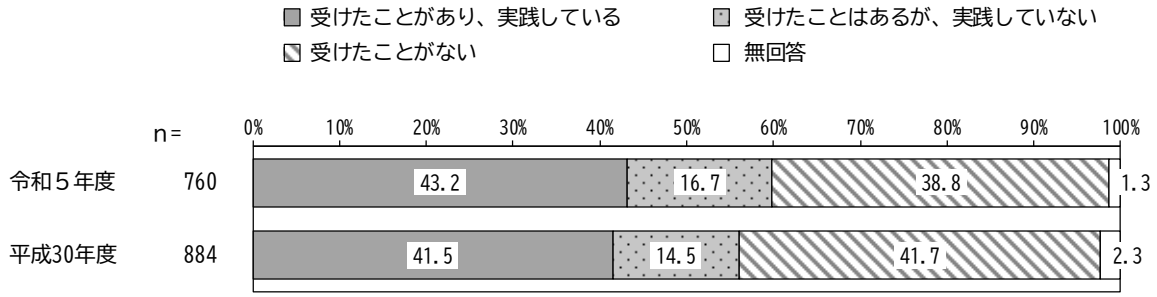


（3）歯みがき指導を受けた経験

問 18　歯科医療機関や学校又は講習会に参加して歯みがきの方法について指導を受けたことがありますか。

歯科医療機関や学校又は講習会に参加して歯みがきの方法について指導を受けたことがあるかについて、「受けたことがあり、実践している」が 43.2%、「受けたことはあるが、実践していない」が 16.7%となっています。一方「受けたことがない」は 38.8%と４割近くを占めています。

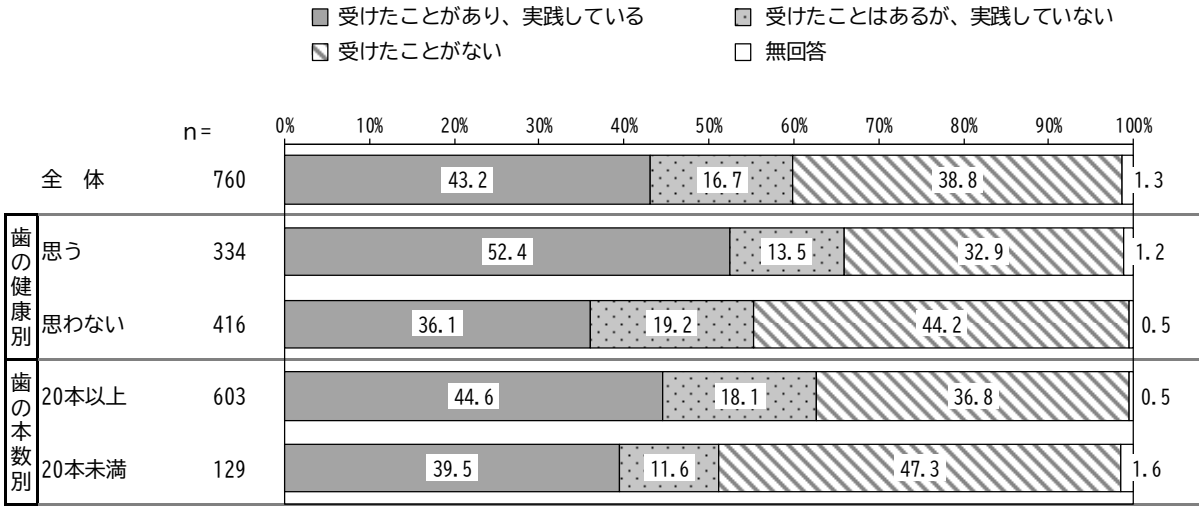
前回調査と比較すると、「受けたことがない」は 2.9 ポイント減少していますが、あまり変化はありません。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者では「受けたことがあり、実践している」（52.4%）が５割を超えており、〔思わない〕回答者（36.1%）を 16.3 ポイント大きく上回っています。

歯の本数別でみると、「受けたことがあり、実践している」は、〔20 本以上〕（44.6%）が４割半ば近くを占め、〔20 本未満〕（39.5%）を 5.1 ポイント上回っています。

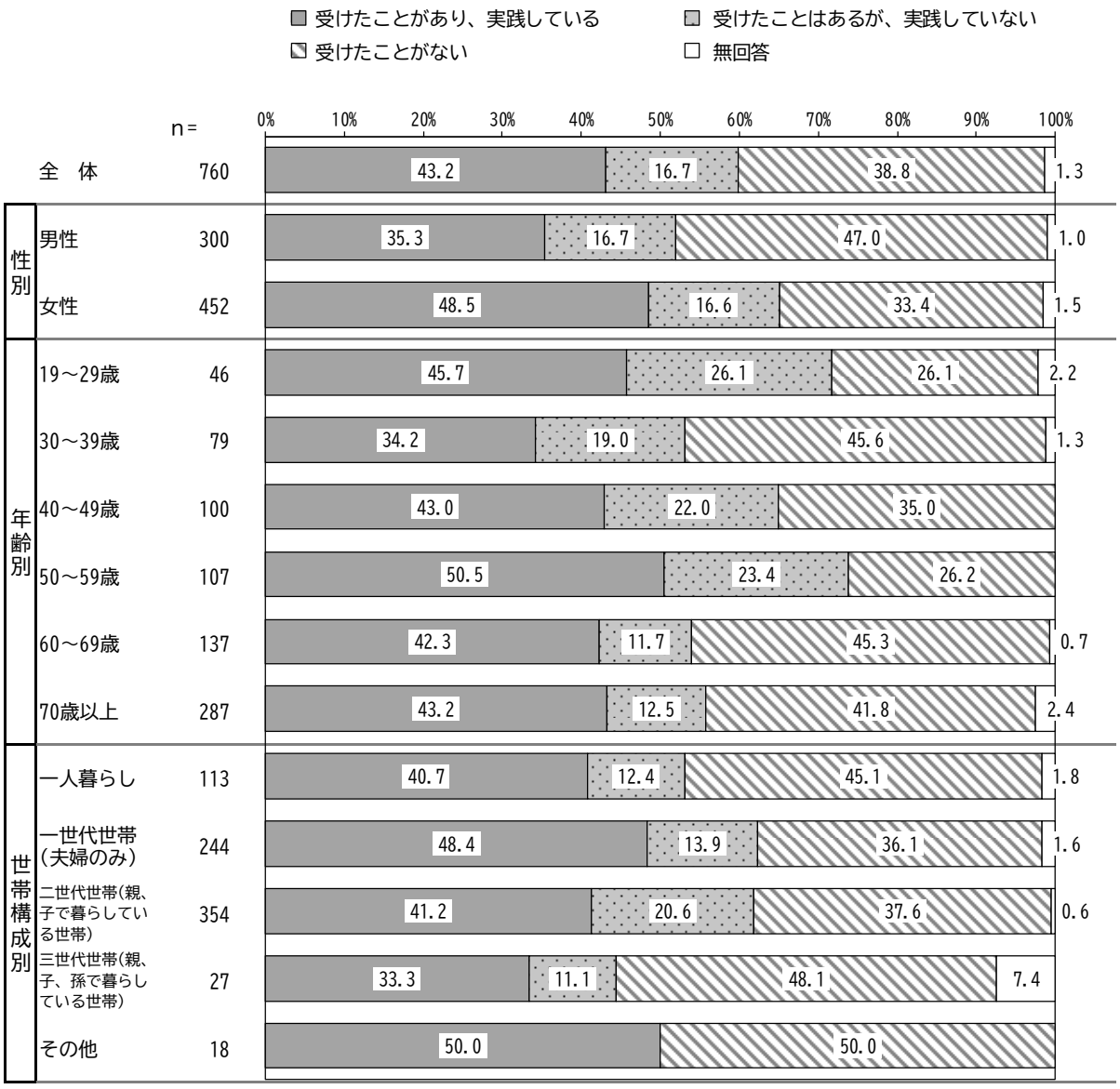


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「受けたことがあり、実践している」割合は女性（48.5%）で５割近くを占めており、男性（35.3%）を 13.2 ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、「受けたことがあり、実践している」は〔50～59 歳〕（50.5%）で５割を占めて、他の年齢より高くなっています。

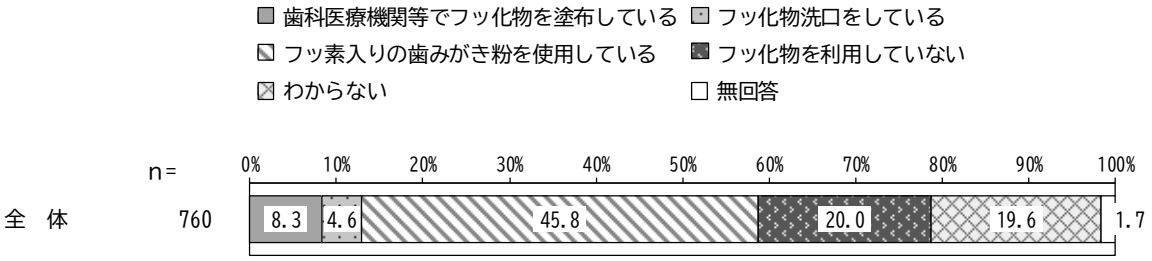
世帯構成別でみると、「受けたことがあり、実践している」は、〔三世代世帯〕（33.3%）が他の世帯構成よりも低くなっています。



（4）フッ化物の利用状況

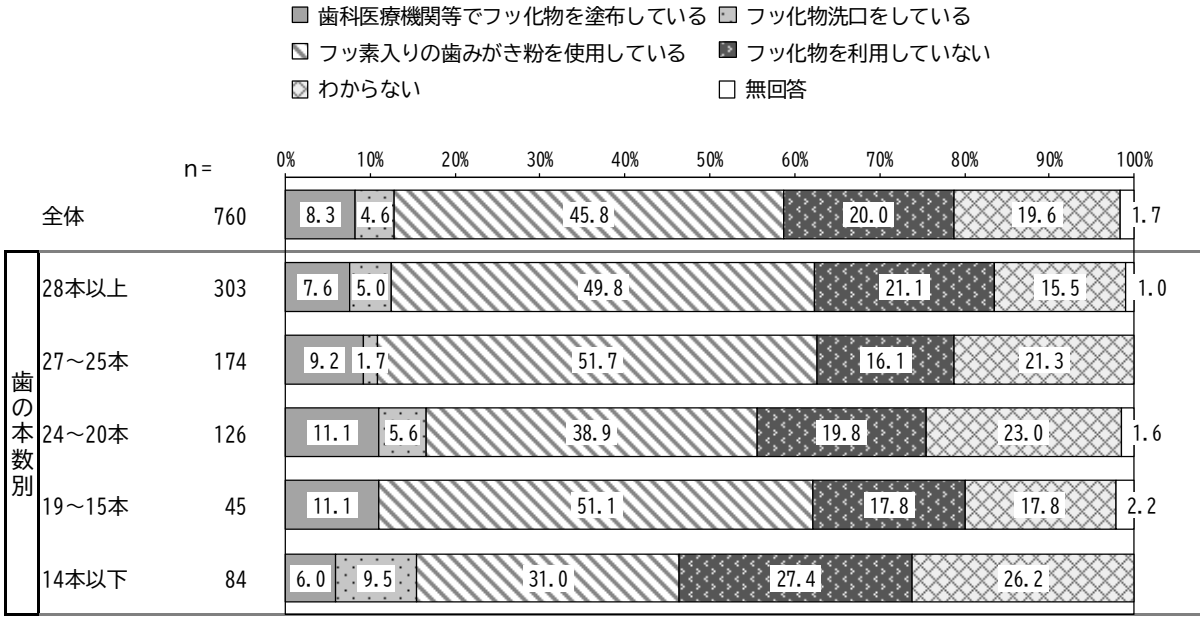
問 19　あなたはフッ化物(フッ素:一般に歯みがき粉等のパッケージにフッ素配合などと記載)を利用していますか。(いずれか1つに○)

フッ化物の利用状況について、「フッ素入りの歯みがき粉を使用している」(45.8%) が4割半ばを占めて最も高くなっています。一方、「フッ化物を利用していない」(20.0%)、「わからない」(19.6%) もともに2割前後を占めて高くなっています。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、〔14 本以下〕では「フッ化物を利用していない」が 27.4%と高くなっています。

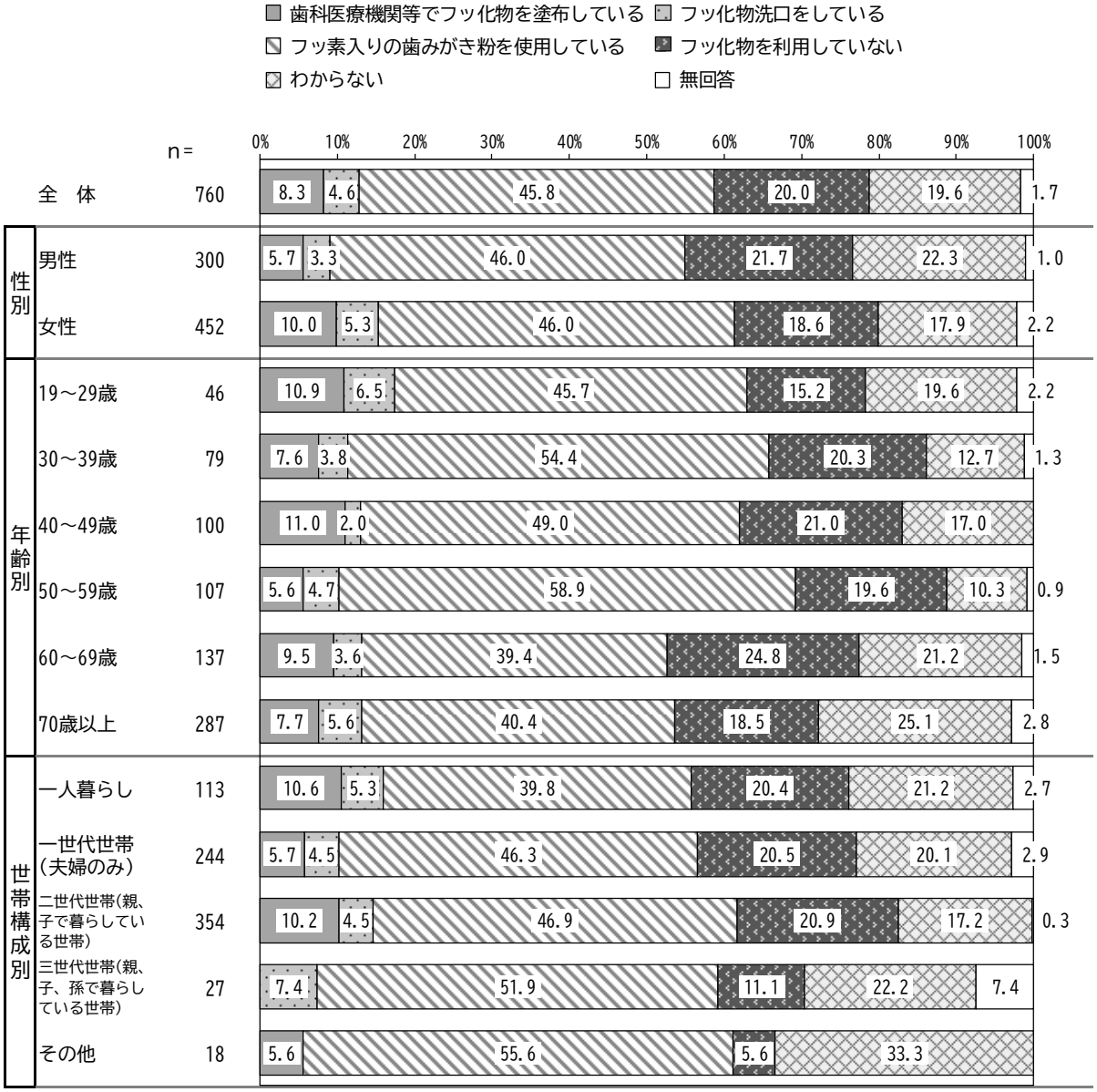


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「歯科医療機関等でフッ化物を塗布している」や「フッ化物洗口をしている」割合は、女性の方が男性よりもやや高い傾向にあります。

年齢別でみると、60 歳以上の年齢では「フッ素入りの歯みがき粉を使用している」が４割前後と、他の年齢よりも低くなっています。

世帯構成別でみると、〔一人暮らし〕と〔二世代世帯〕では「歯科医療機関等でフッ化物を塗布している」が１割を占めて、やや高くなっています。

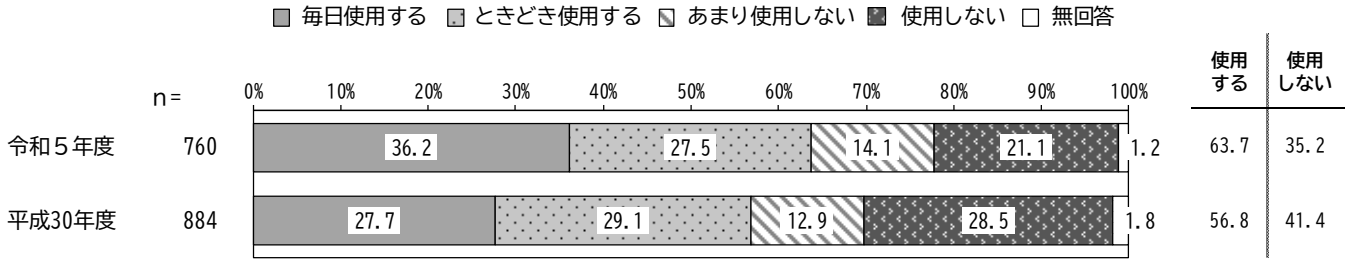


（５）歯間部清掃用具の使用状況

問 20　歯ブラシ以外の歯間部清掃用具(フロス、歯間ブラシなど)をどのくらい使用していますか。
（いずれか1つに○）

歯間部清掃用具の使用状況について、「毎日使用する」（36.2%）と「ときどき使用する」（27.5%）を合わせた『使用する』は 63.7%と６割を超えています。一方、「あまり使用しない」（14.1%）と「使用しない」（21.1%）を合わせた『使用しない』は 35.2%となっています。

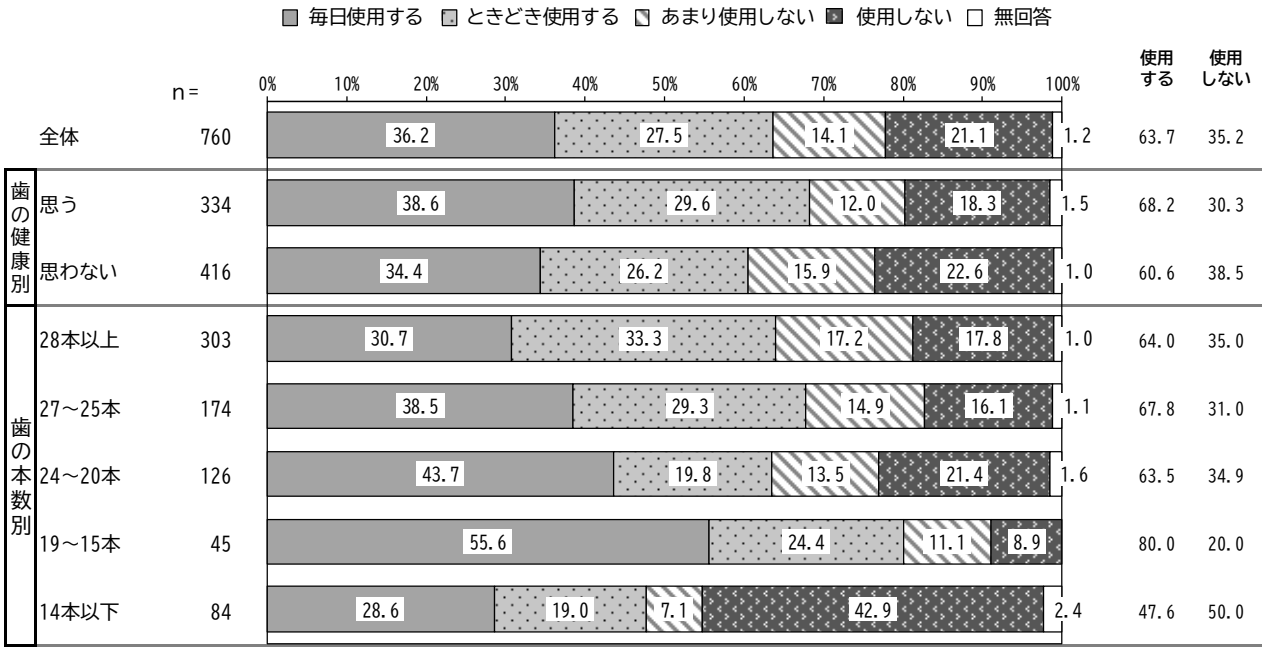
前回調査と比較すると、『使用する』割合は 6.9 ポイント増加しています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者では『使用する』（68.2%）が７割近くを占めており、〔思わない〕回答者（60.6%）を 7.6 ポイント上回っています。

歯の本数別でみると、「毎日使用する」は、〔19～15 本〕（55.6%）が５割半ばを占めて高くなっています。

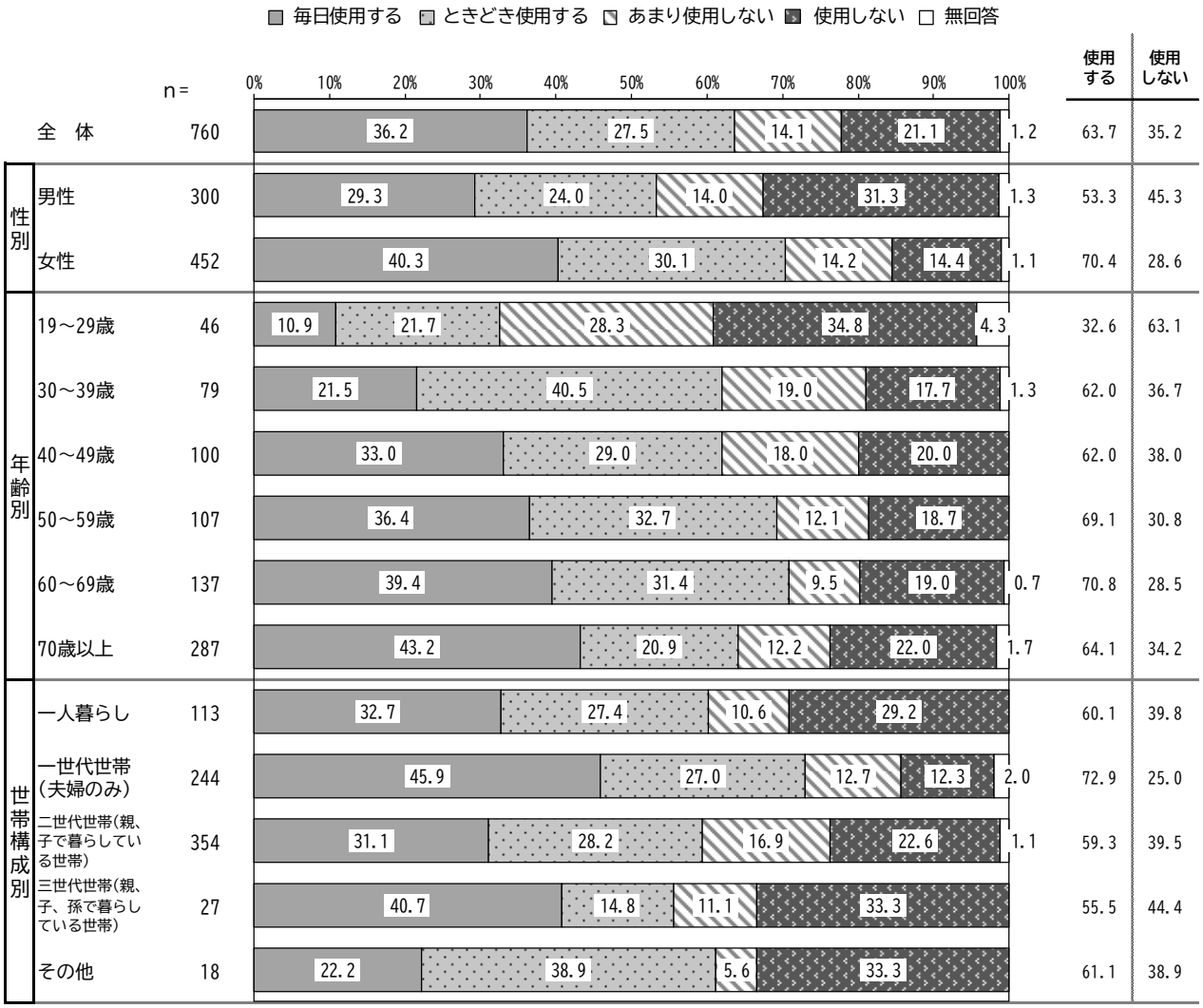


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、『使用する』は女性（70.4%）が男性（53.3%）を 17.1 ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、「毎日使用する」は年齢が高くなるにつれて増加傾向にあります。一方、〔19～29 歳〕では『使用しない』（63.1%）が６割を超えて、他の年齢より高くなっています。

世帯構成別でみると、『使用する』は、〔一世代世帯〕（72.9%）が７割を超えて高くなっています。

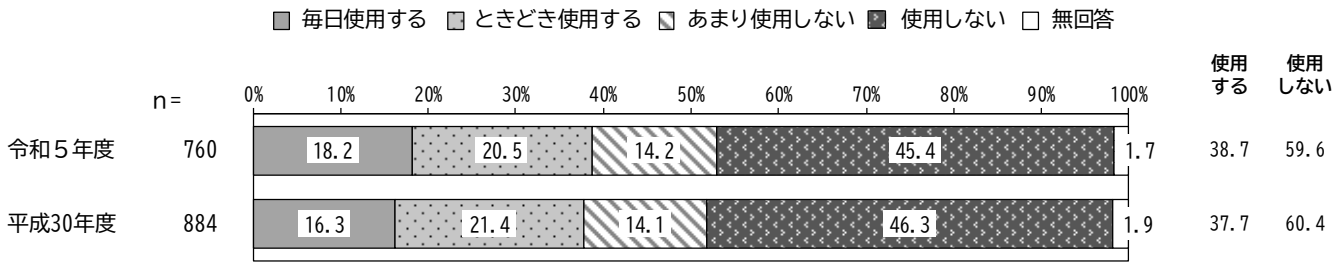


（６）洗口液の使用状況

問 21　あなたは洗口液を使用していますか。(いずれか1つに○)

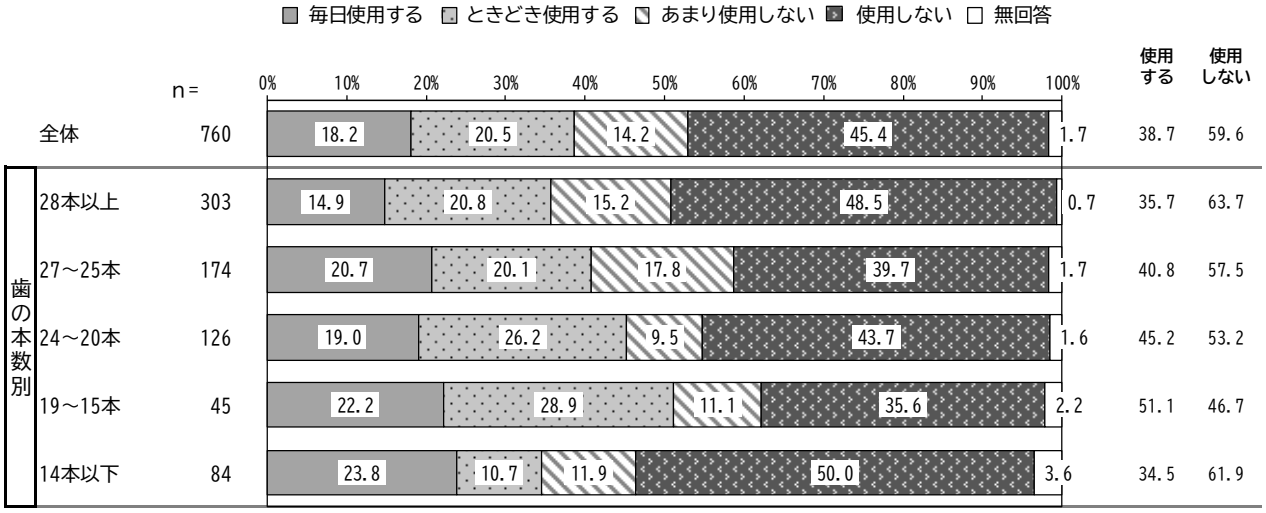
洗口液の使用状況について、「毎日使用する」(18.2%) と「ときどき使用する」(20.5%) を合わせた『使用する』は 38.7%となっています。一方、「あまり使用しない」(14.2%) と「使用しない」(45.4%) を合わせた『使用しない』は 59.6%と６割を占めています。

前回調査と比較すると、あまり変化はありません。



【歯の本数別】

歯の本数別でみると、『使用する』は、〔19～15 本〕(51.1%) が５割を超えて高くなっています。

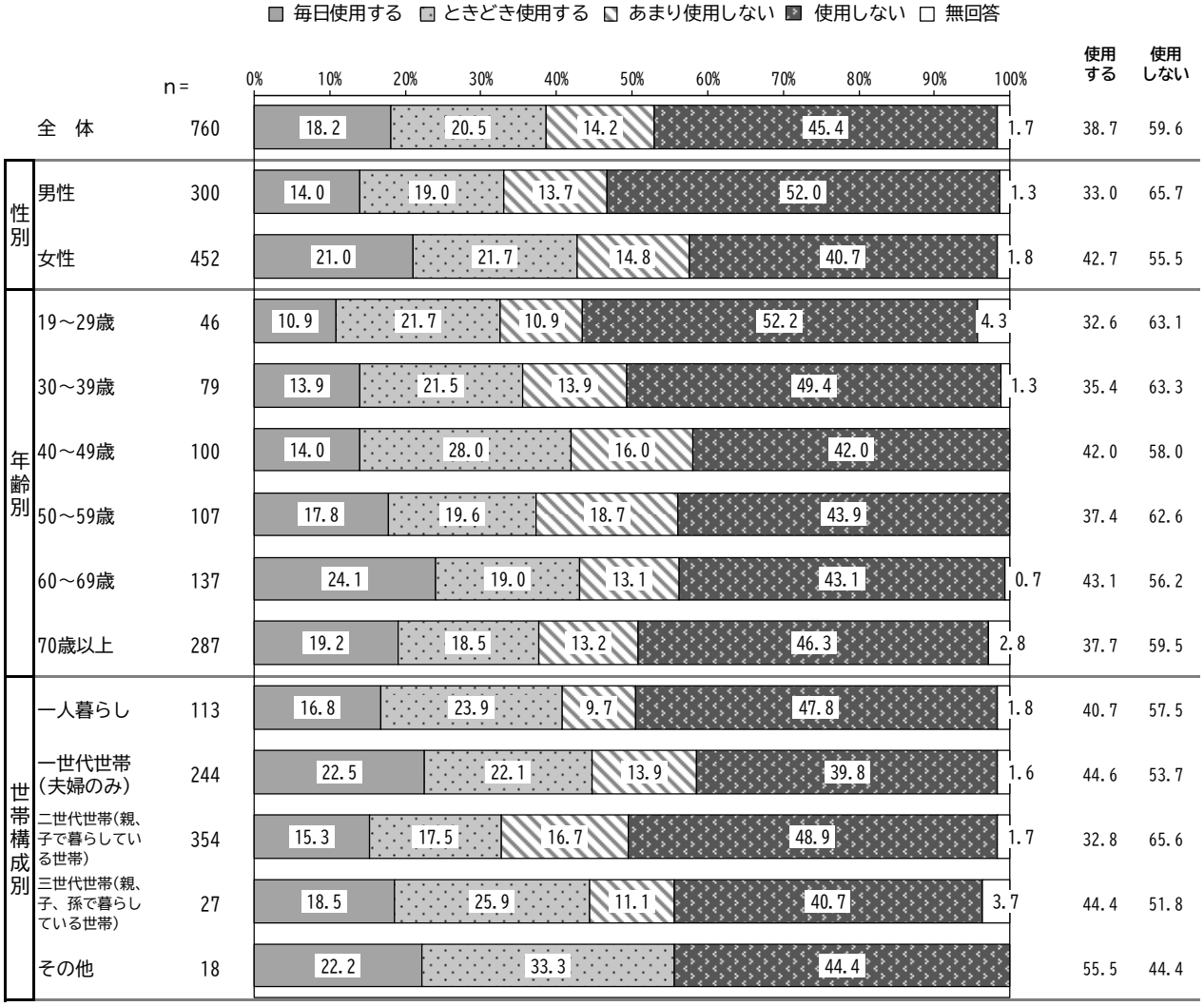


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、『使用する』は女性（42.7%）が男性（33.0%）を 9.7 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『使用する』は〔19～29 歳〕（32.6%）で他の年齢よりやや低くなっています。

世帯構成別でみると、『使用する』は、〔二世代世帯〕（32.8%）が４割を切って低くなっています。



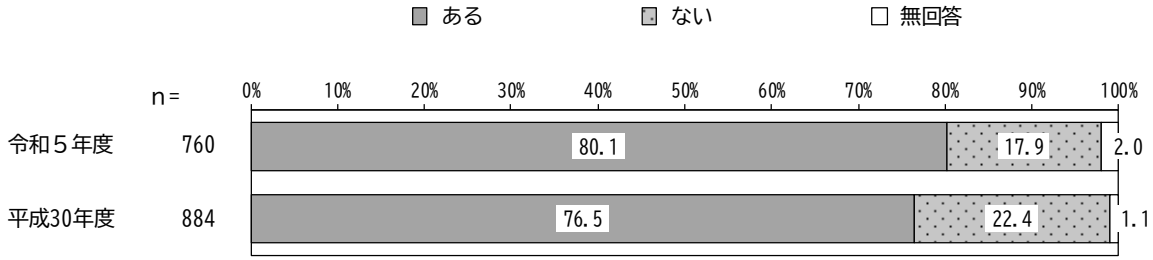
４．歯科医療機関の利用について

（１）かかりつけ歯科医療機関の有無

問 22　かかりつけの歯科医療機関はありますか。(いずれか1つに○)

かかりつけ歯科医療機関の有無について、「ある」が 80.1%、「ない」が 17.9%となっています。

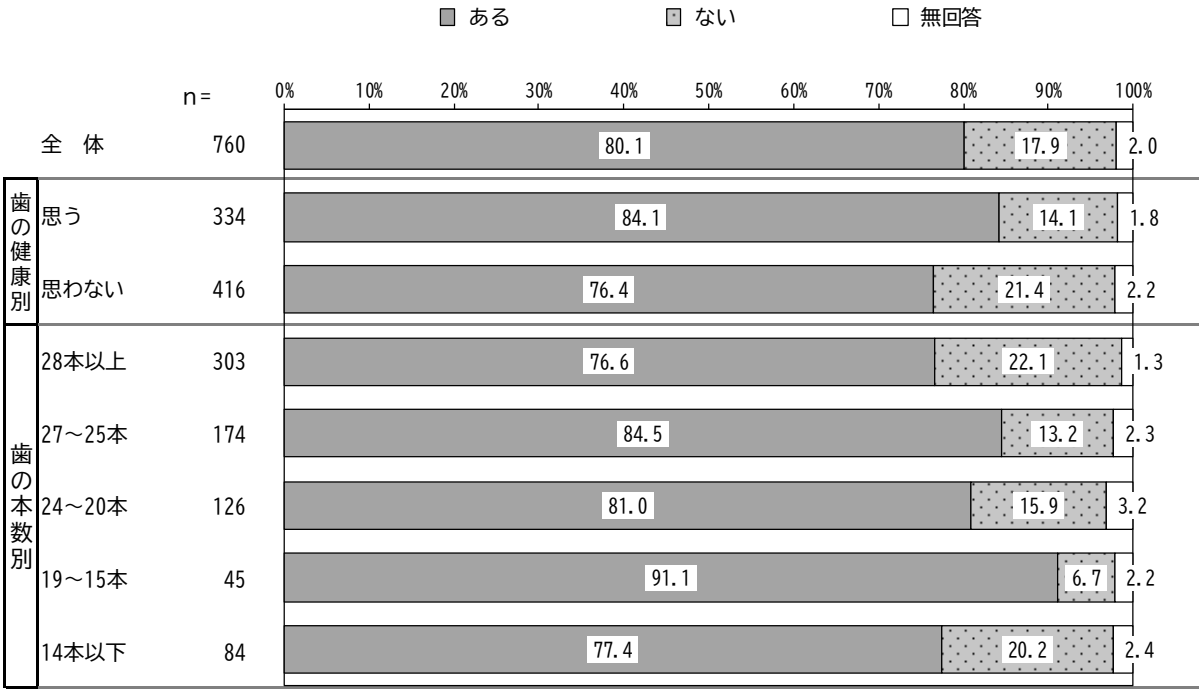
前回調査と比較すると、「ある」割合が 3.6 ポイント増加しています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、かかりつけ歯科医療機関が「ある」割合は、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者（84.1%）で８割半ば近くを占めており、〔思わない〕回答者（76.4%）を 7.7 ポイント上回っています。

歯の本数別でみると、かかりつけ歯科医療機関が「ある」は、〔19～15 本〕(91.1%）で９割を超えて高くなっています。

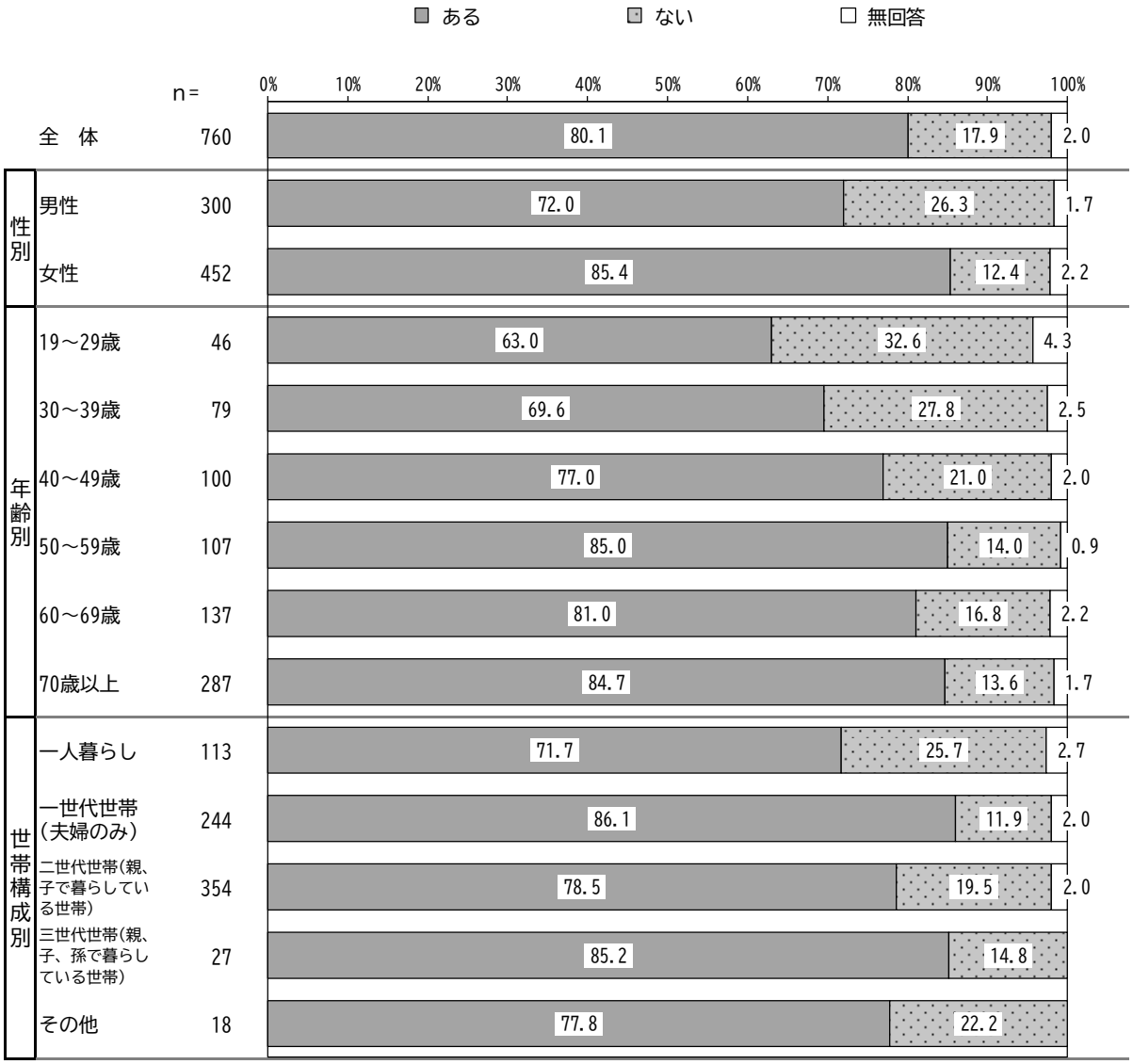


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「ある」は女性（85.4%）が男性（72.0%）を 13.4 ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、全体的に年齢が低いほど「ない」割合が増加傾向にあり、〔19～29 歳〕(32.6%)では３割を超えています。「ある」割合は 50 歳以上の年齢で８割を超えています。

世帯構成別でみると、「ある」は、〔一世代世帯〕と〔三世代世帯〕で８割半ばを超えて高くなっています。

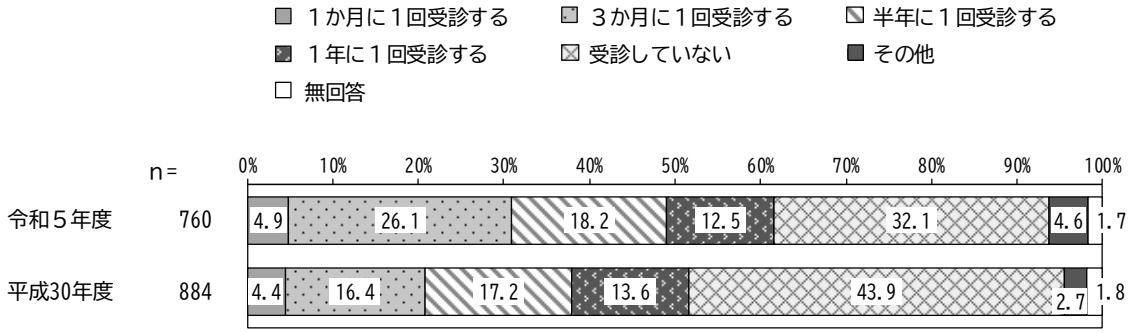


（2）歯科健診の受診頻度

問 23　健診目的で定期的に歯科医療機関を受診していますか。(いずれか1つに○)

定期的な歯科健診の頻度について、「３か月に１回受診する」(26.1%) が２割半ばを超えて最も高く、次いで「半年に１回受診する」(18.2%)、「１年に１回受診する」(12.5%) が続いています。一方、「受診していない」は 32.1%と３割を超えています。

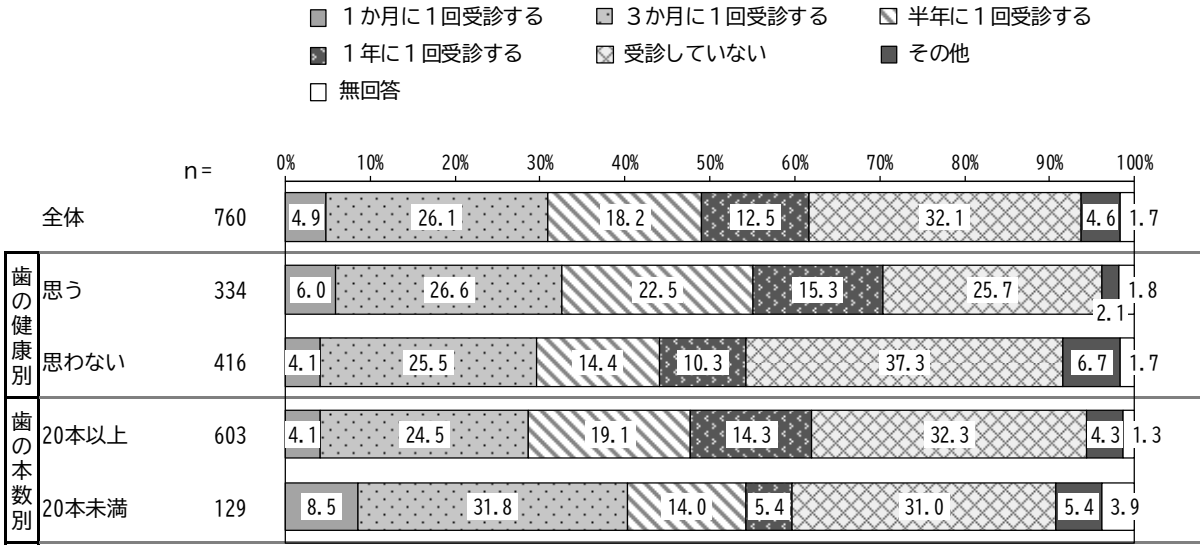
前回調査と比較すると、「３か月に１回受診する」が 9.7 ポイント増加しており、反対に「受診していない」割合が 11.8 ポイント大きく減少しています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、定期的な歯科健診「受診していない」割合は、歯や口腔が健康だと〔思わない〕回答者（37.3%）で３割半ばを超えており、〔思う〕回答者（25.7%）を 11.6 ポイント大きく上回っています。

歯の本数別でみると、「１か月に１回受診する」と「３か月に１回受診する」割合は、〔20 本未満〕の方が〔20 本以上〕よりも高く、受診する頻度が多い傾向にあります。

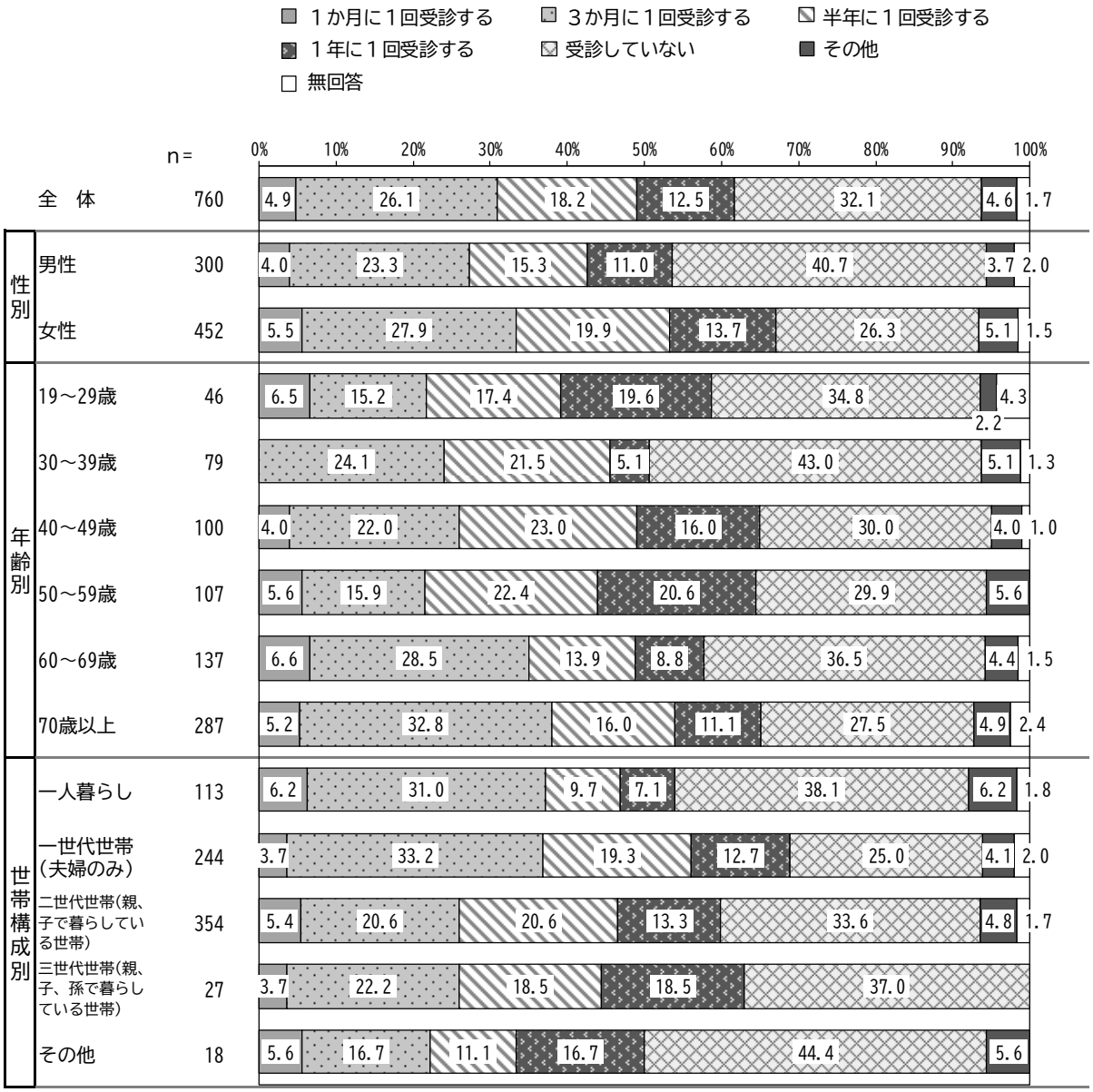


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「受診していない」は男性（40.7%）で４割を占めており、女性（26.3%）を 14.4 ポイント大きく上回っています。女性はいずれの受診頻度の割合でも男性を上回っており、女性の方が定期的に歯科健診を受診している傾向にあります。

年齢別でみると、「受診していない」は〔30～39 歳〕（43.0%）で４割を超えて、他の年齢より高くなっています。

世帯構成別でみると、〔一世代世帯〕では定期的に歯科健診を受診している傾向にあり、「受診していない」（25.0%）が低くなっています。

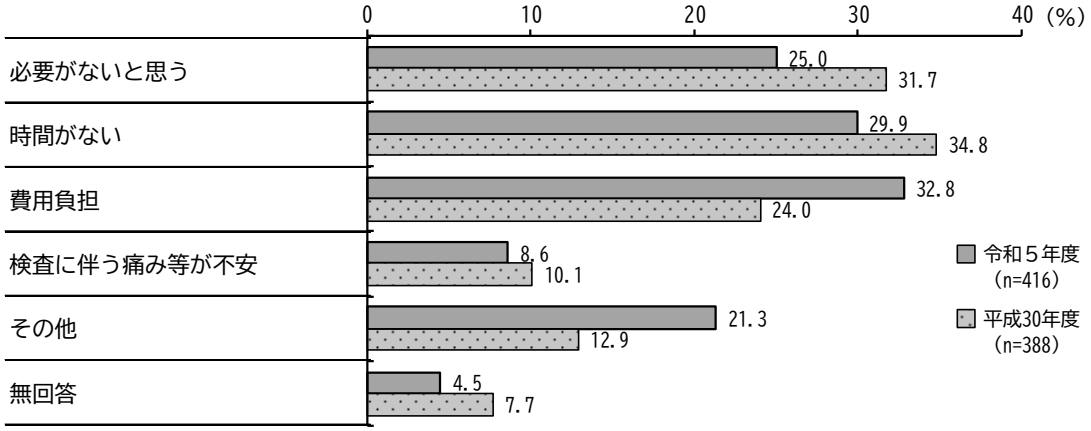


（3）定期的な歯科健診を受診しない理由

（問 23 で「受診していない」と答えた方にお聞きします。）
問 24　受診しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

定期的な歯科健診を受診しない理由は、「費用負担」（32.8%）が３割を超えて最も高く、次いで「時間がない」（29.9%）、「必要がないと思う」（25.0%）が続いています。

前回調査と比較すると、「費用負担」の割合が 8.8 ポイント増加しており、反対に「必要がないと思う」と「時間がない」が減少しています。



【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「費用負担」と「時間がない」は男女ともに３割前後と高く、「必要がないと思う」は男性（34.4%）が女性（14.3%）を 20.1 ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、30～59 歳の年齢にかけて「時間がない」が５割を超えて高くなっています。また、〔50～59 歳〕では「費用負担」（56.3%）が５割半ばを超えて、他の年齢より高くなっています。

世帯構成別でみると、「費用負担」は〔一人暮らし〕と〔二世代世帯〕で４割近くと高くなっています。

（単位:%）		n	必要がないと思う	時間がない	費用負担	検査に伴う痛み等が不安	その他	無回答
全体		(244)	25.0	29.9	***32.8***	8.6	21.3	4.5
性別	男性	(122)	***34.4***	29.5	31.1	5.7	13.9	3.3
	女性	(119)	14.3	30.3	***33.6***	10.9	29.4	5.9
年齢別	19～29歳	(16)	37.5	***43.8***	37.5	6.3	12.5	0.0
	30～39歳	(34)	20.6	***52.9***	50.0	5.9	17.6	0.0
	40～49歳	(30)	6.7	***53.3***	43.3	3.3	20.0	3.3
	50～59歳	(32)	6.3	53.1	***56.3***	15.6	9.4	0.0
	60～69歳	(50)	26.0	20.0	***28.0***	14.0	20.0	8.0
	70歳以上	(79)	***38.0***	5.1	13.9	6.3	31.6	7.6
世帯構成別	一人暮らし	(43)	34.9	20.9	***39.5***	11.6	16.3	2.3
	一世代世帯（夫婦のみ）	(61)	***26.2***	***26.2***	23.0	3.3	26.2	8.2
	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(119)	18.5	***38.7***	***38.7***	10.1	20.2	2.5
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(10)	***50.0***	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0
	その他	(8)	***37.5***	12.5	25.0	0.0	37.5	0.0

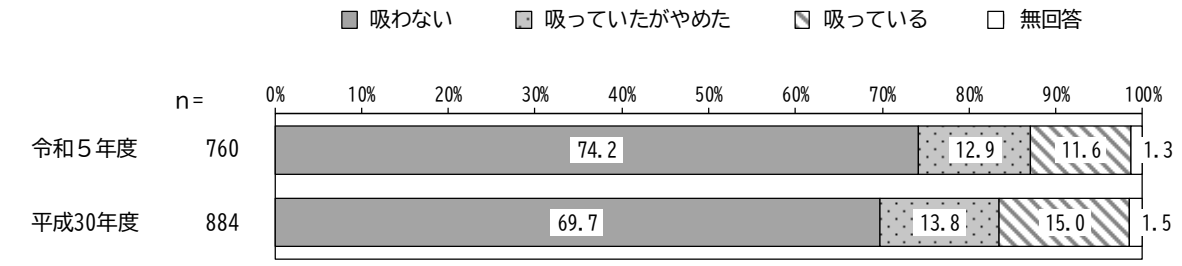
5．喫煙について

（1）喫煙の状況

問 25　あなたは現在、たばこを吸っていますか。(いずれか1つに○)※加熱式タバコも含みます

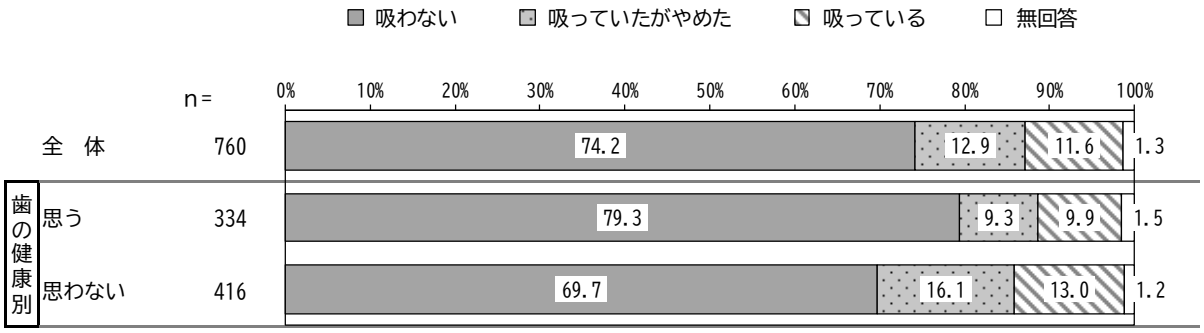
現在の喫煙状況について、たばこを「吸わない」が74.2%、「吸っていたがやめた」が12.9%、「吸っている」が11.6%となっています。

前回調査と比較すると、たばこを「吸わない」割合が4.5ポイント増加し、反対に「吸っている」が3.4ポイント減少しています。



【歯の健康別】

歯の健康別でみると、たばこを「吸わない」割合は、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者（79.3%）で８割を占めており、〔思わない〕回答者（69.7%）を 9.6 ポイント上回っています。

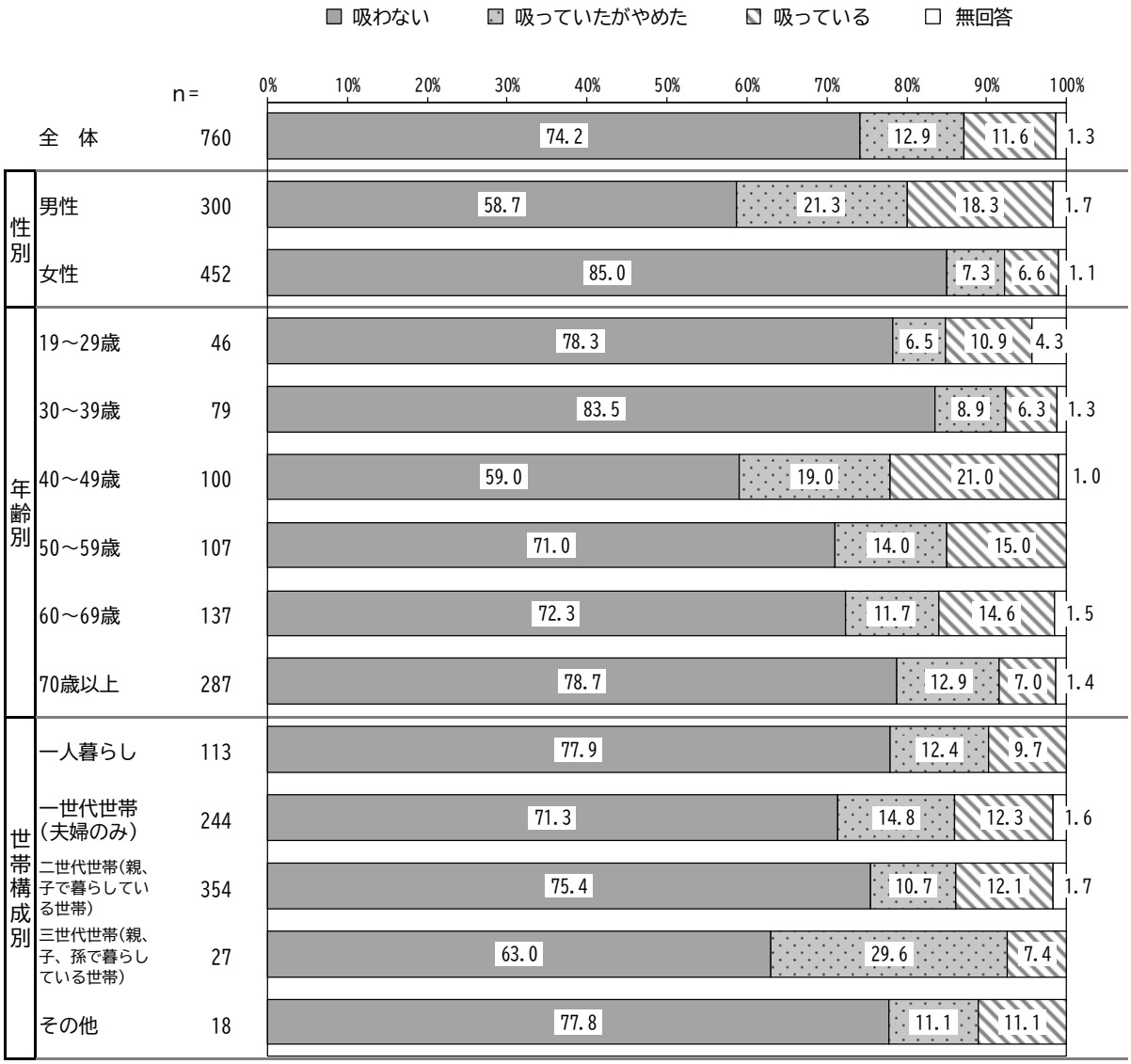


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、たばこを「吸っていたがやめた」と「吸っている」は、どちらも男性が女性の３倍近い割合を占めています。「吸わない」は女性（85.0%）が男性（58.7%）を 26.3 ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、たばこを「吸っている」は〔40～49 歳〕（21.0%）で２割を超えて他の年齢より高くなっています。

世帯構成別でみると、「吸っていたがやめた」は、〔三世代世帯〕（29.6%）で３割を占めて高くなっています。

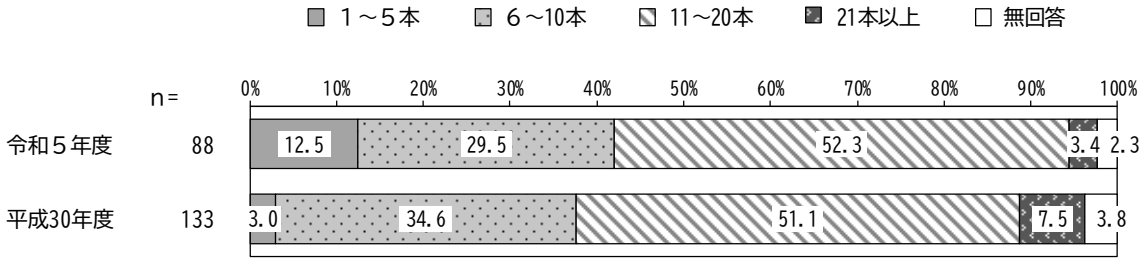


（2）１日あたりの喫煙本数

（問 25 で「吸っている」と答えた方にお聞きします。）
問 26　1日あたりの喫煙本数を教えてください。

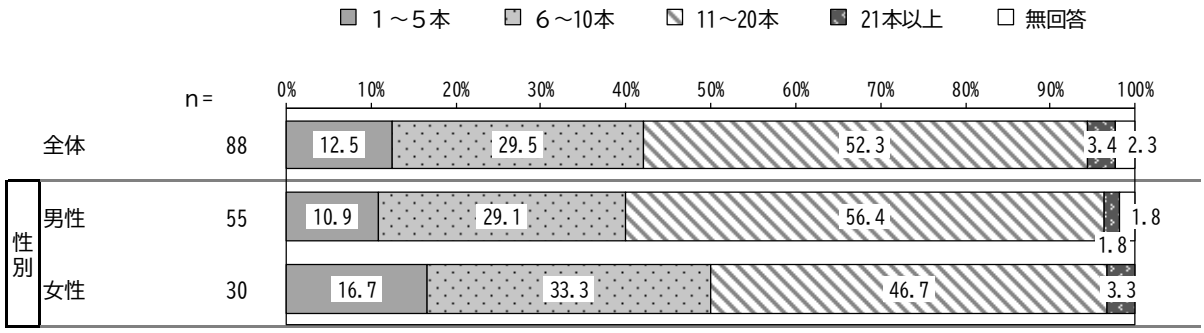
１日あたりの喫煙本数は、「11～20 本」（52.3%）が５割を超えて最も高く、次いで「６～10 本」（29.5%）、「１～５本」（12.5%）と続いており、「21 本以上」は 3.4%となっています。

前回調査と比較すると、「１～５本」が 9.5 ポイント増加しており、喫煙本数は減っている傾向にあります。



【性別】

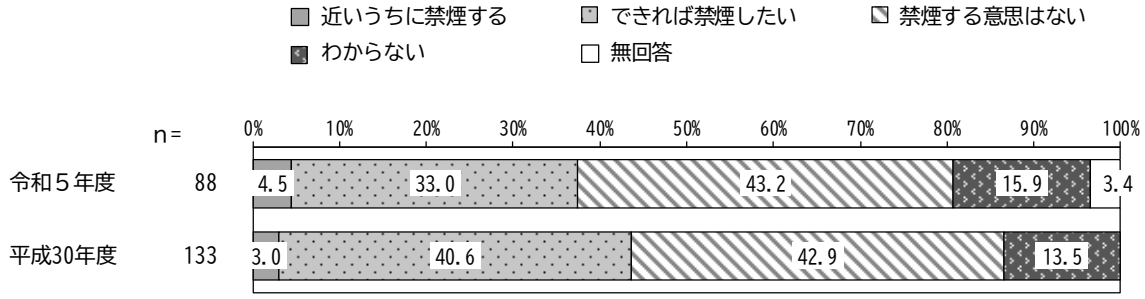
性別でみると、男女ともに「11～20 本」が最も高くなっていますが、男性（56.4%）が５割半ばを超えており、女性（46.7%）を 9.7 ポイント上回っています。



（3）禁煙の意思の有無

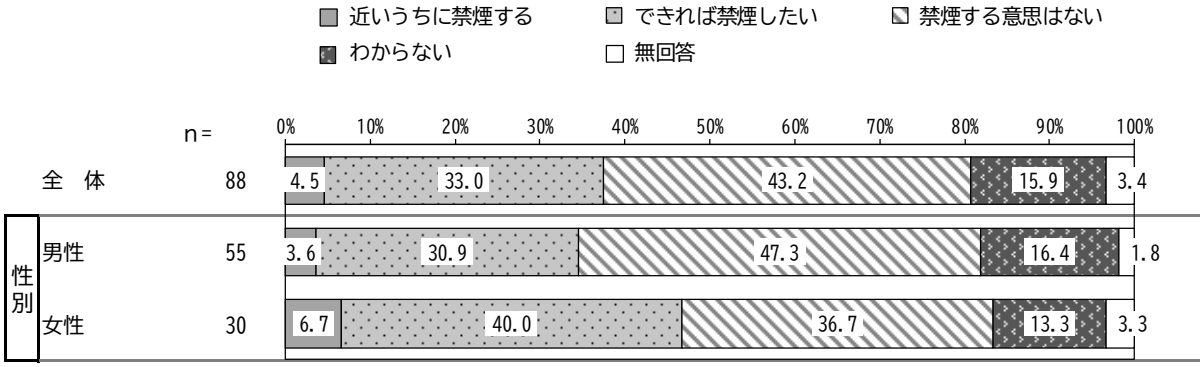
（問 25 で「吸っている」と答えた方にお聞きします。）
問 27　あなたは禁煙の意思がありますか。（いずれか1つに○）

禁煙の意思について、「禁煙する意思はない」が 43.2%と４割を超えて最も高くなっています。「できれば禁煙したい」は 33.0%、「近いうちに禁煙する」は 4.5%となっています。
前回調査と比較すると、「禁煙する意思はない」割合はあまり変化ありません。



【性別】

性別でみると、「禁煙する意思はない」は男性（47.3%）が女性（36.7%）を 10.6 ポイント上回っています。反対に、「できれば禁煙したい」は女性（40.0%）が男性（30.9%）を 9.1 ポイント上回っており、女性の方が男性より禁煙の意向が高い傾向にあります。

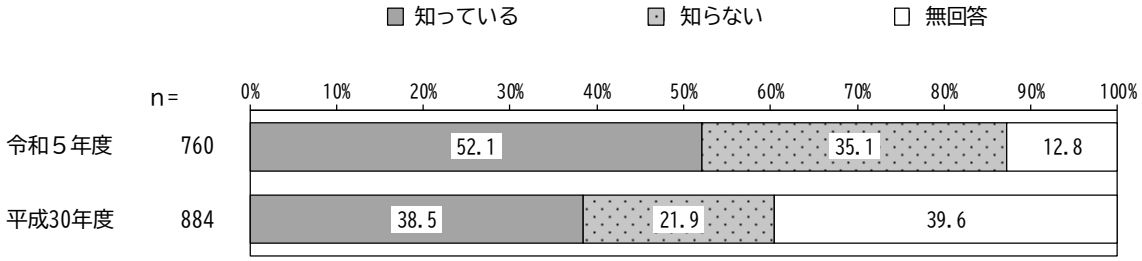


（４）喫煙が歯に及ぼす悪影響の認知状況

問 28　喫煙が、むし歯や歯周病に悪影響を及ぼすことを知っていますか。(いずれか1つに○)

喫煙がむし歯や歯周病に悪影響を及ぼすことを、「知っている」が 52.1%、「知らない」が 35.1%となっています。

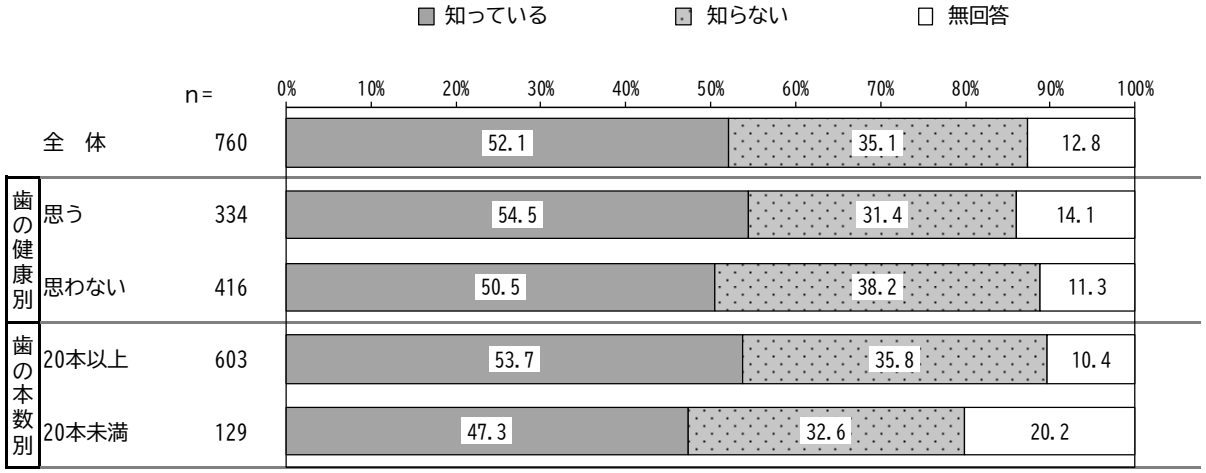
前回調査と比較すると、「知っている」割合が 13.6 ポイント増加しています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、喫煙がむし歯や歯周病に悪影響を及ぼすことを「知っている」割合は、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者（54.5%）が〔思わない〕回答者（50.5%）を 4.0 ポイント上回っています。

歯の本数別でみると、「知っている」割合は、〔20 本以上〕（53.7%）で５割を超えています。

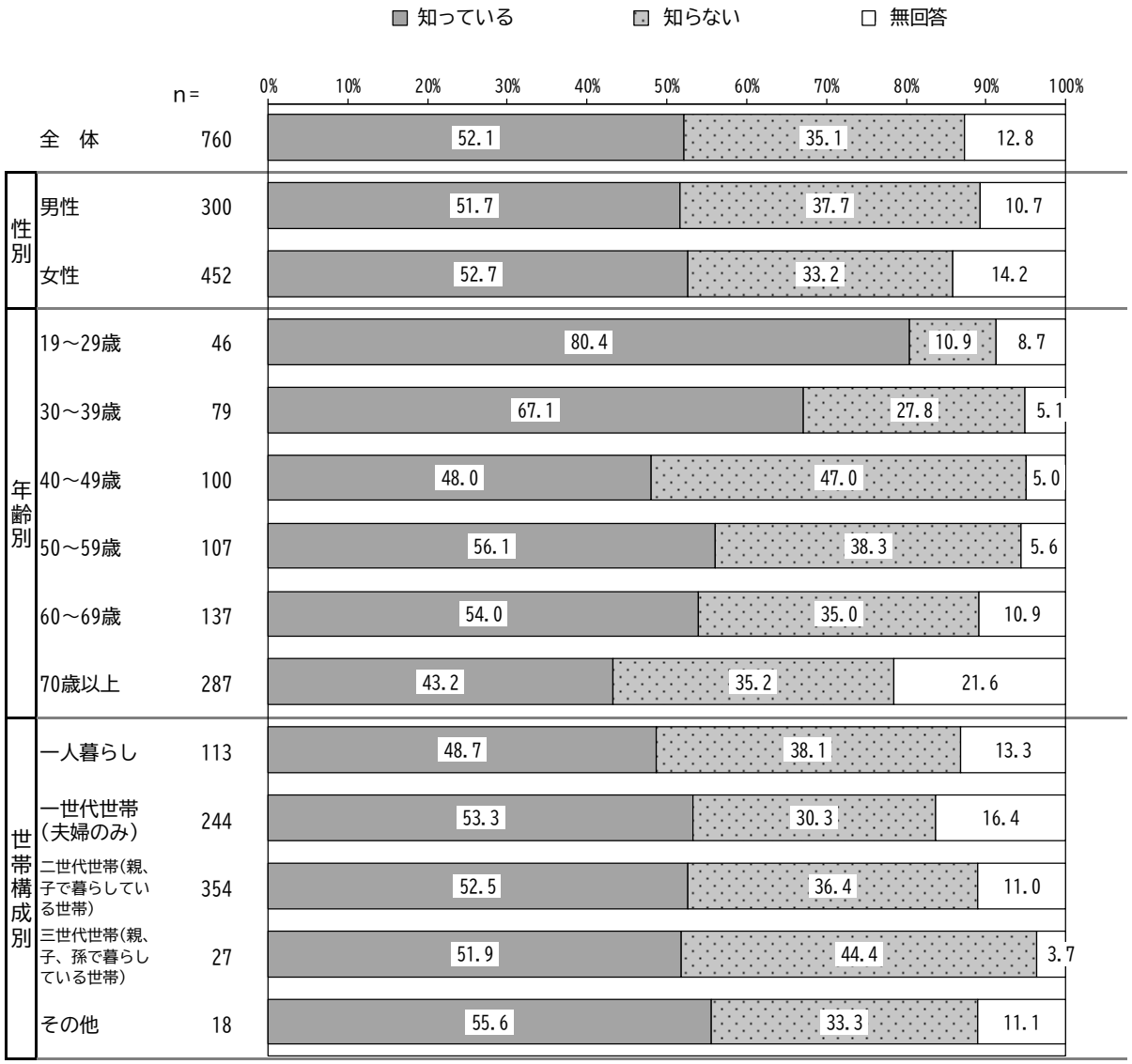


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、喫煙がむし歯や歯周病に悪影響を及ぼすことを「知っている」割合は、男女ともに５割を超えてあまり違いはありません。

年齢別でみると、「知っている」は〔19～29歳〕（80.4%）で８割を占めて最も高くなっています。「知らない」は〔40～49歳〕（47.0%）で他の年齢より高くなっています。

世帯構成別でみると、「知っている」はいずれの世帯でも５割前後を占めています。



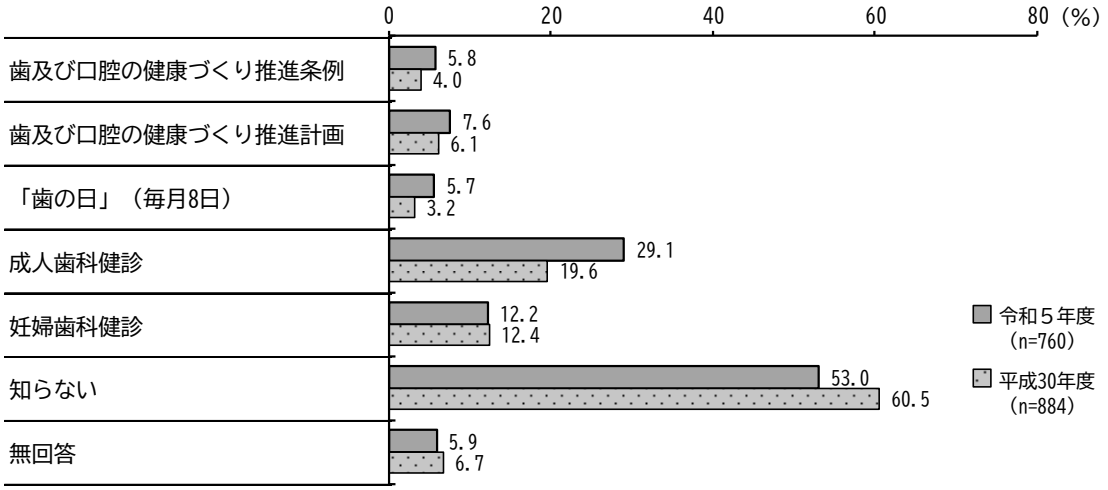
６．市の取り組みについて

（１）歯と口腔の健康づくりに関する市の取り組みの認知状況

問 29　歯と口腔の健康づくりに関して、市の取り組みで知っているものをお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

歯と口腔の健康づくりに関する市の取り組みで知っているは、「成人歯科健診」（29.1%）が３割近くで最も高く、次いで「妊婦歯科健診」（12.2%）、「歯及び口腔の健康づくり推進計画」（7.6%）が続いています。一方、「知らない」は 53.0%と５割を超えています。

前回調査と比較すると、「知らない」が 7.5 ポイント減少しており、「妊婦歯科健診」以外のすべての項目で増加しています。特に「成人歯科健診」は 9.5 ポイント前回調査より増加しています。



【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、男女ともに「成人歯科健診」が最も高くなっており、女性（34.7%）が男性（20.3%）を 14.4 ポイント上回っています。また、女性では「妊婦歯科健診」（18.6%）が２割近くで高くなっています。

年齢別でみると、40 歳以上の年齢では「成人歯科健診」が、30～49 歳の年齢では「妊婦歯科健診」が３割前後で高くなっています。

世帯構成別でみると、いずれの世帯も「成人歯科健診」が最も高くなっています。また、〔二世代世帯〕と〔三世代世帯〕では「妊婦歯科健診」が２割近くで高くなっています。

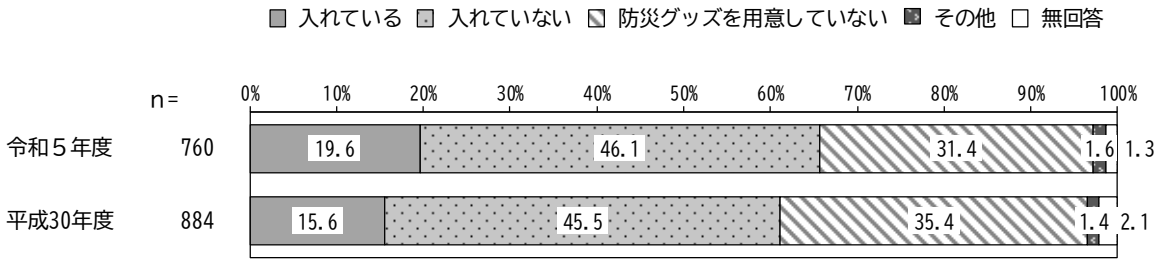
（単位:%）		n	歯及び口腔の健康づくり推進条例	歯及び口腔の健康づくり推進計画	「歯の日」（毎月8日）	成人歯科健診	妊婦歯科健診	知らない	無回答
全体		(760)	5.8	7.6	5.7	***29.1***	12.2	53.0	5.9
性別	男性	(300)	6.0	5.0	4.3	***20.3***	2.7	66.0	5.0
	女性	(452)	5.3	9.3	6.2	***34.7***	18.6	44.7	6.6
年齢別	19～29歳	(46)	2.2	0.0	2.2	6.5	***13.0***	71.7	4.3
	30～39歳	(79)	3.8	5.1	8.9	13.9	***32.9***	49.4	2.5
	40～49歳	(100)	6.0	4.0	5.0	***28.0***	27.0	55.0	2.0
	50～59歳	(107)	3.7	4.7	2.8	***38.3***	16.8	56.1	0.0
	60～69歳	(137)	4.4	5.1	2.9	***31.4***	3.6	57.7	6.6
	70歳以上	(287)	8.4	13.2	7.7	***32.8***	3.8	47.0	10.5
世帯構成別	一人暮らし	(113)	8.0	10.6	4.4	***29.2***	4.4	54.0	9.7
	一世代世帯（夫婦のみ）	(244)	6.1	10.2	5.7	***29.1***	5.7	52.5	7.8
	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(354)	5.4	5.6	6.5	***27.7***	18.9	53.4	3.4
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(27)	0.0	0.0	3.7	***44.4***	18.5	40.7	7.4
	その他	(18)	5.6	5.6	0.0	***33.3***	5.6	61.1	5.6

7．災害時の歯科保健について

（1）災害時の口腔ケア用品の準備状況

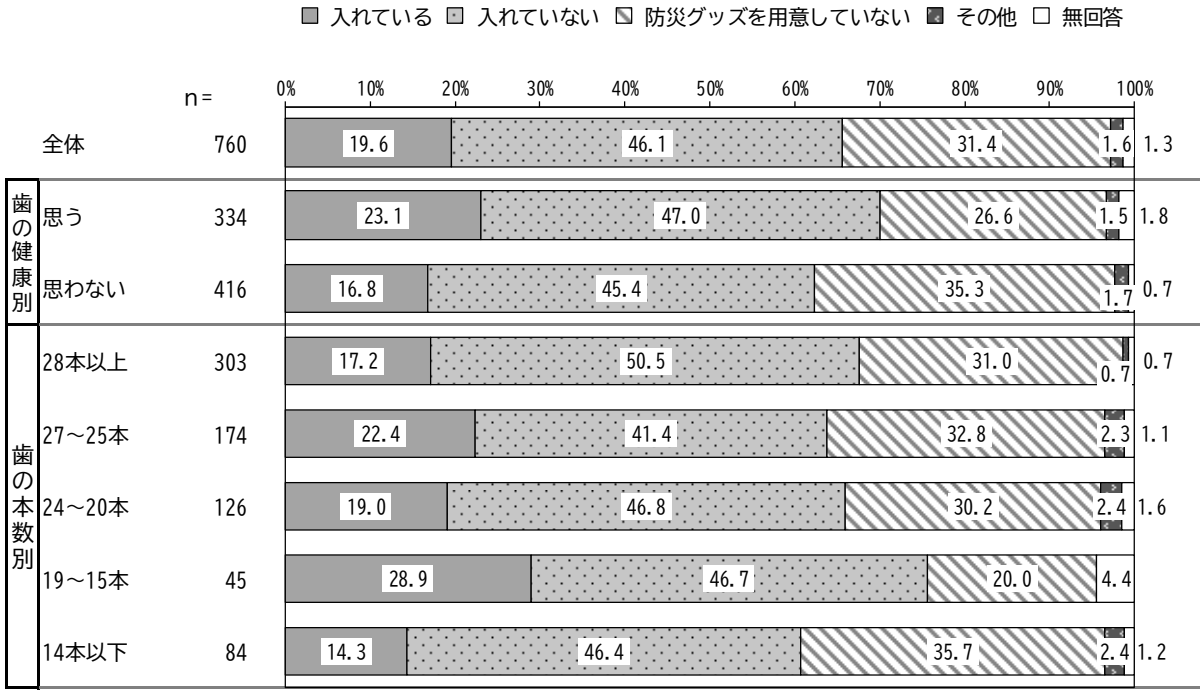
問 30　歯ブラシや歯みがき粉、歯間部清掃用具などの口腔ケア用品を防災グッズにいれていますか。(いずれか1つに○)

口腔ケア用品を防災グッズにいれているかについて、「入れている」が 19.6%、「入れていない」が 46.1%、「防災グッズを用意していない」が 31.4%となっています。
前回調査と比較すると、「入れている」割合が 4.0 ポイント増加しています。



【歯の健康別・歯の本数別】

歯の健康別でみると、口腔ケア用品を防災グッズに「入れている」割合は、歯や口腔が健康だと〔思う〕回答者（23.1%）が〔思わない〕回答者（16.8%）を 6.3 ポイント上回っています。
歯の本数別でみると、「入れている」は、〔19～15 本〕(28.9%）が３割近くと高くなっています。

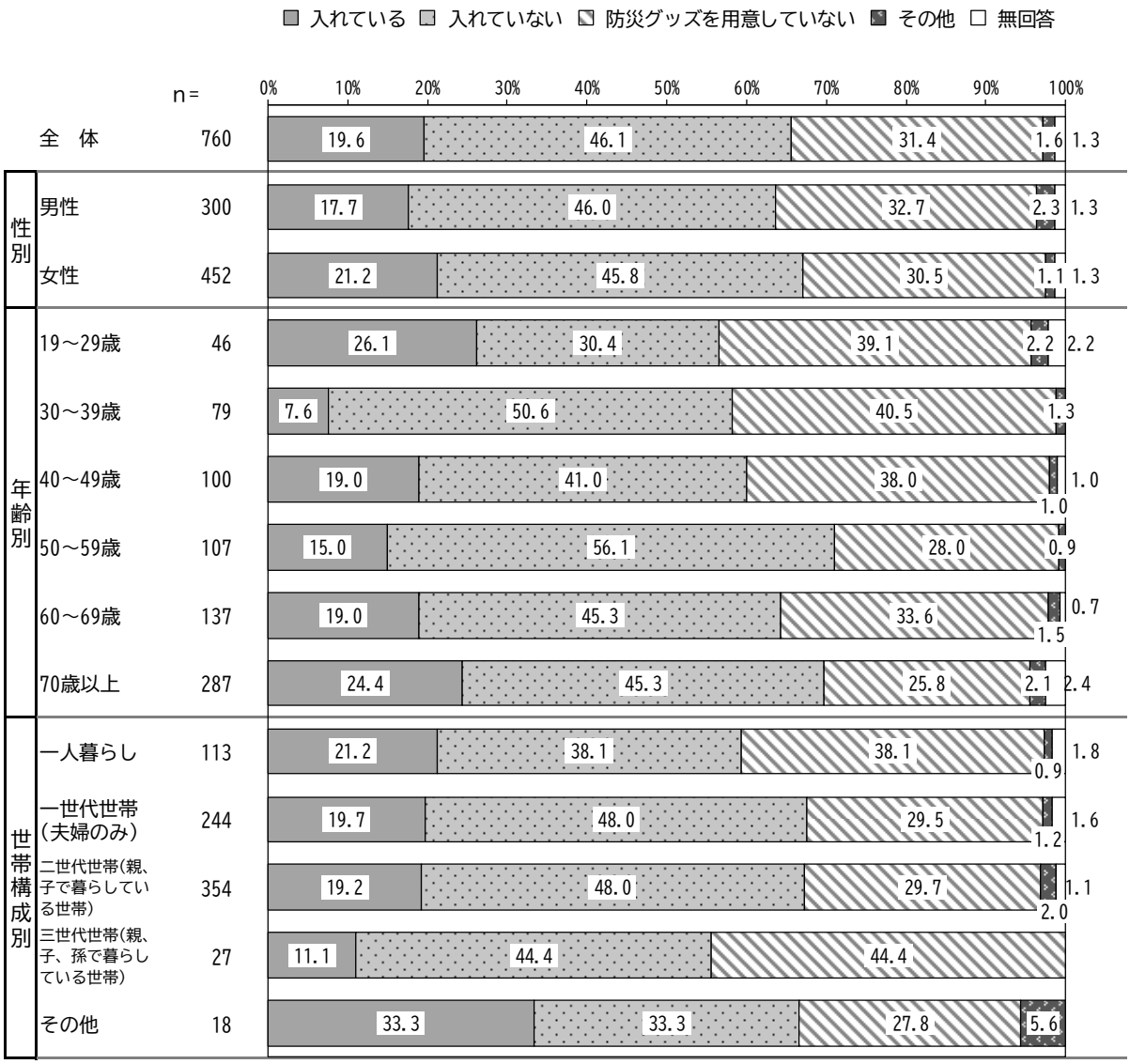


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、口腔ケア用品を防災グッズに「入れている」は、女性(21.2%)が男性(17.7%)を 3.5 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「入れている」は〔19～29 歳〕(26.1%)と〔70 歳以上〕(24.4%)で２割半ば前後を占めて、他の年齢より高くなっています。一方、〔30～39 歳〕では「入れている」が 7.6%と１割を切って低くなっています。

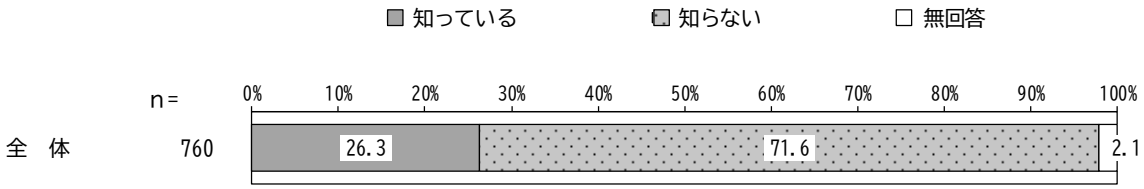
世帯構成別でみると、「入れている」は、〔三世代世帯〕(11.1%)で低くなっています。



（2）災害関連死における誤嚥性肺炎等の要因の認知状況

問 31　災害関連死の中で、誤嚥性肺炎を含む呼吸器系の疾患が主な要因となっていることを知っていますか。(いずれか1つに○)

誤嚥性肺炎を含む呼吸器系の疾患が災害関連死の主な要因だと、「知っている」が26.3%、「知らない」が71.6%となっています。

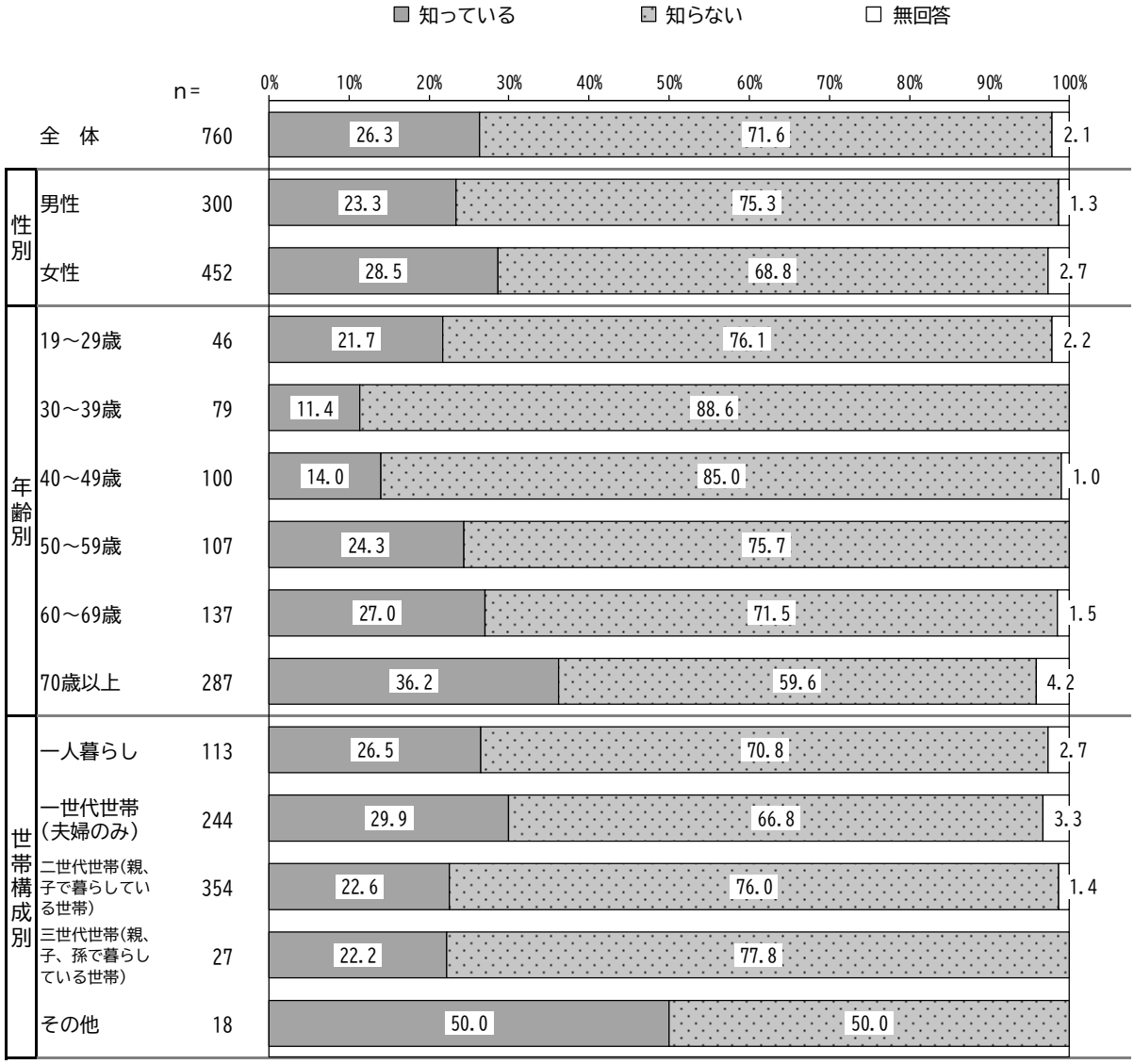


【性別・年齢別・世帯構成別】

性別でみると、「知っている」は、女性（28.5%）が男性（23.3%）を 5.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「知っている」割合は、〔30～39 歳〕が最も低く、年齢が高くなるにつれて増加傾向にあり、〔70 歳以上〕（36.2%）で３割半ばを超えています。

世帯構成別でみると、「知っている」は、いずれの世帯構成も２割を超えています。



8．自由意見

（1）自由意見

問 32　大和市の歯と口腔の健康づくりに対する意見を自由にご記入ください。

自由意見は 99 件ありました。内容は下記のとおりです。（できるだけ原文に沿って記載していますが、明らかな誤字脱字や固有名詞等の修正は行っております）

（性別／年齢／歯の本数）

政策について知っていることが少ないので、より多くの人に知ってもらえるように情報を示したり、記憶に残るような内容を考えたりすることが大切だと感じた。（男性／19 歳以下／28 本以上）
本人に知的障害があるため、アンケートには本人に代わって母親が回答いたしました。このアンケートは、質問のすぐあとに関連した情報が少し載っているところが良いですね。障害者は養護学校を卒業するとよっぽど歯が痛くならない限り、歯医者さんに行きたがりません。就労施設内で健康診断のように年に 1 回集団歯科検診があると良いなと思っています。特に、成人して自立すると清潔を保つことが難しい人が多いです。最近、有明のがん研で手術を受けた身内がおりますが、そこで最初に受けたのは歯科健診でした。歯周病菌は常に飲み込まれていますから抗がん剤で自己免疫が落ちると歯周病菌にやられてしまいますね。有明がん研は進んでいますね。（男性／20～29 歳／28 本以上）
日本は歯の健康の重要性や認識が世界に比べ遅れていると思います。私が子供のときは虫歯になったときにだけ歯医者に通う認識でいましたし、歯周病などの問題について教わることがありませんでした。もっと子供の時から歯の大切さを認識していればと後悔しています。日本全体でこのような活動をより活発化していき多くの人に歯の健康に対する知識や意識が芽生えていくことを願っています。（男性／20～29 歳／28 本以上）
白い歯を維持するために毎日歯茎に近い歯を磨くようにしてます。（男性／20～29 歳／27～25 本）
歯医者に３ヵ月に 1 度しっかりメンテナンスに通うと歯周病などの予防になるので、３ヵ月に 1 度しっかり通った大和市民は税金一ヶ月分免除など、何かそういった良い事があると嬉しいなと思いました！ 歯医者に払うときの金額を保険負担であとから返ってくるよりも、会計時に支払う金額を安くしていただいた方が、払う方も嬉しいし、保険などを管理されてる方も仕事が少し楽になって合理的なのではと思いました。（女性／20～29 歳／28 本以上）
市の取り組みについて、条例や健診など全く知りませんでした。大和市に住んで約 1 年程ということもありますが、良い取り組みをとても行っているのにもったいないなと思ってしまいました。やまとニュースも見ますが、待機児童や高齢者向けの記事が多いなと思ったので、全対象がこんな取り組みもあるんだーと興味を持ってもらう一つとして、歯の条例や健診をプロモーションしてもよいのでは？と思いました。（女性／20～29 歳／28 本以上）
市の取り組みを今回のアンケートで知ったので、取り組みをもっと身近に知れるといいなと思いました（掲示板や広報やまとなどで）（女性／20～29 歳／28 本以上）
インプラントが高すぎる。やえ歯がないから笑うとはずかしい。治すのに 100 万以上かかる。（女性／20～29 歳／27～25 本）
口腔ガンは痛みが出始めた時はすでに末期ガンの時が多く、進行も早いと聞いていますので、口の中を見る歯科検診の重要性を感じます。（男性／30～39 歳／28 本以上）

＜大人に関して＞アンケートページの「成人歯科検診」について今まで知りませんでした。私は定期的に歯医者さんで歯科検診を受けているので、もし助成金を受けられたりするのであれば詳しく知りたいです。＜子どもに関して＞保育園のときは、給食後に歯みがきをする時間があったのですが、小学校では歯みがきの時間が設けられておらず、息子(小３)に聞いたところ、給食後に歯みがきをしている子は１人もいないとのこと。虫歯が心配なため、歯みがきがしやすい環境づくりを推進してもらえたらうれしいです。(女性／30～39 歳／28 本以上)
小さい頃に甘いお菓子を日常的に食べる習慣がついたので、35 歳を過ぎたら、毎日歯を(キレイに)みがいてフロスをしても、前歯以外全て虫歯になってしまった。次の世代には虫歯になってもらいたくない。歯みがきの習慣は定期受診＋クリーニングをしても、食生活に砂糖を取り入れていると、どんどん虫歯になる。(歯の質にもよるが)子育て世代の人、特に母親になる方に、歯みがきの習慣の大切さはもちろんだが、食生活(砂糖入りのモノ、ジュースを小さい頃小学生までは特に)とらせない様に、積極的に情報を発信すべきだと思う。検診だけだと医者がもうかるだけ。お菓子業者の人には悪いかも知れないが、３才だか小さい頃に口内細菌のバランスが決まって、ちゃんとケアして育った子は一生虫歯になりにくく、長く歯を使えるので、絶対に食生活含めてのケアをした方が良いと思う。小さい頃に散々砂糖をとって歯の質を落としてから、フッ素だのキシリトールだのとケアしても、虫歯になります。加えて、ウォーターピック(水の勢いで歯・歯茎の汚れを落とす)やポイックウォーター、ロイテリ菌等、予防歯科にももっと力を入れて欲しい。(女性／30～39 歳／28 本以上)
子供と一緒に受けられる歯科検診があると嬉しいです。(女性／30～39 歳／28 本以上)
虫歯など痛みがないと歯医者に行く機会がないので、歯に関しても健康診断のように年に 1 度受ける機会があると良いと思います。(女性／30～39 歳／28 本以上)
定期的に歯医者に行った方が良いとは思いつつ、むし歯を見つけるまで行く事はありませんでした。コロナということもあり、なるべく歯医者のお世話にならないようしっかりと歯みがきフロスをしていますが、歯周病等の心配もあるので、やっぱり行かないといけないなと今回のアンケートで思いました。なかなかきっかけがないと足が重いです。成人歯科検診は知りませんでした。ぜひ、利用してみたいです…まだ先なのが残念ですが…(女性／30～39 歳／28 本以上)
今回の調査で、『歯及び口腔の健康づくり推進計画』の存在を初めて知りました。(女性／30～39 歳／28 本以上)
定期検診の無料券とか割引券があると嬉しいです。チェックとメンテナンス(歯石取りなど)ができるものがあると行きやすくなるかなぁと思います。(女性／30～39 歳／28 本以上)
私は定期的に検診に行っていますが、市民がそういった習慣をもつことができるよう働きかけてほしい。(女性／30～39 歳／不明)
歯に関する活動をしているのを知らなかった。もっとアピールした方が良いと思う。(男性／40～49 歳／28 本以上)
廃業してしまった歯医者にあった診療録が知りたい。(男性／40～49 歳／28 本以上)
このような取組みはたいへん良いことだと思います。活動促進を支持致します。(男性／40～49 歳／24～20 本)
(前) 市長が歯科医師だからといって、大和市に歯医者を多く作りすぎているのを感じる。よけいな「何かをやっている」感を出すくらいなら、市県民税や国民保険料を少しでも下げてほしい。子供老人に優遇するのはかまわないが、実際に汗水たらして税金をおさめている年代(現役の人)には何のメリットもない。(女性／40～49 歳／28 本以上)
定期的な検診費用を控除してほしい。子どもの美容目的ではない矯正費用は全額負担だと厳しい。補助金がほしい。(４才の子のマウスピースに５万、と月 1000 円以上の負担があったため)(女性／40～49 歳／28 本以上)
何をしているのかよく知りません。(女性／40～49 歳／28 本以上)

災害関連死の事は知らなかったので、口腔ケアについて再度意識しようと思いました。具体的に何が必要、どうしたら良いかが分かると行動しやすいと思います。（女性／40～49 歳／27～25 本）
小学生の子供がいますが、学校の給食後に歯みがきする機会がありません。場所も時間もないので難しいと思いますが、学校でも歯みがきする機会がつくれるといいと思っています。（女性／40～49 歳／27～25 本）
男性の方が口臭に対して意識が低く、歯医者＝虫歯を治す、痛くなったら行く。と思っているようで、口臭のキツイ人をスーパーなどでよく見かけます。市の広報などで、口臭チェックシートやより多くの人が予防歯科への興味と、それが普通になるようにしてほしい。相手に口がくさいよ！！そろそろ歯医者に行ったほうがいいよ！！とあたりまえに言える時代になりますように。めっちゃくさくても言いづらいので、なんか良い言葉があれば教えてほしい！！（女性／40～49 歳／24～20 本）
積極的でいいと思います。（女性／40～49 歳／24～20 本）
子どもの頃から虫歯が多く歯が痛くなったら歯医者に行けばいいという家庭だった。20 代前半で前歯１本が差し歯になり、ヒビ割れで抜歯、その後ブリッジにしたところ、土台にした歯がヒビ割れ。前歯２本がダメになり、30 代後半もこれからのことを考えてインプラントにしました。このままだとどんどんブリッジが長くなりその度に土台の歯がダメになり総入れ歯になると思ったので。メンテナンスは大変ですが、自分の歯と同じように噛めることがとても良かったと思っています。高額でしたが。やはり子どもの頃から歯を大切にすることがとても大切だと思っています。（女性／40～49 歳／24～20 本）
成人歯科検診は誰が該当するのでしょうか？ できれば利用したい。（男性／50～59 歳／28 本以上）
無料で歯科検診を受けられるようにしてほしい。（男性／50～59 歳／28 本以上）
・歯の治療手段の一つに「MTA セメント」充填がありますが、保険が効かないので、自治体による補助金など費用面のサポートがあれば大変助かります。「MTA セメント」充填は殺菌効果があることから、神経を抜いた歯の根幹治療に実施していたことがあります。この歯にも適用したいですが、費用が掛かるのが辛いです。 ・その他保険の効かないセラミックがありますが、こちらも費用が大きく支援があると大変助かります。セラミックの製作は、３Ｄプリンタを使用すると聞きます。それに伴い製作コストは下がる傾向かと思いますので、沢山の方がセラミックを治療に適用されれば、費用面では治療を受ける側も歯科医療の方々も、共に納得する方向に向けられるのではと思います。 ・再生医療の研究が最近活発に行われていますが、歯や歯の神経の再生医療に関する研究は世の中にはないのでしょうか？ こういったことも市が進んで研究機関に貢献できる施策などありましたら是非お願いしたいです。ぜひとも、大和市が他の自治体や国を率先して、良い取り組みを発信していって頂ければ幸いです。（男性／50～59 歳／28 本以上）
定期検診の補助金制度も検討されてはいかがでしょうか？（男性／50～59 歳／27～25 本）
半年～１年に１度、かかりつけの歯科医療機関で定期健診をしていますが、治療では無く定期健診に市から補助があると、もっと積極的に定期健診を受けたいと思う。（男性／50～59 歳／27～25 本）
成人歯科健診の頻度を増やしていただきたいです。（女性／50～59 歳／28 本以上）
条例をよく知らずすみません。（女性／50～59 歳／28 本以上）
大和市の成人検診会場が遠い。もっと会場を増やして欲しい。（女性／50～59 歳／28 本以上）
成人歯科健診の対象医療機関が少ないので、増やしてほしい。または、対象機関以外で健診した場合の助成をしてほしい。（女性／50～59 歳／28 本以上）

口腔外科の数が少ないと思う。看板で歯科に併設されている記載はよく見るが、結局常駐でなく週に一回歯科大学の研修医のような人が来るが予約がすぐ埋まってしまい二の足になってしまう。舌癌や口腔ガンも増えているので、大和市常駐の口腔外科専門の歯科医を市立病院以外にもあればと常々思っている。口腔外科と耳鼻科医の連結もある歯科専門が大和市に出来たら強みにもなるのではないか。（女性／50～59 歳／28 本以上）
防災用品に歯ブラシ等も用意する必要がありますね！（女性／50～59 歳／28 本以上）
自分の歯を保つ事は“8020”で知っていますので自宅で出来る事(歯ブラシ、歯間ブラシ、フロス)は毎日欠かさず行っています。定期検診にも行きたいのですが、費用が高く足は遠のくばかりです。（女性／50～59 歳／27～25 本）
成人あて歯科健診のお知らせを個人あてに受け取った記憶があるようなないような…よい取り組みだと思うので周知徹底をもっとした方がいい。（女性／50～59 歳／27～25 本）
市における歯と口腔の健康づくりの取り組みを全く知りませんでした。市の HP を確認しましたら、結構深く見ないとたどり着くことができず、取り組み内容は大変素晴らしいと思うのですが、市民へ浸透するには時間がかかりそうだと感じました。ＬＩＮＥアカウントで大和市のともだち登録をしているのですが、せめて８日の「歯の日」に発信して下さると嬉しいです。これからも応援しております。（女性／50～59 歳／27～25 本）
大和市が口腔ケアに取り組んでいるという実感はない。（女性／50～59 歳／27～25 本）
年々歯がもろくなっているので、大事にしなければとは思いますが時間がない、とれないのが現状です。健康のための冊子や防災用具(買うととても高額なので)市で各家庭に支給していただけると幸いです。古谷田市長に期待しています！！（女性／50～59 歳／24～20 本）
成人歯科健診を年令別ではなくて毎年行って頂けたら希望する人が参加出来て良いと思います。（女性／50～59 歳／24～20 本）
歯と口腔の健康づくり、何の意味があるかわかりません。住民税の無駄遣いだと思います。大人になって考えている人は少ないし、大人は自分の意思が強いので強制的に何が出来るのかわからない。そういうことを考えるなら、子育て支援だけでなく、高齢者や精神福祉をもっと考えるべきではないでしょうか。人生 100 年時代をかかげていますが、そんな長生きに特化するのも私には理解出来ません。コロナ禍になって３年、生きづらい世の中を大和市だけでも考えるべきではないでしょうか。口腔ケアは大人一人一人が考えるべきで学ぶべきではない気がします。（女性／50～59 歳／24～20 本）
歯科検診の充実を望みます。（男性／60～69 歳／28 本以上）
市の活動は知りませんでした。オーラルケアは中高年には特に大切だと思います。口輪筋、頬骨筋、舌筋、顎関節の運動などを推進されると良いと思います。（男性／60～69 歳／27～25 本）
デンタルフロスなど配布してください。（男性／60～69 歳／27～25 本）
幼児期、小学、中学時期に歯や口腔の医科学的教育不足により私のような高齢世代は成人後では手遅れになってしまうと思います。近年は幼少時からの歯腔健康への知識普及と習慣化が進んでいるので幸いだと思います。家庭、学校での更なる指導が徹底すれば若年層世代は将来高齢となっても健康な歯と口腔に感謝することでしょう。（男性／60～69 歳／24～20 本）
67 才です。日々の事は中々変えられずすごしています。歯は本当に大事だと思っていますが、歯はお金がかかると思いますし本当に歯医者きらいです。（男性／60～69 歳／19～15 本）
健康を守る為にも歯の点検は必要だと、60 才をすぎてから実感しています。定期検診（年 1 回でも）の無料化はできないものでしょうか?!（男性／60～69 歳／14 本以下）
市の生活保護で歯科クリニックに通ってます。（男性／60～69 歳／不明）

私の目標は死ぬまで自分の歯で食べたいということです。90 才で全て自分の歯の方がいらっしゃるのでこつを知りたいと思っているところです。（女性／60～69 歳／28 本以上）
大和市が歯からの健康づくりを積極的に推進していくのはとても良い事だと思います。その割には市の取り組みあまり知らなかったと反省です。知る機会をありがとうございました。（女性／60～69 歳／28 本以上）
自分の歯を大切にしたい！いつまでも！（女性／60～69 歳／28 本以上）
この様なアンケートを受け取ったのははじめてだと思います。虫歯のこと、歯周病のこと、災害時のこと、その他色々な歯、口腔内のことについての情報をもっと広く、市内に広めていただきたいと思います。（女性／60～69 歳／28 本以上）
成人歯科検診を受けたことがあるが､再度似たようなチェックをされてあまり意味がないのではとおもった。歯科に行くきっかけにはなると思う（女性／60～69 歳／28 本以上）
市民の健康をよく考えてくださっていると思います。ありがとうございます。（女性／60～69 歳／28 本以上）
歯科定期検診の検診代を補助してほしい。（女性／60～69 歳／27～25 本）
更に「口腔の健康づくり」について、市の取り組みをアピールしてもらいたい。（女性／60～69 歳／27～25 本）
もっと予防歯科のお話を市民にお伝えするチャンスをして頂けると嬉しい。（女性／60～69 歳／24～20 本）
都内の歯科大に通っているので､近くで良い歯科があれば通いたい。（女性／60～69 歳／24～20 本）
お願い。アンケート返信用の封筒が「のり」付けされていないので「のり」を買って付けなければなりません。不親切です。改善願います（「のり」の付いている封筒で）。（女性／60～69 歳／14 本以下）
インプラントの情報が欲しいです。（男性／70 歳以上／28 本以上）
市民の健康維持のために役立つ良い取り組みだと思います。感謝いたします。（男性／70 歳以上／28 本以上）
歯は痛くない時は手入れを忘れ勝ち、いつも手入れが大切なことを PR する様に願いたい。80－20 のような標語は大変にいいこと。（80 才で 20 本は自分の目標でした。クリアー出来てうれしい）（男性／70 歳以上／28 本以上）
大和市に転入して来たばかりで申し訳ないけどまだよくわからない。すいません！（男性／70 歳以上／28 本以上）
自身で歯の本数を数えようとしたが､特に上アゴの歯は数えられない。鏡や懐中電灯を使っても無理なので､小型のビデオカメラで歯医者さんが目の前のディスプレーに写して見せてほしい。そうすれば自分の歯の汚れや不完全さをより強く実感できて､ケアする気もつよくなると思います。また、ガムの効果を信じたいが…電動ハブラシの選び方は？（男性／70 歳以上／28 本以上）
長寿と歯の健康には大いに関連があるように思います。これからも、啓蒙、ご指導を宜しくお願い致します。（男性／70 歳以上／28 本以上）
大和市の本活動は市民の口腔の健康に関する知識と認識を深め健康増進に効果のあるものと思います。今後も具体的な健康のための事例、技術等情報を発信してほしいと思います。（男性／70 歳以上／27～25 本）
歯の検診が 70 才迄はどうしてですか。70 才以上は歯の検診は出来ないのですか。（男性／70 歳以上／27～25 本）
子供の歯の定期検査を推進する。（歯医者を身近に感じる様に）（男性／70 歳以上／24～20 本）

この推進計画は大変良いことだと思います。今迄知らなかったです。(男性／70 歳以上／24～20 本)
大部分の歯が無く、治すとすれば総入歯になると思う。私が思う歯医者は 1 本歯を治すにも何ヶ月もかかりそうで、なかなか行くきにならない。私の場合、何年もかかりそうだ。(男性／70 歳以上／14 本以下)
大変良い取り組みと思っています。ですがなかなか痛みが無いと歯医者へは行かず日常を過ごしています。(男性／70 歳以上／14 本以下)
介護施設に入居しており、訪問歯科医に来ていただき口腔ケアをしております。(男性／70 歳以上／14 本以下)
歯が無くなってから知識的に気にする様になった。(男性／70 歳以上／14 本以下)
健康にはこのように口腔現状が大事だとは思わなかった。(男性／70 歳以上／不明)
昨年、シリウスで歯と口腔の健康づくりの講座を受けました。とても参考になりました。毎年、計画して頂き多くの方が参加することを願っています。(女性／70 歳以上／28 本以上)
歯科健診は無料で健診の日は有るのですか？（女性／70 歳以上／27～25 本)
取り組みを歓迎しています。フッ素入りの歯みがきを使った場合、すすがないと聞きましたが…。小さい頃からミントが嫌いで、今でも毎回覚悟して歯みがきしています。(女性／70 歳以上／27～25 本)
大変良い事だと思う。いずれにしても本人が自覚して現状に対処することだと思う。日々のケアは大切だと思う。(女性／70 歳以上／24～20 本)
４月から５月にかけ６回、正に治療を終えたところです。５月 29 日にその後のケアを予約しています。そのタイミングに調査の用紙が届きました。様々な集計が又大変でしょうが、私の結果は以上です。よろしくお願い致します。お世話様です。乱筆にて（女性／70 歳以上／24～20 本)
このような調査アンケートを通し、市民の意識が高まり健康な生活維持につながるのではと思います。(女性／70 歳以上／24～20 本)
歯医者で 1 ヶ月に 1 回の歯科検診を行っていますので今の所は希望する事や意見はありません。メンテナンスによってその都度異常があれば処置をしています。入歯もありません。(女性／70 歳以上／24～20 本)
こう言うアンケートを市がするなんて初めてで、少しビックリです。ですが、歯は大切ですよね。年を取って、どんなに大切なのか分かった次第です。(女性／70 歳以上／24～20 本)
私の行っている歯科医は、とっても良く説明をしてくれます。その為に３ヶ月に 1 度検査しています。若い時は歯医者に(昔なので)あまり行かなかったので後悔しています。今ある歯を大事にしています。(女性／70 歳以上／24～20 本)
大和市が具体的にどういう事をしているのかよくわかりません。(女性／70 歳以上／24～20 本)
アピール不足だと思います。街中で目につかない。(女性／70 歳以上／24～20 本)
普段は痛や違和感もないので気にすることはありませんが、改めて歯について考えることになるので、この意識調査は良いと思います。(女性／70 歳以上／24～20 本)
アンケートに答えて、以前にも増して、口腔衛生への関心が深まりました。(女性／70 歳以上／14 本以下)

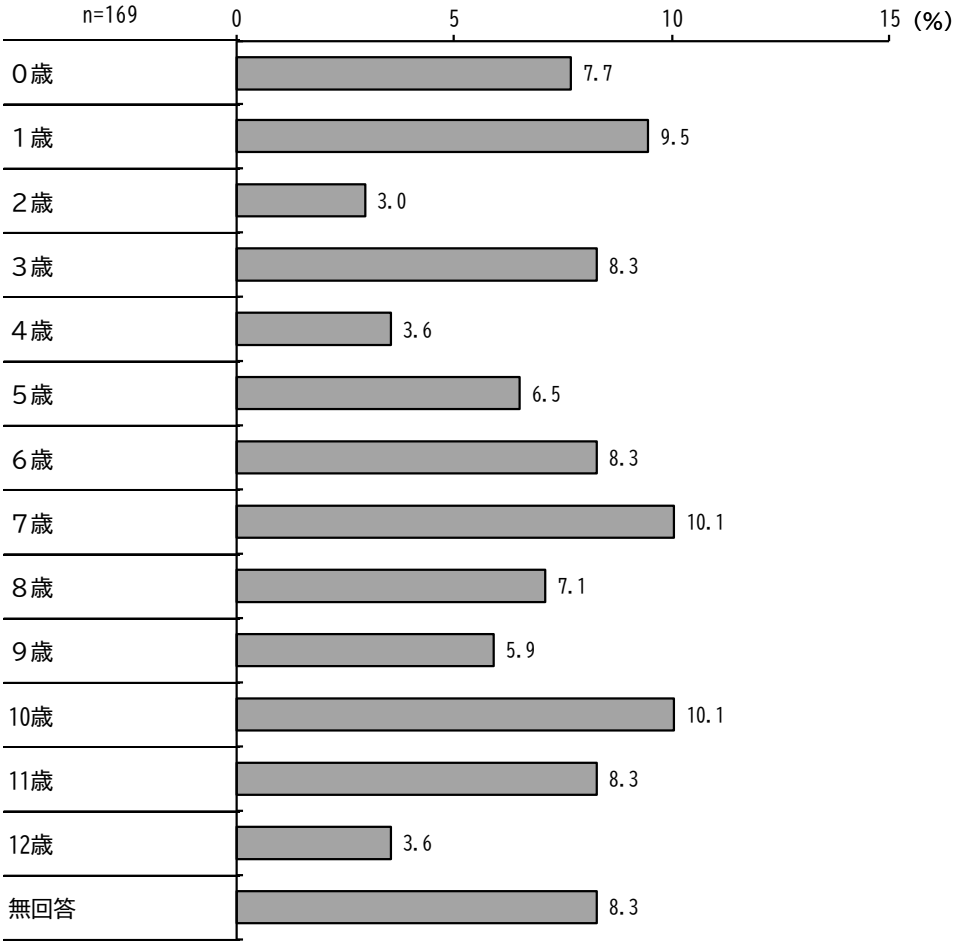
高齢になると、あちこち悪くなって歯科検診まで気が回りませんでした。ひとり暮らしなので、普段は歯みがきも入れ歯洗浄もしていません。健康診断を隔年にして、歯科検診に回そうと思います。（女性／70 歳以上／14 本以下）
①私のように年令の進んでいる者にアンケート用紙をお送り頂いても大和市の主旨には役立たないと思う。②仕事を持っている時に感じた事は日曜日しか休日のなかった時代でしたから急を要する事態でも起きない限り歯医者へは行かれなかった。③開業医で日曜の診察をして下さる歯科医があったらどんなに助けられたかと考えた事がありました。身勝手な願ですよネ。（女性／70 歳以上／14 本以下）
もう歯がないからいいや、とあきらめていたけど、食事をおいしくいただくのは義歯でもあった方がいい。もうすぐ 80 才になろうとしていても、何でも食べたい。もっと早く歯のことを知りたかった。（女性／70 歳以上／14 本以下）
取り組みはとても素晴らしいです。（女性／70 歳以上／14 本以下）
良い事だと思います。総入れ歯ですが、清潔に保ちます。（女性／70 歳以上／14 本以下）
成人歯科検診を利用できる病院が限られていて、利用しにくい。（答えたくない／不明／28 本以上）
治療費の負担で行かれなく（歯科医院）います。少し大和市から負担援助システムがあると良い。助かります。（不明／不明／24～20 本）

9．お子さんについて

（1）子どもの年齢

（小学生以下のお子さんがいる方にお聞きします。）
問 33　お子さんの年齢を教えてください。

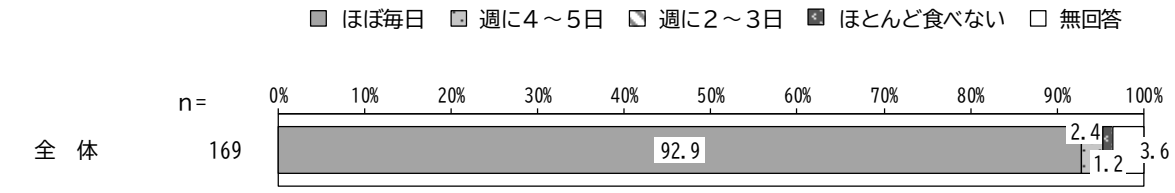
同居している小学生以下の子どもの年齢は、「７歳」と「10 歳」がともに 10.1%と最も高く、次いで「１歳」（9.5%）、「３歳」「６歳」「11 歳」（いずれも 8.3%）が続いています。



（2）朝食の頻度

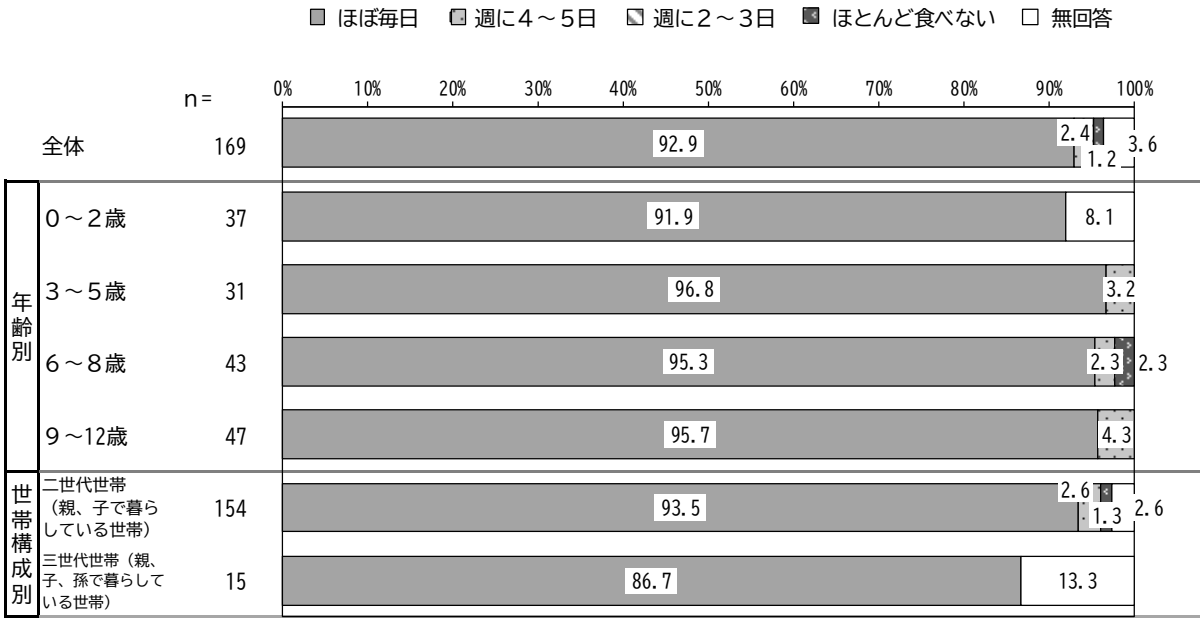
（問 34～44 は、問33でお答えいただいたお子さんそれぞれについてお答えください。）
問 34　朝食を食べていますか。(いずれか1つに○)

子どもの朝食をとる頻度は、「ほぼ毎日」（92.9%）が９割を超えて最も高く、次いで「週に４～５日」(2.4%)、「ほとんど食べない」（1.2%）と続いており、「週に２～３日」の回答はありませんでした。



【年齢別・世帯構成別】

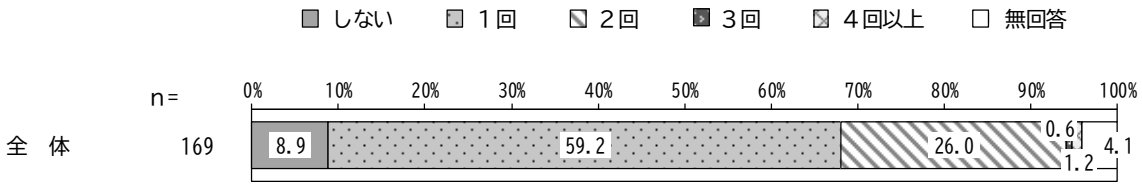
年齢別でみると、いずれの年齢も「ほぼ毎日」が９割を超えています。
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（3）１日の間食回数

問 35　お子さんの1日の間食(3食以外のおやつなど)の回数を教えてください。
（いずれか1つに○）

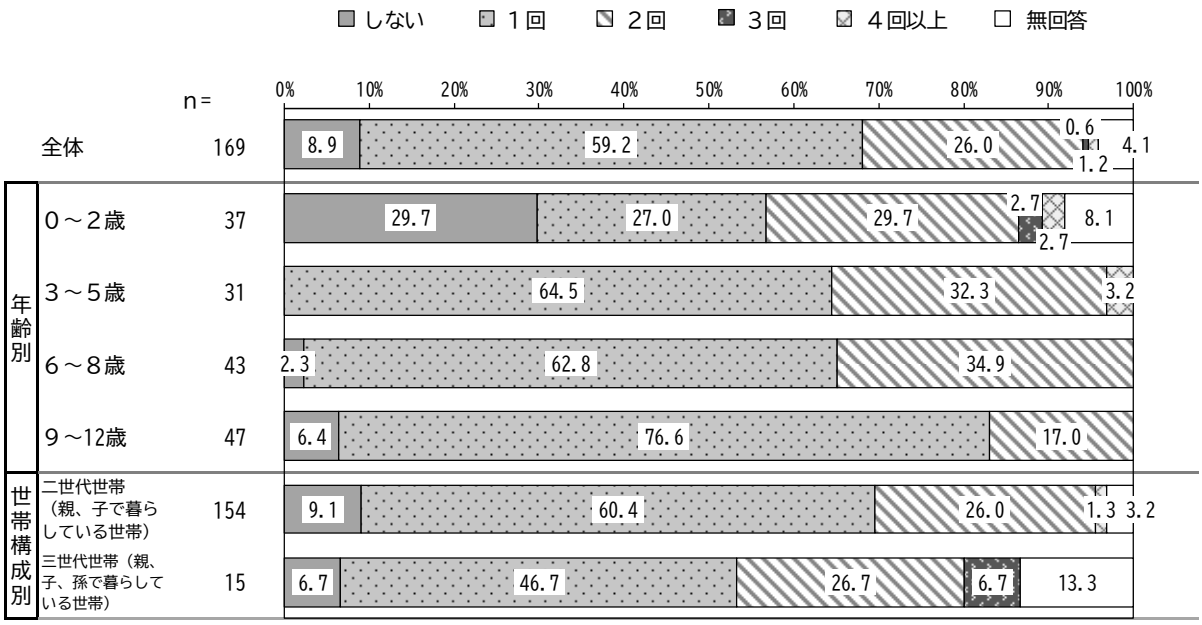
子どもの１日の間食回数は、「１回」(59.2%）が６割近くを占めて最も高く、次いで「２回」(26.0%)、「しない」(8.9%）と続いています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、〔０～２歳〕では間食を「しない」と「２回」（ともに 29.7%)、「１回」(27.0%）がそれぞれ３割近くで分かれています。〔９～12 歳〕では「１回」(76.6%）が７割半ばを超えて、他の年齢より高くなっています。

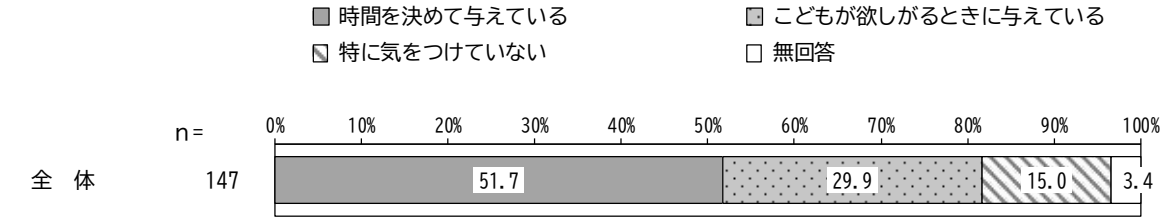
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（4）間食の与え方

（問35で「1回」「2回」「3回」「4回以上」と答えたお子さんについてお聞きします。）
問 36　お子さんの間食について教えてください。（いずれか1つに○）

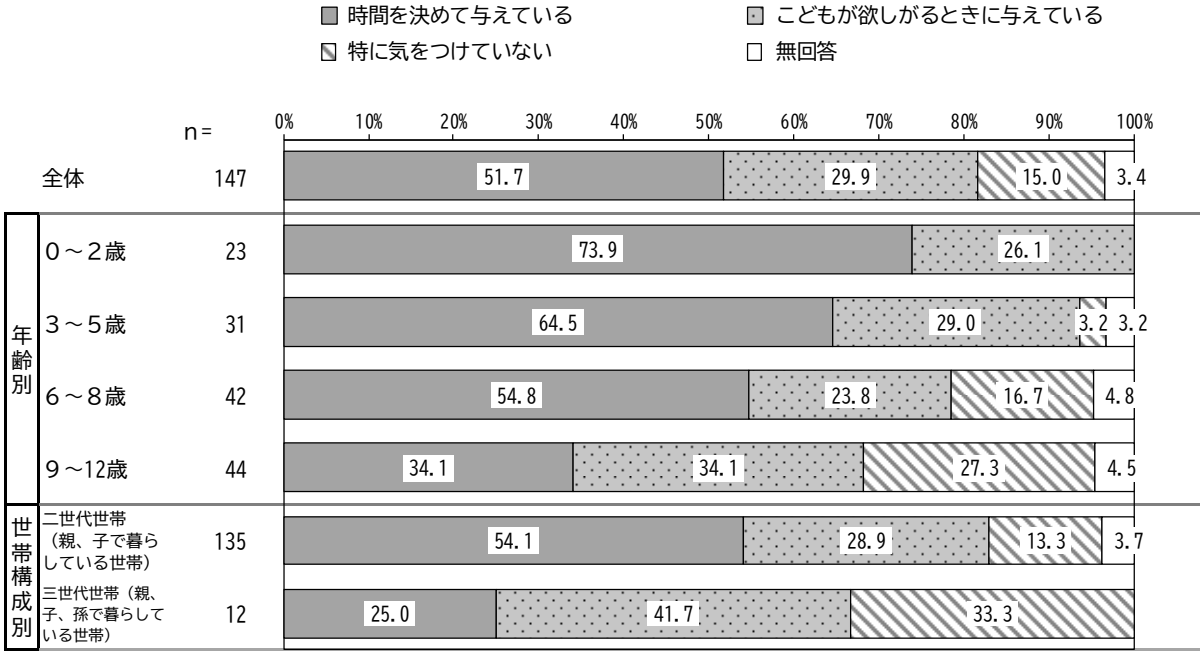
子どもへの間食の与え方は、「時間を決めて与えている」が 51.7%、「こどもが欲しがるときに与えている」が 29.9%、「特に気をつけていない」が 15.0%となっています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、「時間を決めて与えている」割合は、子どもの年齢が高くなるにつれて減少する傾向にあり、反対に「こどもが欲しがるときに与えている」と「特に気をつけていない」割合は年齢が高いほど増加しています。

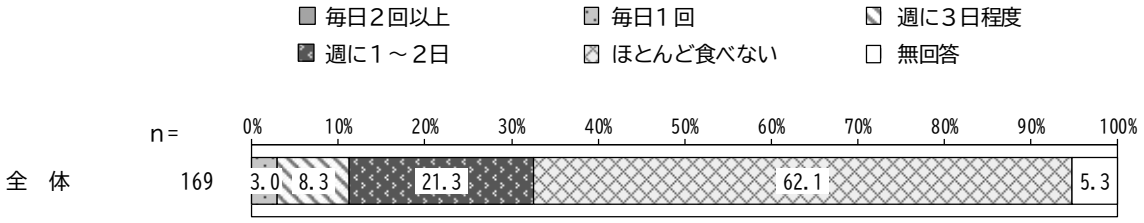
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（5）口の中で長くとどまる菓子を与える頻度

問 37　あめ、キャラメルなど口の中に長くとどまる菓子をどのくらい食べますか。
（いずれか1つに○）

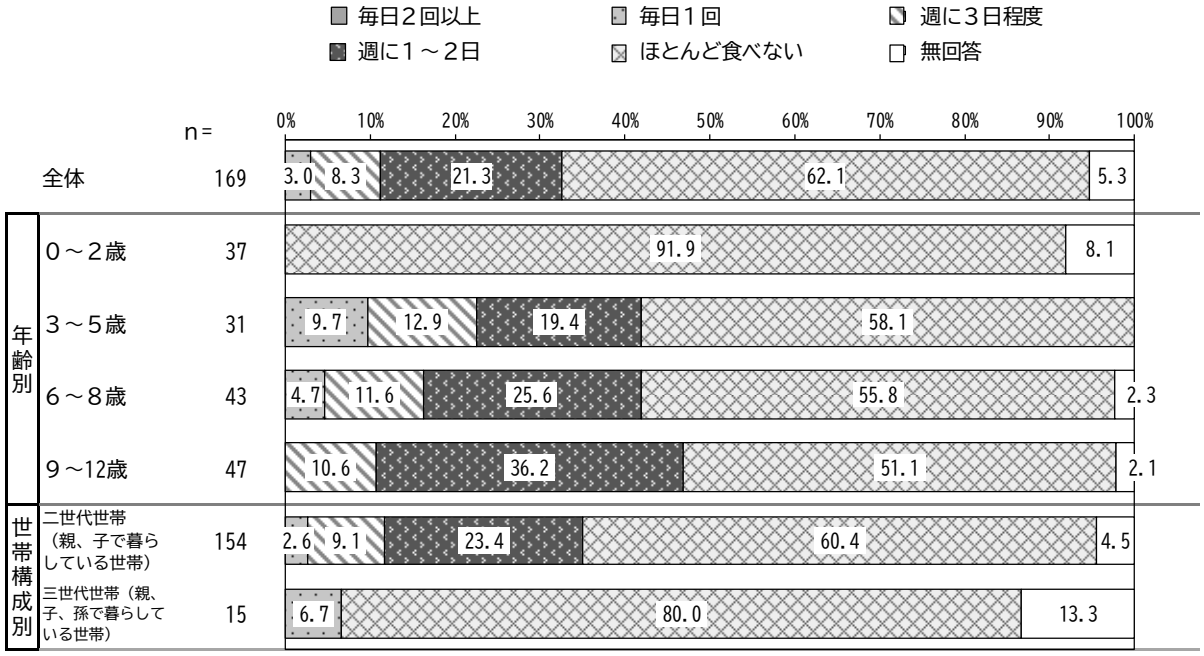
子どもにあめやキャラメルなど口の中で長くとどまる菓子を与える頻度は、「ほとんど食べない」（62.1%）が６割を超えて最も高く、次いで「週に１～２日」（21.3%）、「週に３日程度」（8.3%）と続いています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、３歳以上の年齢で「週３日程度」が１割前後を占めています。また〔３～５歳〕では「毎日１回」が 9.7%と、他の年齢より高くなっています。

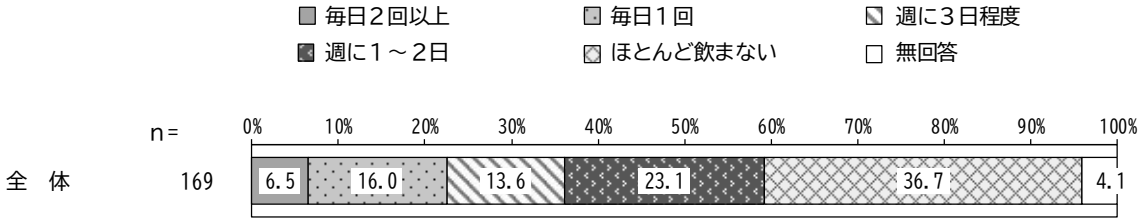
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（6）糖分を含む飲料の摂取頻度

問 38　ジュース、イオン飲料、乳酸菌飲料などの飲み物はどのくらい飲みますか。
（いずれか1つに○）

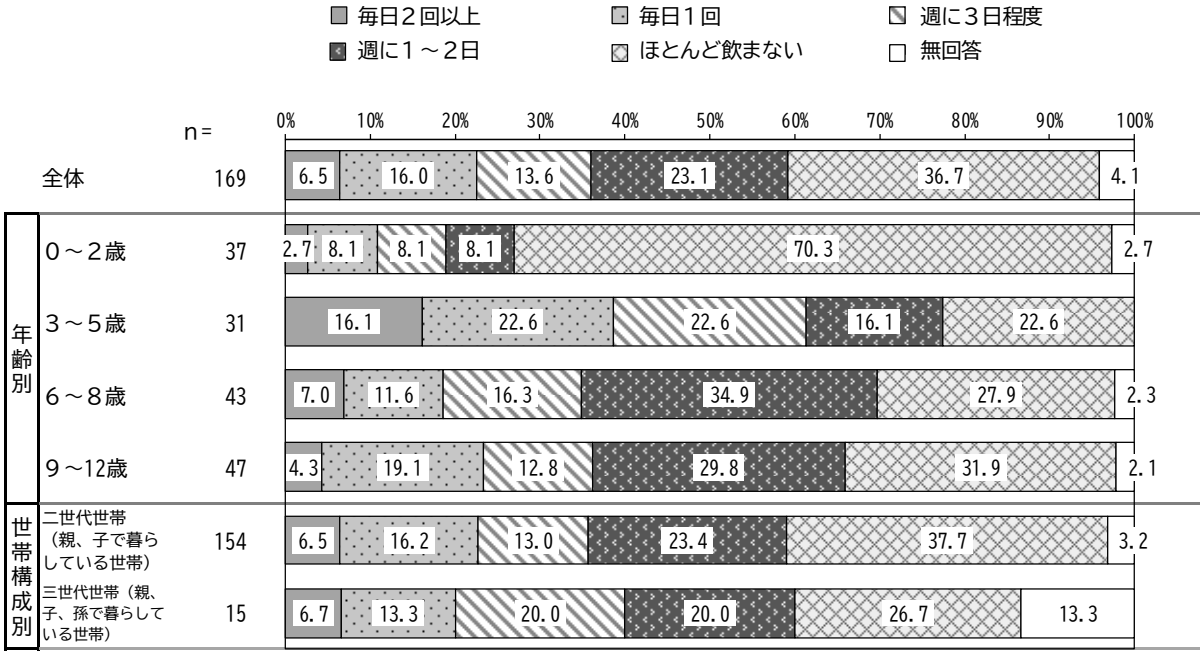
子どもがジュース、イオン飲料、乳酸菌飲料などの糖分を含む飲料を飲む頻度は、「ほとんど飲まない」（36.7%）が３割半ばを超えて最も高く、次いで「週に１～２日」（23.1%）、「毎日１回」（16.0%）と続いています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、〔３～５歳〕では「毎日１回」と「週３日程度」（ともに 22.6%）が２割を超えており、「毎日２回以上」（16.1%）も１割半ばを超えて高くなっています。６歳以上では「週に１～２日」が３割前後を占めて最も高くなっています。

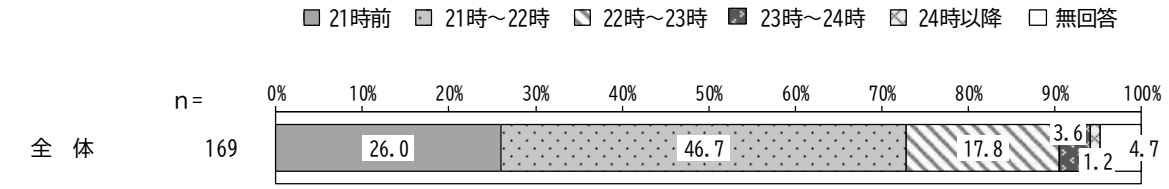
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（7）就寝時間

問 39　就寝時間を教えてください。(いずれか1つに○)

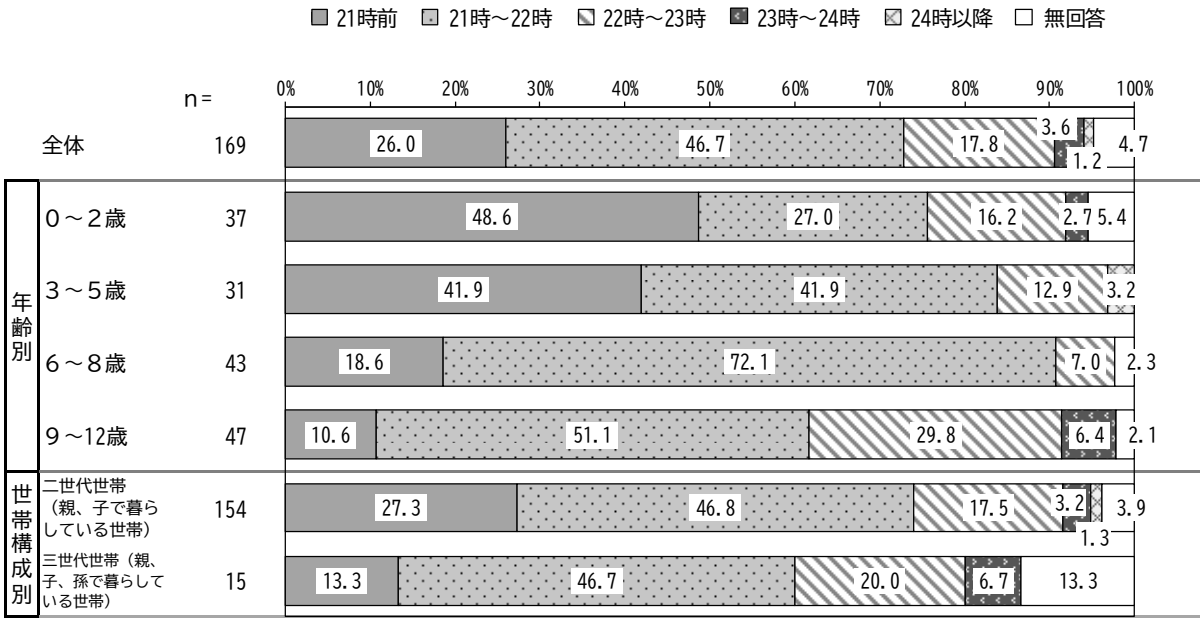
子どもの就寝時間は、「21 時～22 時」(46.7%) が４割半ばを超えて最も高く、次いで「21 時前」(26.0%)、「22 時～23 時」(17.8%) と続いており、子どもの９割が『23 時前』に就寝しています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、いずれの年齢でも『23 時前』が９割を超えています。年齢が低いほど「21 時前」の割合が増加する傾向にあります。また、〔９～12 歳〕では「22～23 時」が 29.8%と３割を占めて、他の年齢より高くなっています。

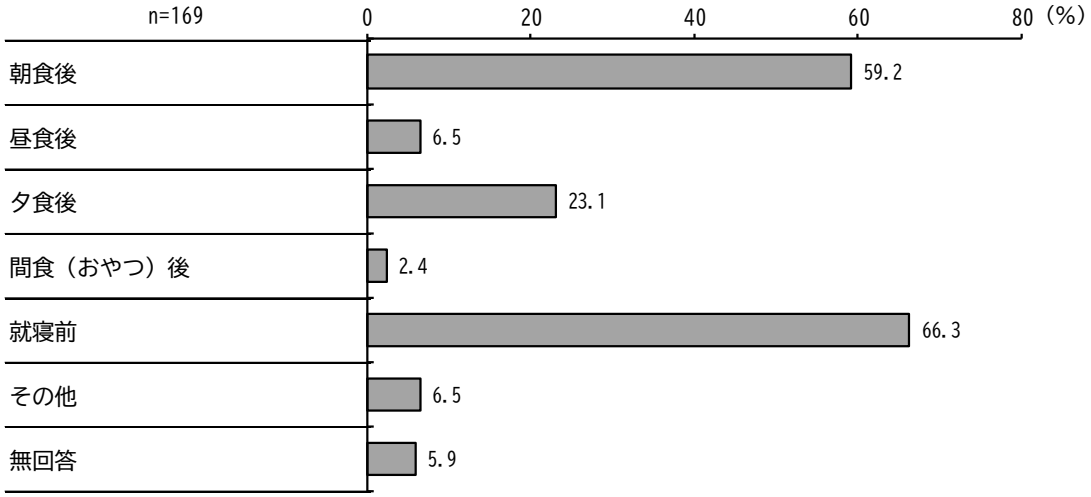
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（8）歯みがきの状況

問40　お子さんは1日のうちで、いつ歯をみがきますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもが1日のうちで歯をみがく場面については、「就寝前」(66.3%)が6割半ばに達し最も高く、次いで「朝食後」(59.2%)、「夕食後」(23.1%)が続いています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、年齢が高いほど「朝食後」の割合が増加する傾向にあります。また、〔3～5歳〕では「昼食後」(19.4%)、「就寝前」(80.6%)が他の年齢より突出して高くなっています。

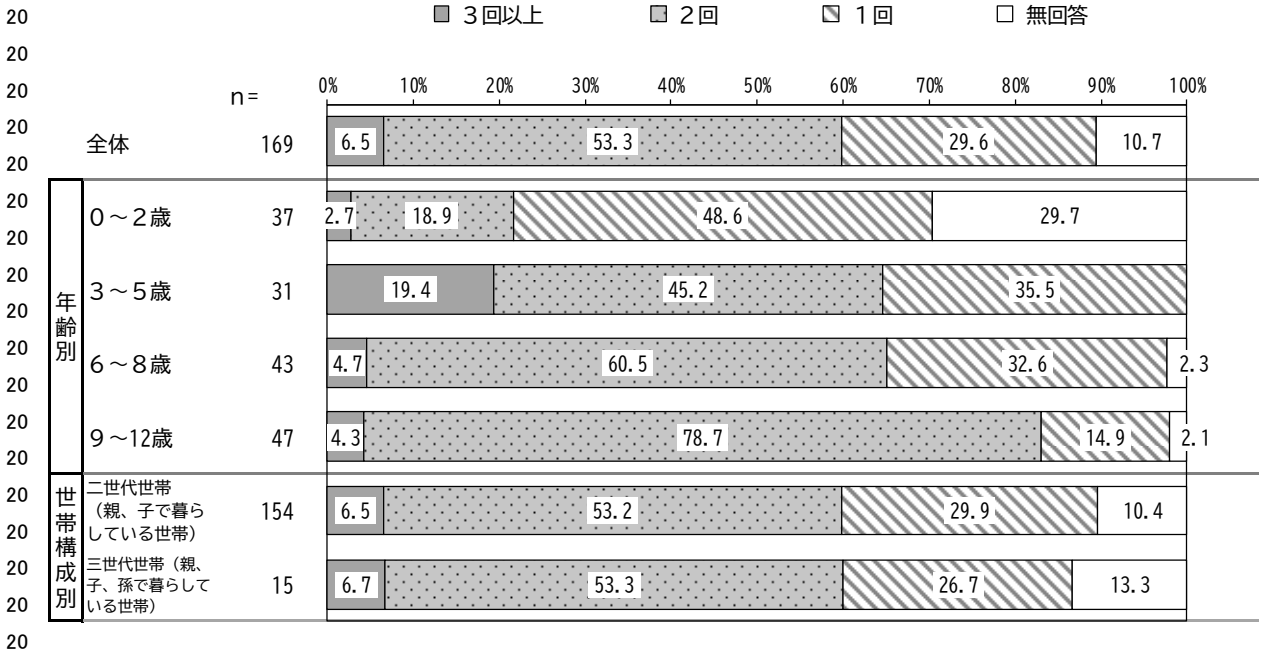
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。

(単位:%)		n	朝食後	昼食後	夕食後	間食(おやつ)後	就寝前	その他	無回答
全体		(169)	59.2	6.5	23.1	2.4	***66.3***	6.5	5.9
年齢別	0～2歳	(37)	21.6	2.7	13.5	0.0	***56.8***	24.3	8.1
	3～5歳	(31)	58.1	19.4	22.6	9.7	***80.6***	0.0	0.0
	6～8歳	(43)	69.8	4.7	20.9	0.0	***72.1***	2.3	2.3
	9～12歳	(47)	***80.9***	4.3	36.2	2.1	63.8	2.1	2.1
世帯構成別	二世代世帯（親、子で暮らしている世帯）	(154)	59.1	6.5	24.7	2.6	***64.9***	5.8	5.2
	三世代世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）	(15)	60.0	6.7	6.7	0.0	***80.0***	13.3	13.3

子どもが１日に歯をみがく回数は、「２回」(53.3%) が５割を超えて最も高く、次いで「１回」(29.6%)、「３回以上」(6.5%) が続いています。

年齢別でみると、〔０～２歳〕では「１回」(48.6%) が５割近くを占めて最も高くなっており、３歳以上の年齢では「２回」が最も高なっています。また〔３～５歳〕では「３回以上」(19.4%) が２割を占めて、他の年齢より高くなっています。

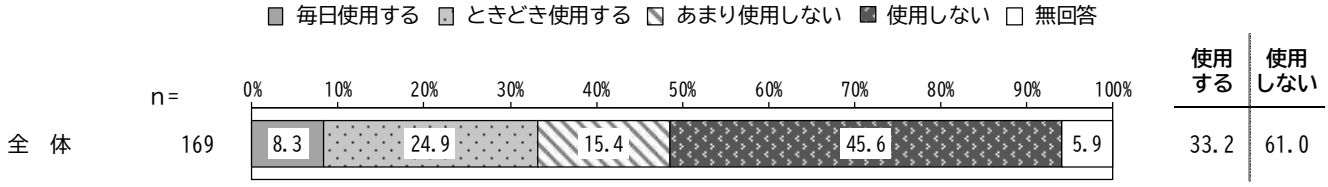
世帯構成別でみると、全体とほぼ同じ割合となっています。



（9）デンタルフロスの使用状況

問41　歯ブラシ以外にデンタルフロス(糸ようじなど)をどのくらい使用していますか。
（いずれか1つに○）

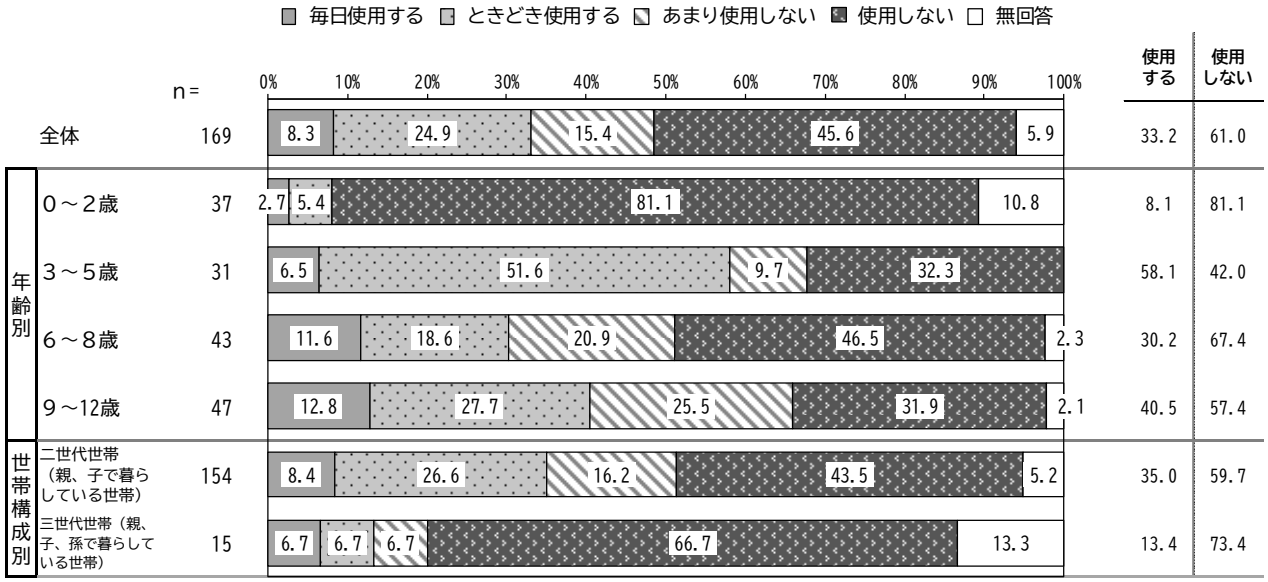
子どものデンタルフロスの使用状況について、「毎日使用する」（8.3%）と「ときどき使用する」（24.9%）を合わせた『使用する』は33.2%と３割を超えています。一方、「あまり使用しない」（15.4%）と「使用しない」（45.6%）を合わせた『使用しない』は61.0%と６割を超えています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、〔３～５歳〕では「ときどき使用する」（51.6%）が５割を超えて高くなっています。また６歳以上の年齢では、「毎日使用する」の割合が１割を超えています。

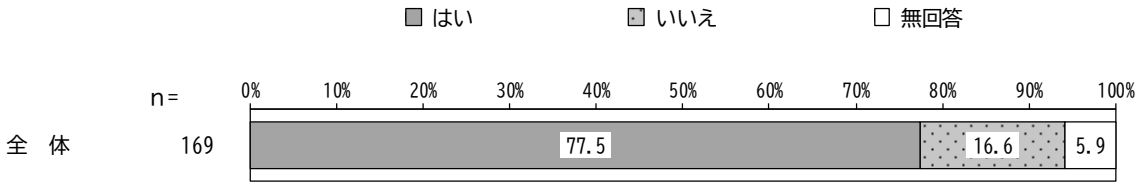
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



（10）歯みがき粉の使用状況

問４２　歯みがき粉を使用していますか。(いずれか1つに○)

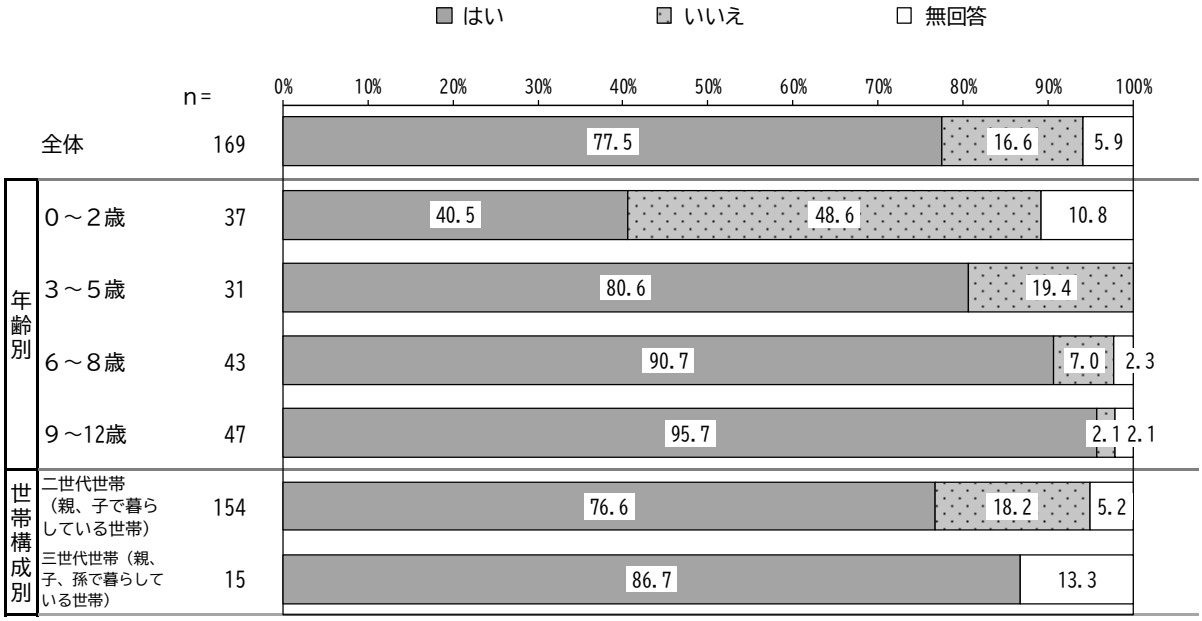
子どもが歯みがき粉を使用しているかについて、「はい」が 77.5%、「いいえ」が 16.6%となっています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、「はい」の割合は年齢が高くなるにつれて増加する傾向にあり、〔３～５歳〕(80.6%) で８割を占め、６歳以上では９割を超えています。一方、〔０～２歳〕では「いいえ」(48.6%) が５割近くで「はい」(40.5%) を 8.1 ポイント上回っています。

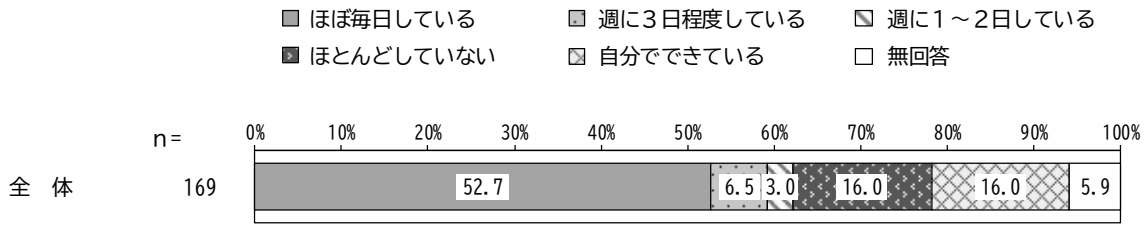
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



(11) 仕上げみがきの状況

問43　お子さんの仕上げみがきをしていますか。(いずれか1つに○)

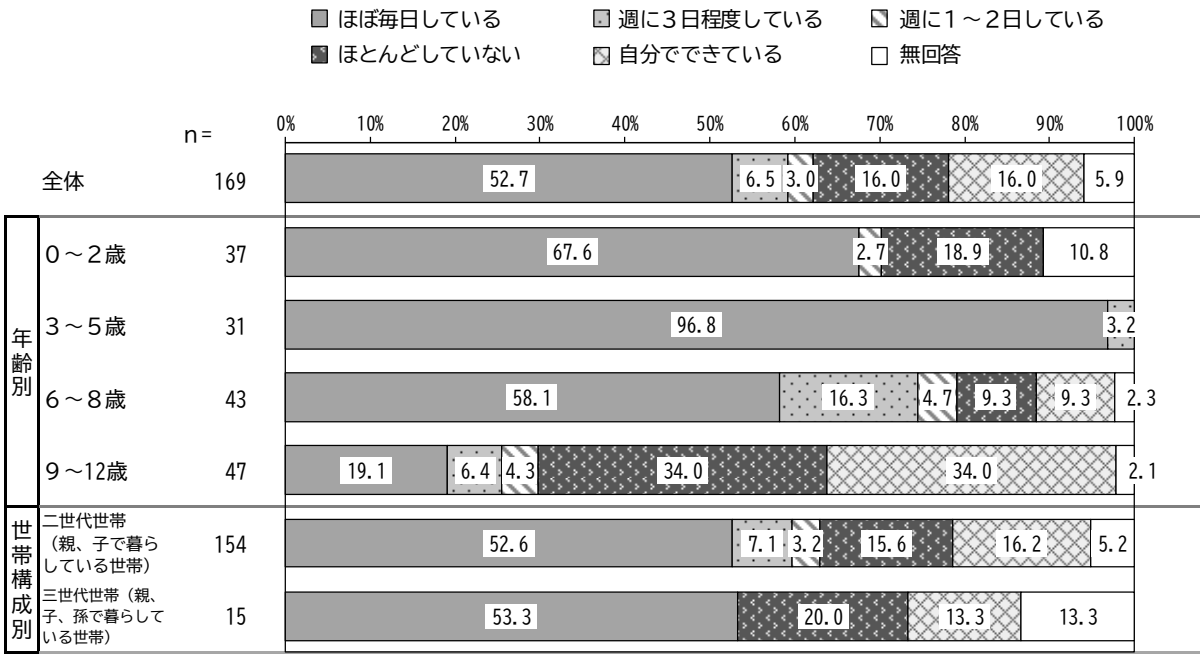
子どもの歯みがき後に仕上げみがきをしていますかについて、「ほぼ毎日している」(52.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「ほとんどしていない」と「自分でできている」(ともに16.0%)、「週に3日程度している」(6.5%)と続いています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、〔3～5歳〕では「ほぼ毎日している」(96.8%)が9割半ばを超えて、他の年齢より高くなっています。〔9～12歳〕では「ほとんどしていない」と「自分でできている」(ともに34.0%)が高くなっています。

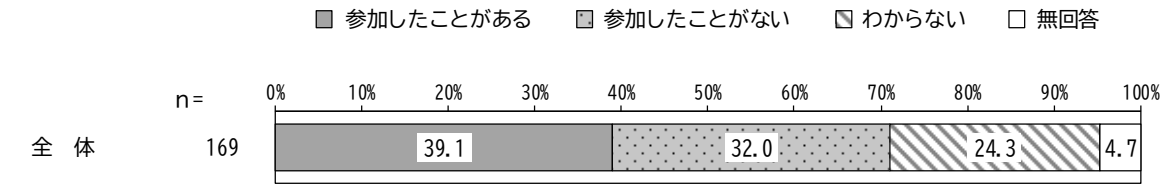
世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



(12) 歯みがき教室への参加状況

問 44　お子さんは、保育園、幼稚園、学校で歯みがき等の教室に参加したことがありますか。
（いずれか1つに○）

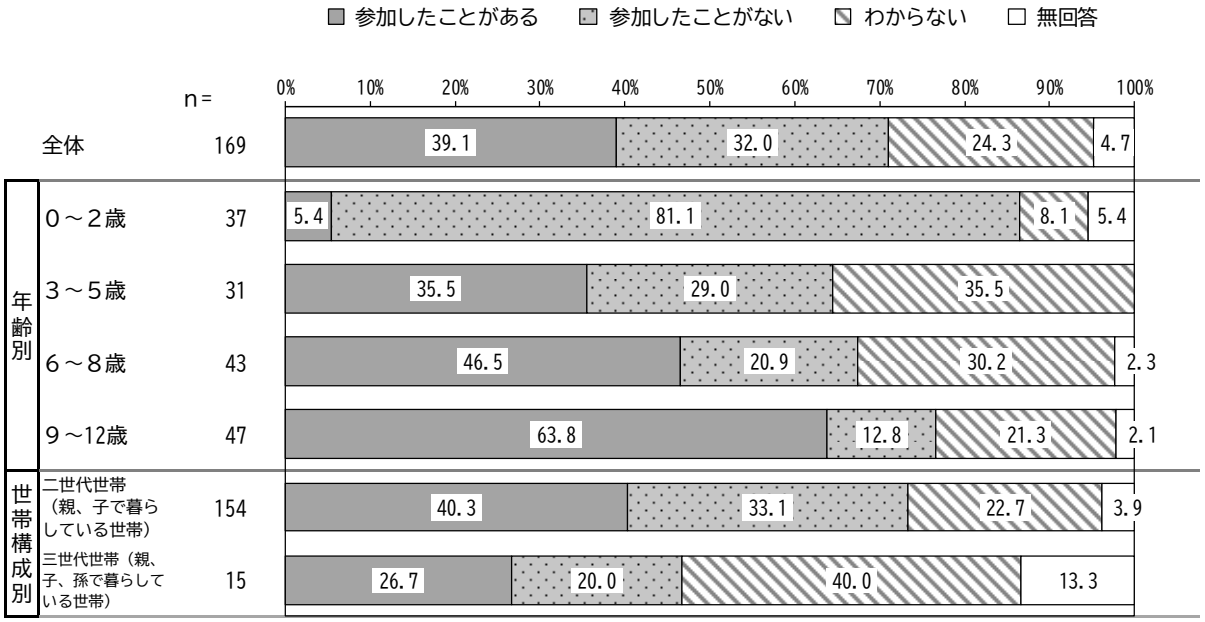
子どもの歯みがき教室等への参加状況は、「参加したことがある」が 39.1%、「参加したことがない」が 32.0%、「わからない」が 24.3%となっています。



【年齢別・世帯構成別】

年齢別でみると、「参加したことがある」割合は年齢が高くなるにつれて増加する傾向にあり、〔６～８歳〕で 46.5%、〔９～12 歳〕で 63.8%となっています。

世帯構成別でみると、〔二世代世帯〕は全体とほぼ同じ割合となっています。



大和市歯及び口腔の健康づくりに関する市民意識調査
調査報告書

令和５年 10 月

発　行　大和市
健康福祉部医療健診課